

令和7年度
埼玉県外国人住民意識調査
報告書



彩の国
埼玉県

目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査実施の目的	3
2. 調査方法と回収状況	3
3. 調査結果を見る上での注意事項	3
第2章 調査結果の詳細	5
I. 回答者の基本属性について	7
(1) 性別	7
(2) 年齢	10
(3) 国籍・地域	12
(4) 在留資格	14
(5) 仕事	17
(6) 居住地域	20
(7) 日本での通算在住年数	22
(8) 日本語能力（会話）	24
(9) 日本語能力（読む）	27
II. 日常生活について	30
1. 満足度	30
(1) 埼玉県での生活の満足度	30
(2) 満足している理由	33
(3) 満足していない理由	34
2. 日本語の学習	35
(1) 日本語学習歴	35
(2) 日本語学習方法	40
(3) 日本語学習における困りごと	41
3. 情報の入手方法・行政サービス	42
(1) 生活での困りごと	42
(2) 困った時の相談先	45
(3) 埼玉県に望むサービス	48
(4) 生活ルール等の習得先	51
4. 防災・災害	54
(1) 災害に備えて、どのような準備をしているか	54
(2) 災害時に必要な情報	57
5. 相互理解	60
(1) 外国人住民と日本人住民との相互理解を深めるためにしたいこと	60
III. 今後について	63
(1) 今後の埼玉県での滞在希望	63

(2) 埼玉県での滞在継続を希望する理由	67
(3) 埼玉県での滞在継続を希望しない理由	68
(4) 日本での滞在継続を希望しない理由	69
IV. その他	70
(1) 県の取組に対して期待することや意見・要望	70

第3章 調査票	75
---------------	----

第1章 調査の概要

1. 調査実施の目的

県内外国人住民の生活意識や行政に対する要望等を把握し、県の国際施策を推進するための基礎資料とする。

2. 調査方法と回収状況

	内容
調査期間	令和7年11月12日（水）～12月3日（水） ※一部自治体において調査対象の確認を要したため、当該自治体のみ12月8日（月）を調査締切日とした
調査対象	本調査に協力可能な県内在住の満18歳以上の外国人
標本数	4,000人
抽出方法	住民基本台帳から無作為抽出
調査方法	自記式調査票（ルビ付きやさしい日本語）による郵送配布、郵送回収及びインターネット調査（ルビ付きやさしい日本語、英語、中国語、ベトナム語、タガログ語の各言語版を作成）の併用
有効回収数	1,064件
有効回収率	26.6%

3. 調査結果を見る上での注意事項

- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- ・百分率（％）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。したがって、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で、％を足し合わせて100%にならない場合がある。
- ・複数回答（2つ以上選んでよい問）においては、％の合計が100%を超える場合がある。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
- ・回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合がある。
- ・前回（令和2年度）と設問内容が同一または比較可能な項目については、本文中で経年比較を実施している。なお、設問の変更や新規追加を行った項目については、今回調査の結果のみを掲載している。
- ・クロス集計における国籍・地域別および在留資格別の表記順は、調査票における選択肢の順に基づいている。
- ・本文中の各設問文は、読みやすさを考慮して一般的な日本語（翻訳原稿）で表記している。実際に調査対象者へ配布した調査票（やさしい日本語版）は「第3章 調査票」に掲載している。（本調査はやさしい日本語、英語、中国語、ベトナム語、タガログ語で実施した。そのうち、やさしい日本語の調査票を掲載している。）

第2章 調査結果の詳細

I. 回答者の基本属性について

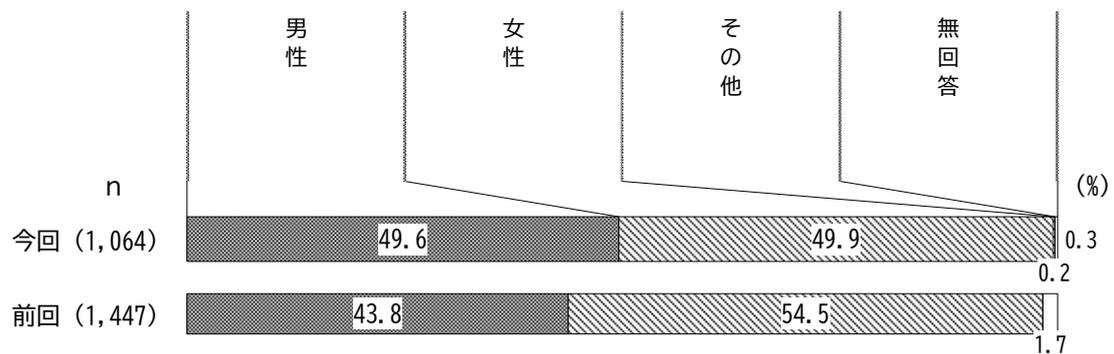
(1) 性別

Q1. あなたの性別は次のうちどれですか（1つだけチェック）。

「女性」が49.9%、「男性」が49.6%、「その他」が0.2%となっている。

前回と比較すると、「男性」が5.8ポイント増加し、「女性」が4.6ポイント減少している。

図 I - 1. 性別（経年比較）

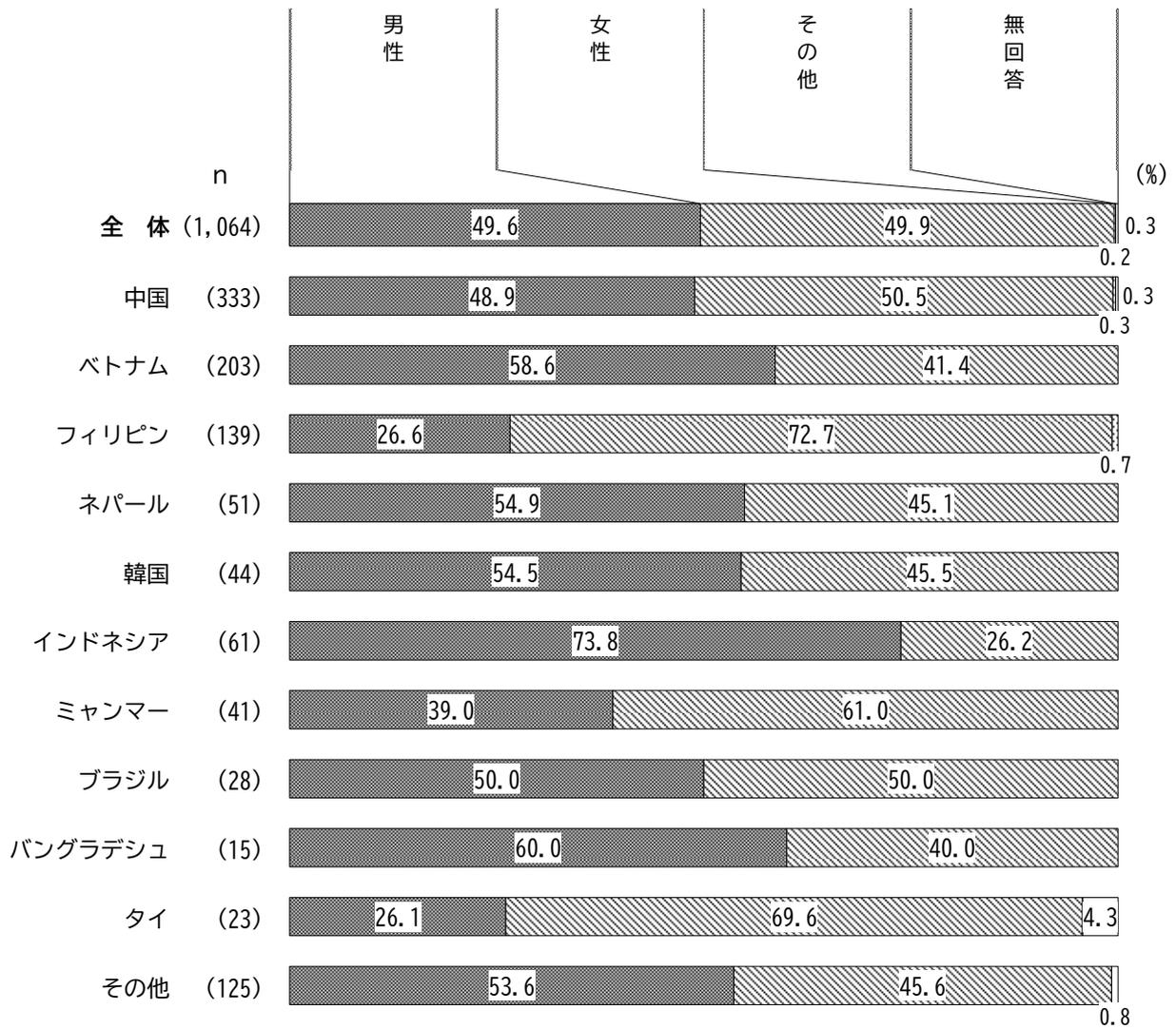


※選択肢「その他」は今回調査から追加された。

第2章 調査結果の詳細

国籍・地域別にみると、「インドネシア」は「男性」が73.8%と他の国籍・地域よりも高く、「フィリピン」は「女性」が72.7%と他の国籍・地域に比べて高くなっている。

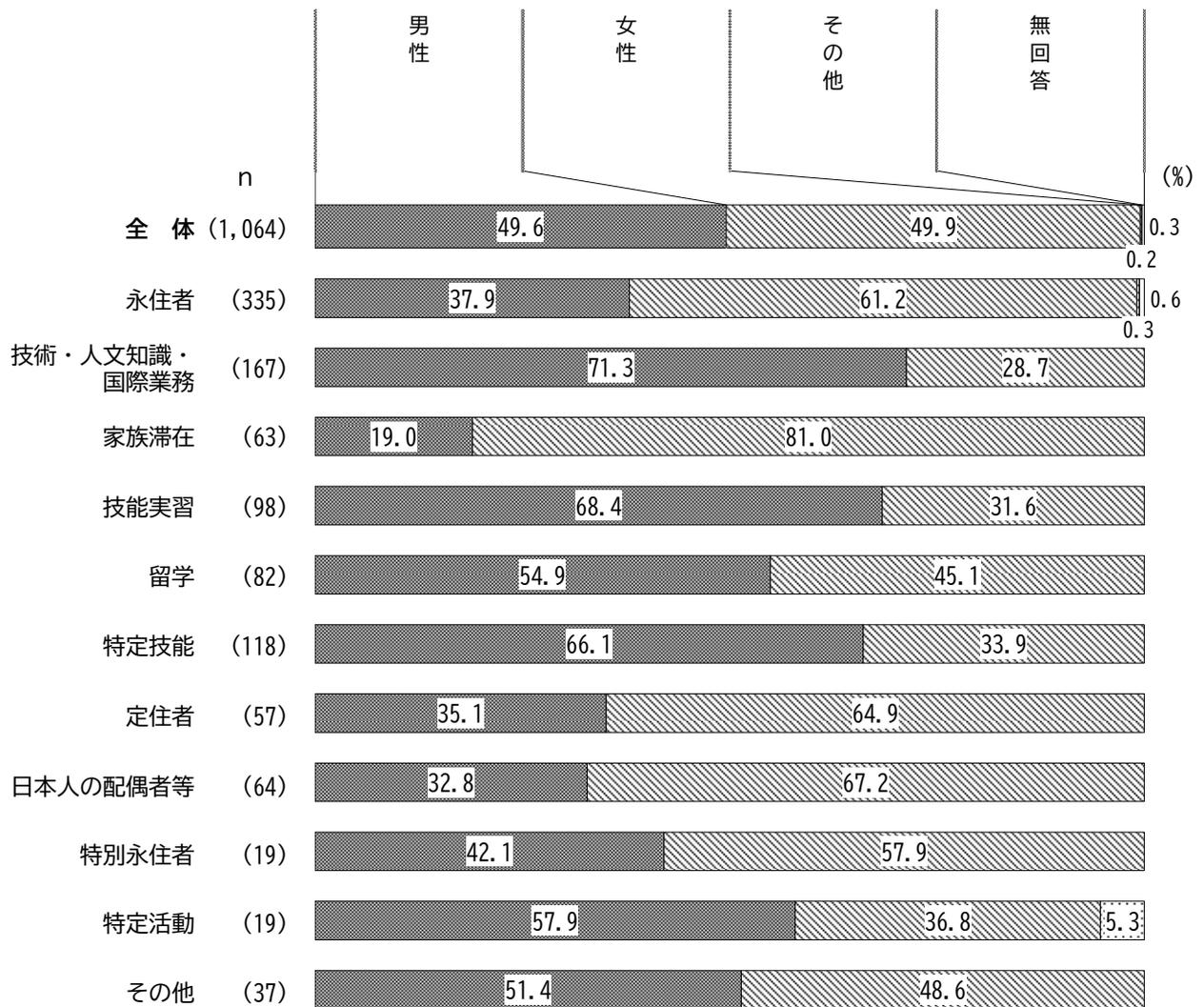
図 I - 2. 性別（国籍・地域別）



※「ブラジル」「バングラデシュ」「タイ」は調査数が30未満のため、参考までに図示するにとどめる。(以降同様)

在留資格別にみると、「技術・人文知識・国際業務」「技能実習」「特定技能」は「男性」が他の在留資格よりも高く、「家族滞在」は「女性」が81.0%と他の在留資格に比べて高くなっている。

図 I - 3. 性別（在留資格別）



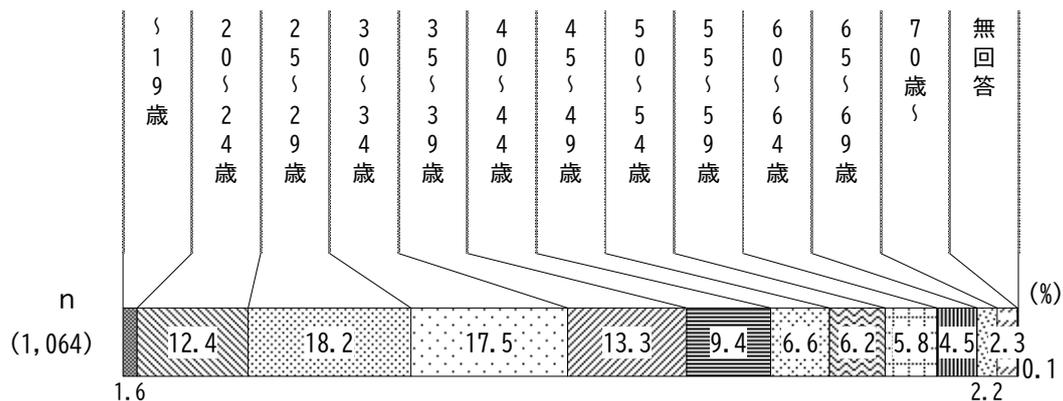
※「特別永住者」「特定活動」は調査数が30未満のため、参考までに図示するにとどめる。(以降同様)

(2) 年齢

Q2. あなたの年齢を教えてください（1つだけチェック）。

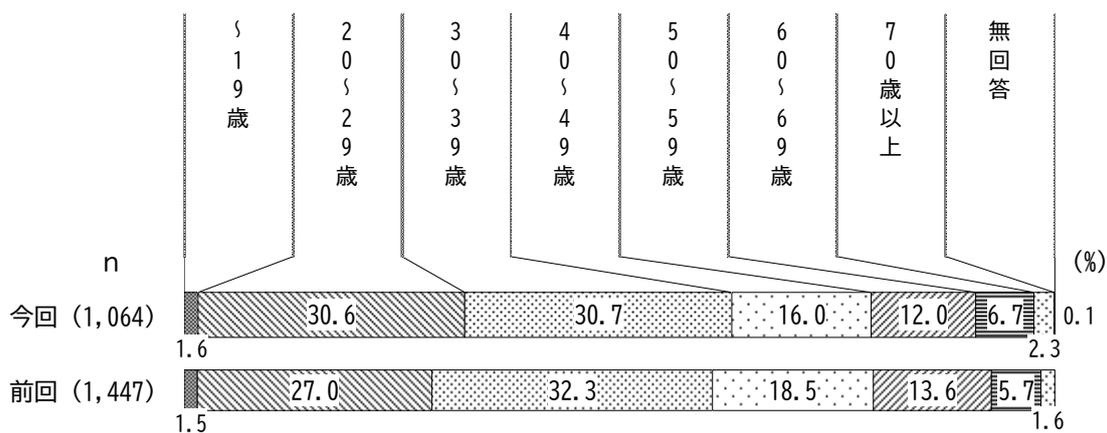
「25～29歳」が18.2%で最も多く、次いで、「30～34歳」（17.5%）、「35～39歳」（13.3%）、「20～24歳」（12.4%）となっている。

図 I - 4. 年齢



前回調査と比較すると、各年代で若干の増減はあるものの、大きな変化はみられない。

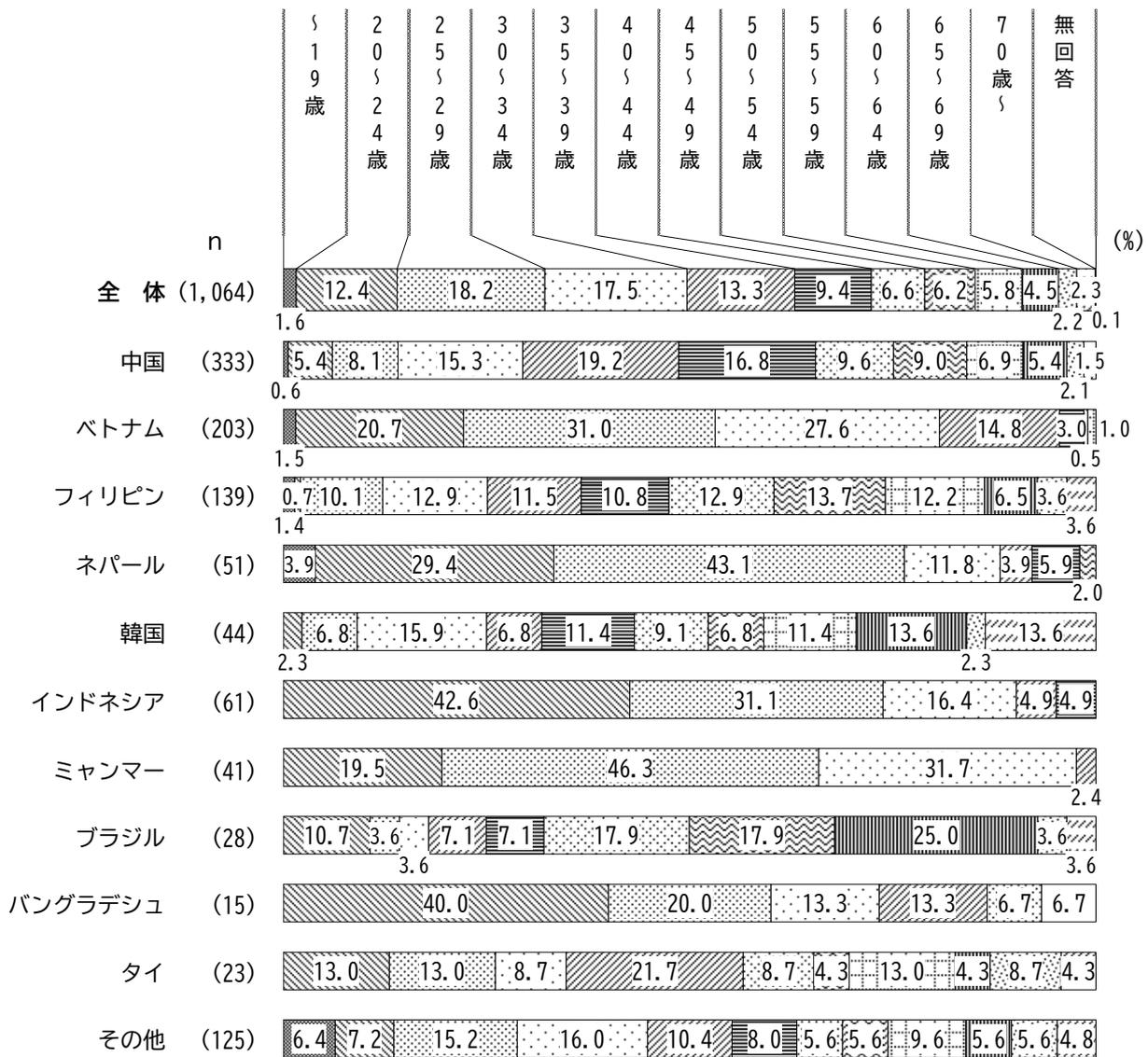
図 I - 5. 年齢（経年比較）



国籍・地域別にみると、「インドネシア」「ネパール」は「20～24歳」「25～29歳」を合計した割合が7割以上を占めており、他の国籍・地域に比べて高くなっている。

また、「韓国」「フィリピン」は40歳以上が6割台を占めており、他の国籍・地域に比べて高い年齢層が多くなっている。

図 I - 6. 年齢（国籍・地域別）



(3) 国籍・地域

Q3. あなたの国籍・地域は次のうちどれですか（1つだけチェック）。

「中国」が31.3%で最も多く、次いで、「ベトナム」(19.1%)、「フィリピン」(13.1%)となっている。

図 I-7. 国籍・地域

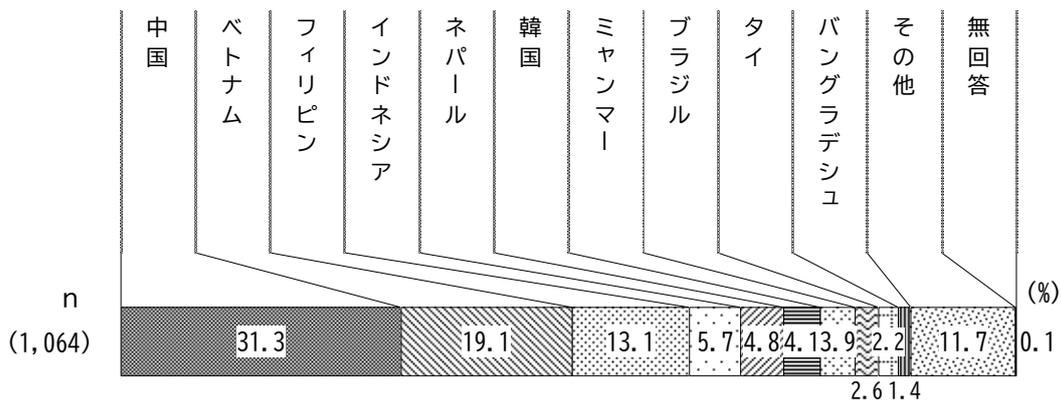
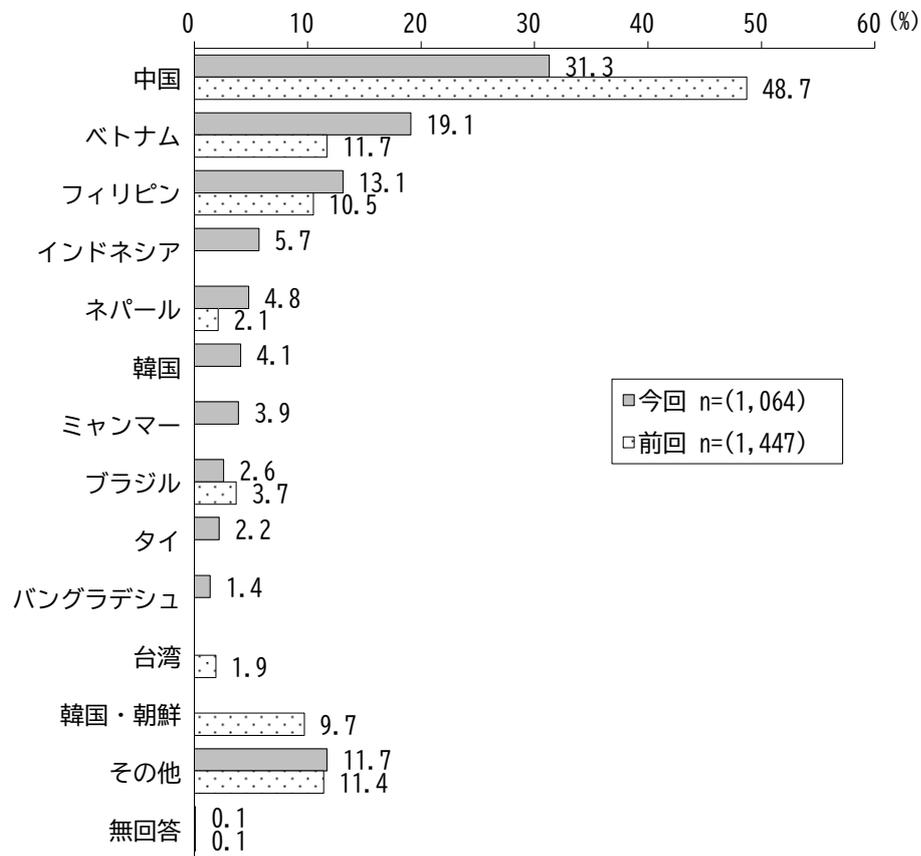


表 I-1. 国籍・地域（その他の内訳）

国籍	人数	%	国籍	人数	%
日本	25	2.3	ポーランド	2	0.2
台湾	15	1.4	マレーシア	2	0.2
スリランカ	12	1.1	ロシア	2	0.2
ペルー	12	1.1	アフガニスタン	1	0.1
アメリカ	10	0.9	イギリス	1	0.1
インド	8	0.8	イスラエル	1	0.1
カナダ	6	0.6	オーストラリア	1	0.1
イラン	3	0.3	オランダ	1	0.1
モンゴル	3	0.3	ドイツ	1	0.1
ガーナ	2	0.2	ノルウェー	1	0.1
カンボジア	2	0.2	パキスタン	1	0.1
セネガル	2	0.2	香港	1	0.1
トルコ	2	0.2	ラオス	1	0.1
ナイジェリア	2	0.2	ルーマニア	1	0.1
フランス	2	0.2	無回答	2	0.2

前回調査と比較すると、「ベトナム」が7.4ポイント増加し、「中国」が17.4ポイント減少している。

図 I - 8. 国籍・地域（経年比較）



※選択肢「韓国」「インドネシア」「ミャンマー」「バングラデシュ」「タイ」は今回調査から追加された。

※選択肢「台湾」「韓国・朝鮮」は前回調査のみ。

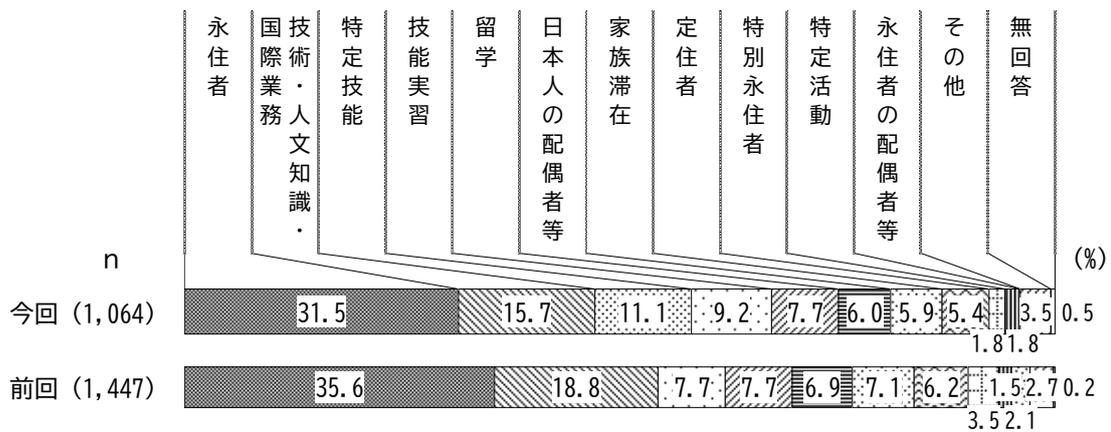
(4) 在留資格

Q4. あなたの在留資格は次のうちどれですか（1つだけチェック）。

「永住者」が31.5%で最も多く、次いで、「技術・人文知識・国際業務」（15.7%）、「特定技能」（11.1%）となっている。

前回調査と比較すると、「永住者」が4.1ポイント減少している。

図 I - 9. 在留資格（経年比較）

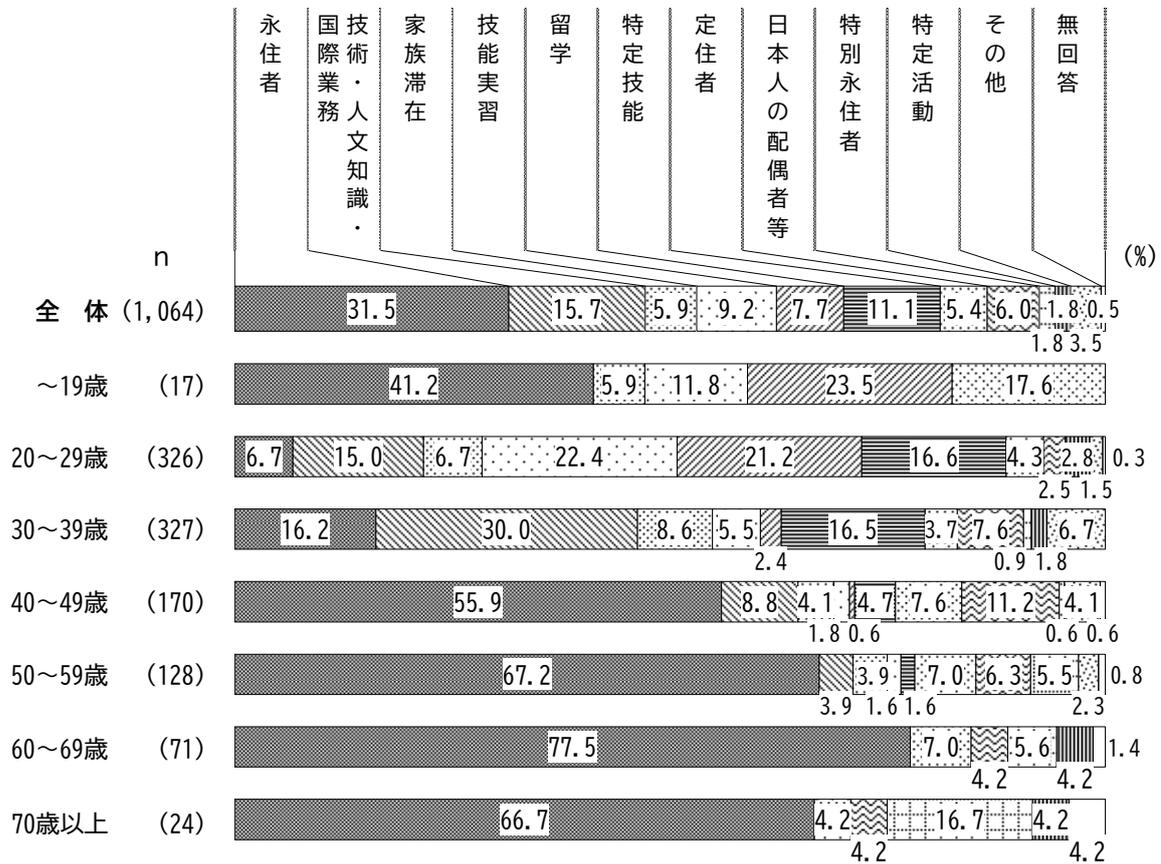


※選択肢「特定技能」は今回調査から追加された。

※選択肢「永住者の配偶者等」は前回調査のみ。

年齢別にみると、「40歳代以上」では「永住者」が最も多く、すべての年代で「永住者」が半数以上となっている。一方、「20～29歳」では「技能実習」、「30～39歳」では「技術・人文知識・国際業務」が最も多くなっている。

図 I - 10. 在留資格（年齢別）

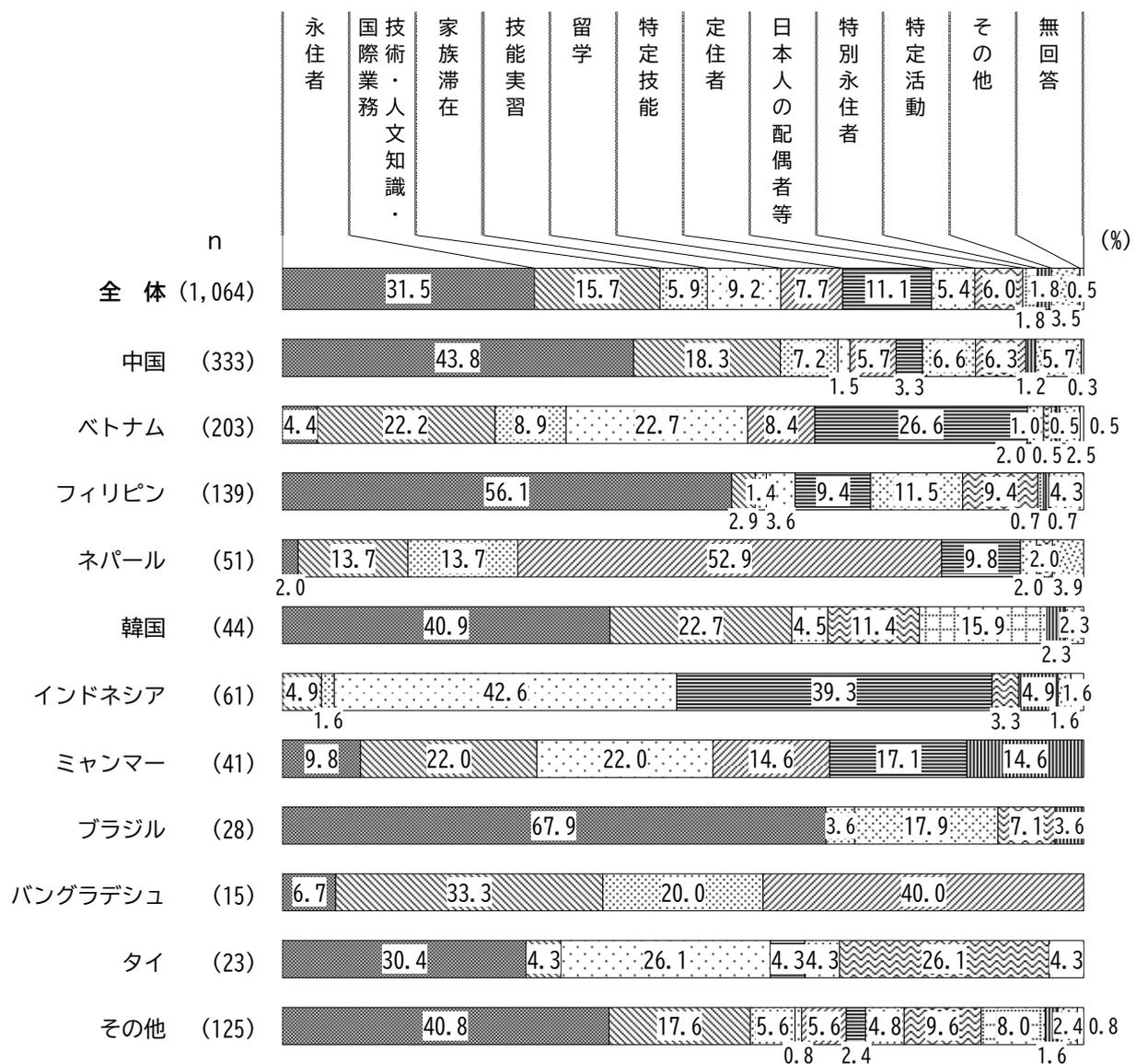


※ 「～19歳」「70歳～」は調査数が30未満のため、参考までに図示するにとどめる。(以降同様)

第2章 調査結果の詳細

国籍・地域別にみると、「フィリピン」「中国」「韓国」では「永住者」、「ベトナム」では「特定技能」、「ネパール」では「留学」、「インドネシア」では「技能実習」が最も多くなっている。また、「ミャンマー」では「技術・人文知識・国際業務」「技能実習」が同率で最も多くなっている。

図 I - 11. 在留資格（国籍・地域別）

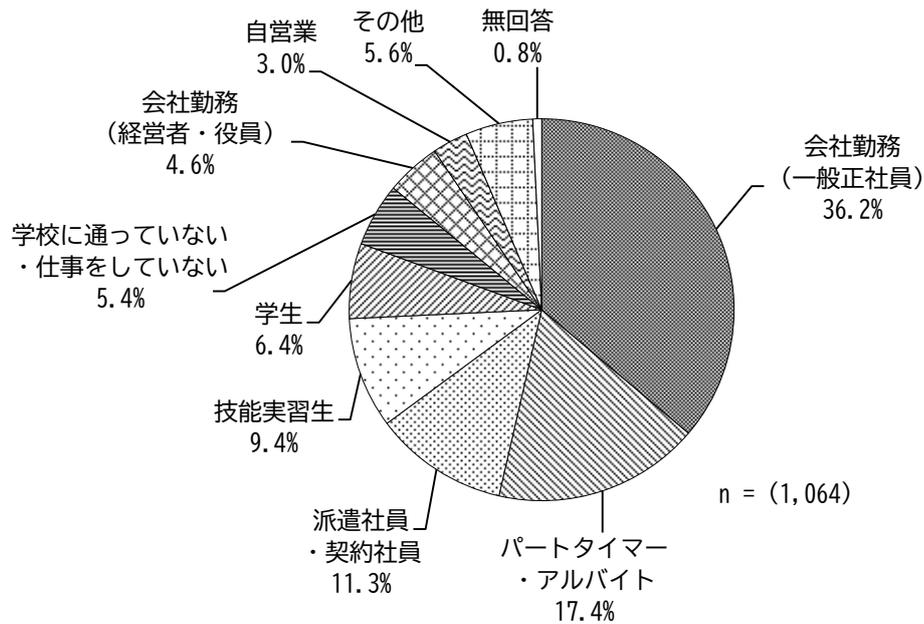


(5) 仕事

Q5. あなたの仕事は、大きく分けて以下の中のどれにあたりますか。(1つだけチェック)。

「会社勤務（一般正社員）」が36.2%で最も多く、次いで、「パートタイマー・アルバイト」（17.4%）、「派遣社員・契約社員」（11.3%）となっている。

図 I -12. 仕事

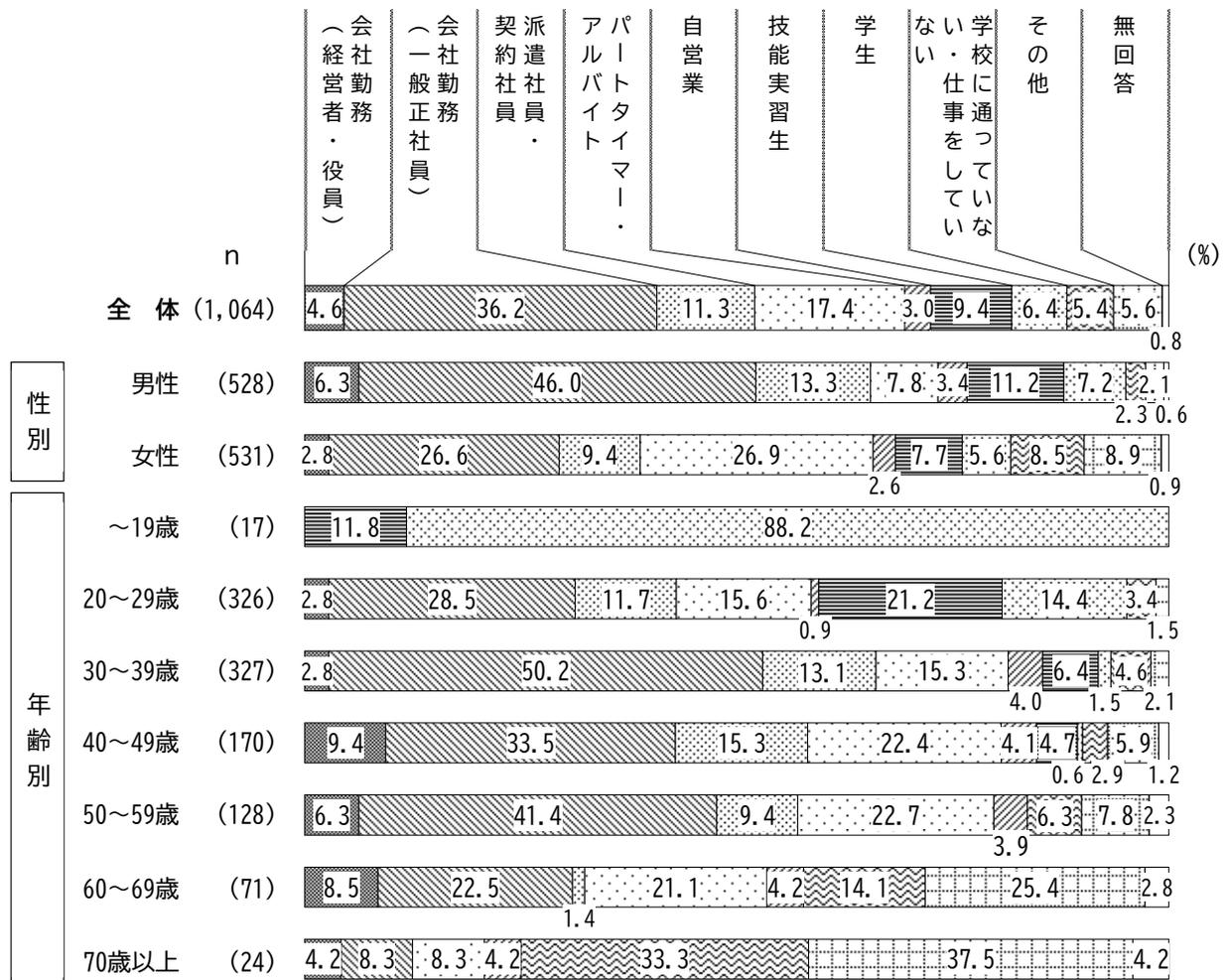


第2章 調査結果の詳細

性別にみると、「男性」では「会社勤務（一般正社員）」、「派遣社員・契約社員」の順で多く、「女性」では「パートタイマー・アルバイト」、「会社勤務（一般正社員）」の順となっている。また、「会社勤務（一般正社員）」は「男性」が「女性」よりも19.4ポイント高く、「パートタイマー・アルバイト」は「女性」が「男性」よりも19.1ポイント高くなっている。

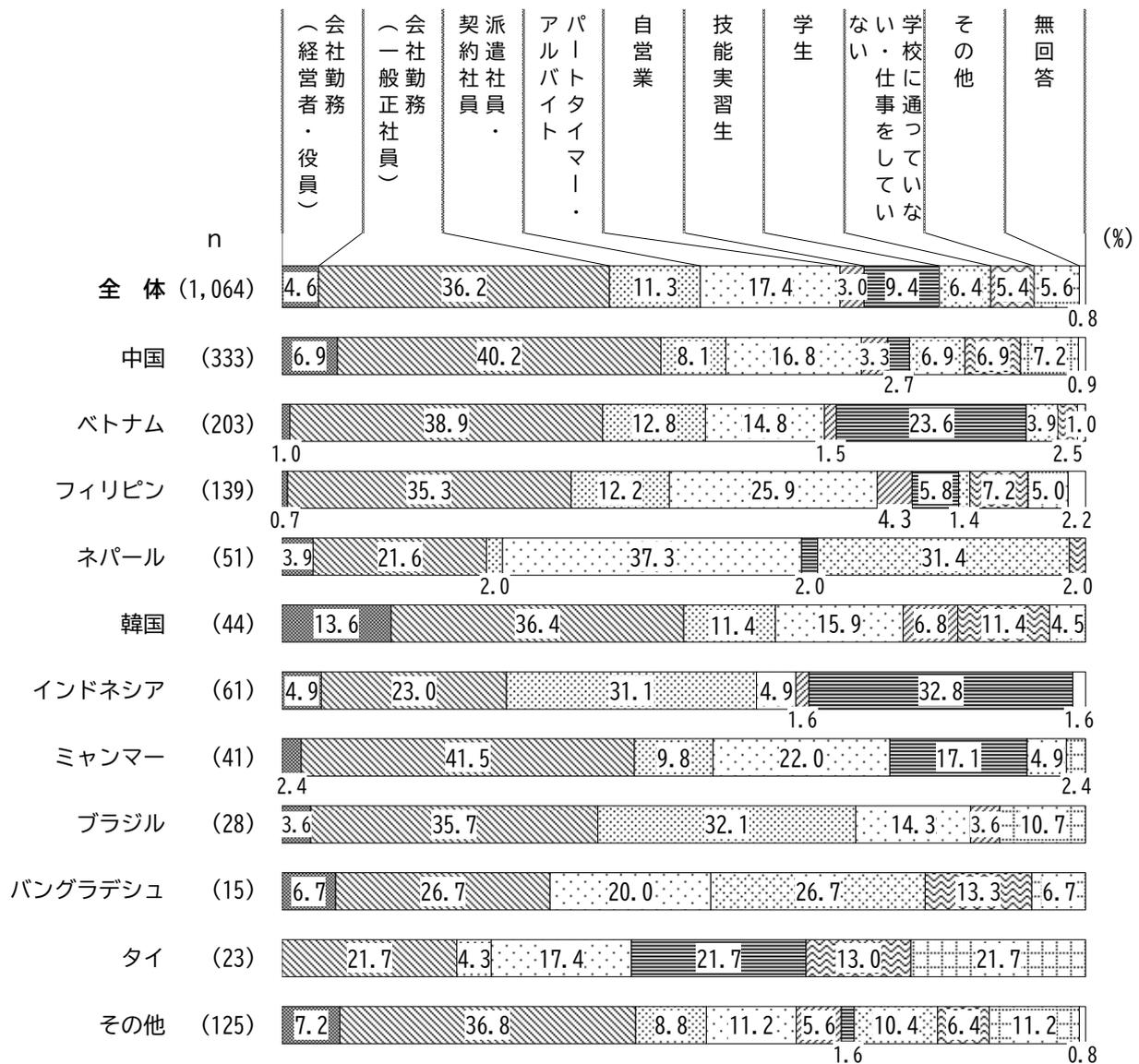
年齢別にみると、「20～29歳」から「50～59歳」までは「会社勤務（一般正社員）」が最も多く、「20～29歳」では「技能実習生」、「30～39歳」から「50～59歳」までは「パートタイマー・アルバイト」が2番目に多くなっている。

図 I - 13. 仕事（性別、年齢別）



国籍・地域別にみると、「ミャンマー」「中国」「ベトナム」「韓国」「フィリピン」では「会社勤務（一般正社員）」、「ネパール」では「パートタイマー・アルバイト」、「インドネシア」では「技能実習生」が最も多くなっている。

図 I - 14. 仕事（国籍・地域別）



(6) 居住地域

Q6. あなたはどこに住んでいますか（市・町・村の名前を書いてください）。

表 I - 2. 地域区分

地 域	該当市町村名
県 南	★川口市、蕨市、★戸田市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、★富士見市、★ふじみ野市、★三芳町、春日部市、草加市、★越谷市、★八潮市、三郷市、★吉川市、松伏町、さいたま市
圏 央 道	★鴻巣市、上尾市、桶川市、北本市、★伊奈町、★川越市、東松山市、坂戸市、鶴ヶ島市、毛呂山町、★越生町、★滑川町、★嵐山町、★小川町、★川島町、★吉見町、★鳩山町、★ときがわ町、東秩父村、所沢市、飯能市、★狭山市、入間市、★日高市、行田市、★加須市、羽生市、★久喜市、蓮田市、幸手市、白岡市、宮代町、★杉戸町
県 北	熊谷市、★本庄市、★深谷市、美里町、★神川町、★上里町、★寄居町、★秩父市、横瀬町、★皆野町、長瀨町、★小鹿野町

★：本調査へ協力いただいた市町村

表 I - 3. 地域別（3区分）

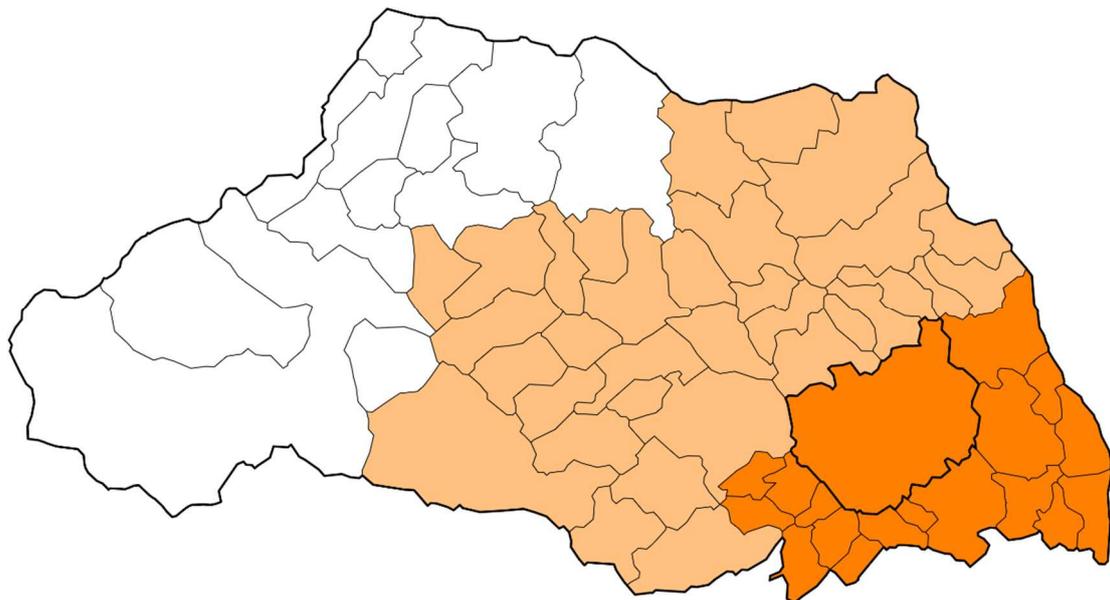
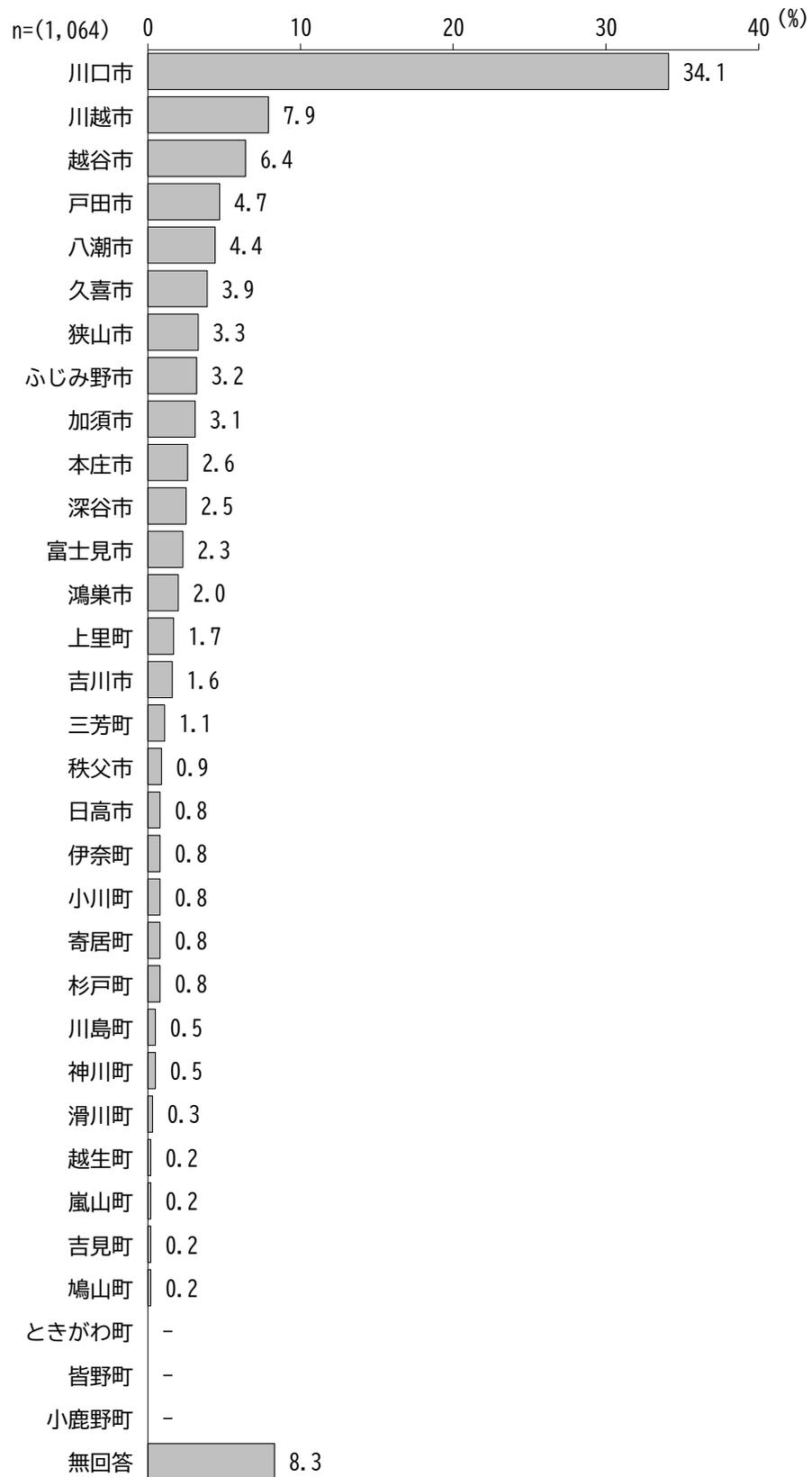


表 I - 4. 地域別（3区分）

（上段：人、下段：％）

総 数	県 北	圏 央 道	県 南	無 回 答
1,064	96	265	615	88
100	9.0	24.9	57.8	8.3

図 I - 15. 居住地域

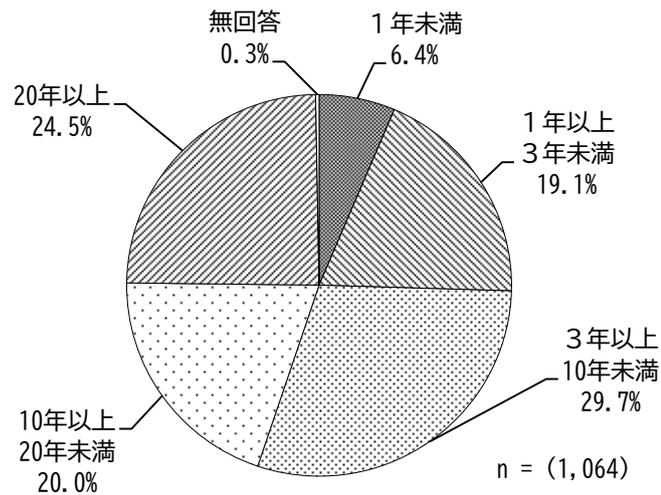


(7) 日本での通算在住年数

Q7. あなたが日本に住んでいる期間は、合計するとどれくらいの長さになりますか（1つだけチェック）。

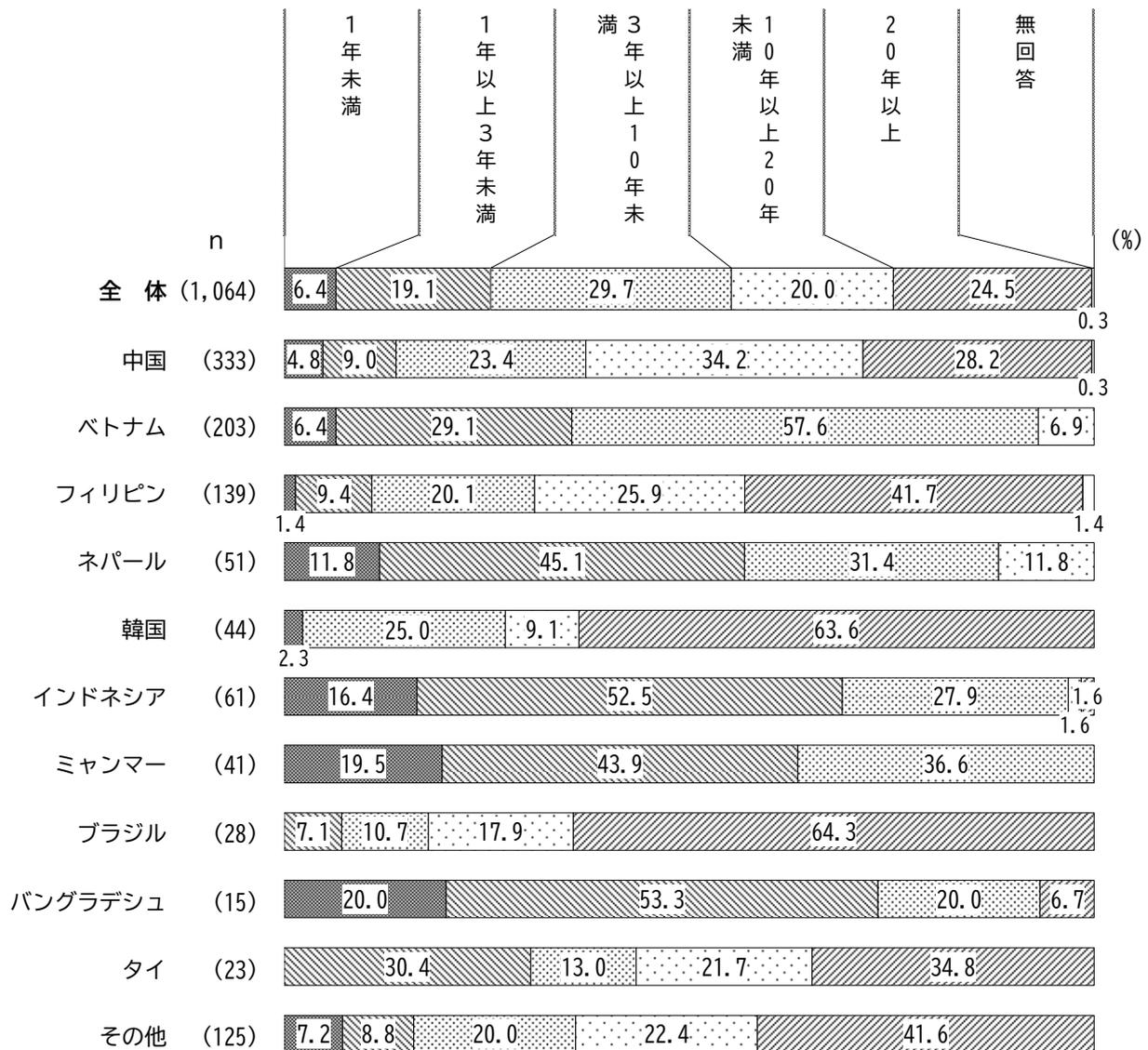
10年以上が44.5%、「3年以上10年未満」が29.7%、3年未満が25.5%となっている。

図 I - 16. 日本での通算在住年数



国籍・地域別にみると、在住年数が「10年以上」である割合は《韓国》で72.7%、《フィリピン》で67.6%、《中国》で62.4%と他の国籍・地域に比べて高く、《韓国》《フィリピン》では「20年以上」が最も多くなっている。一方、在住年数が「3年未満」である割合は、《インドネシア》で68.9%、《ミャンマー》で63.4%、《ネパール》で56.9%となっており、いずれの国籍も「1年以上3年未満」が最も多くなっている。

図 I -17. 日本での通算在住年数（国籍・地域別）

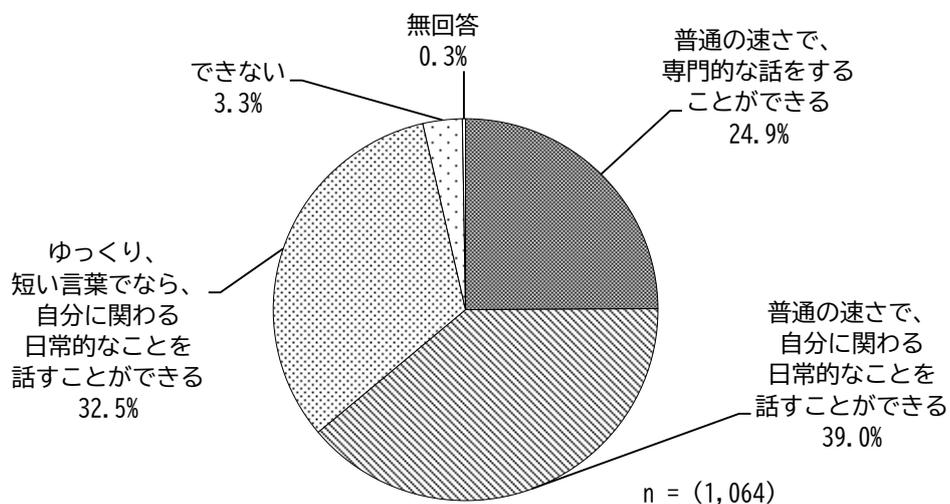


(8) 日本語能力 (会話)

Q8. あなたは日本語でどの程度会話ができますか (1つだけチェック)。

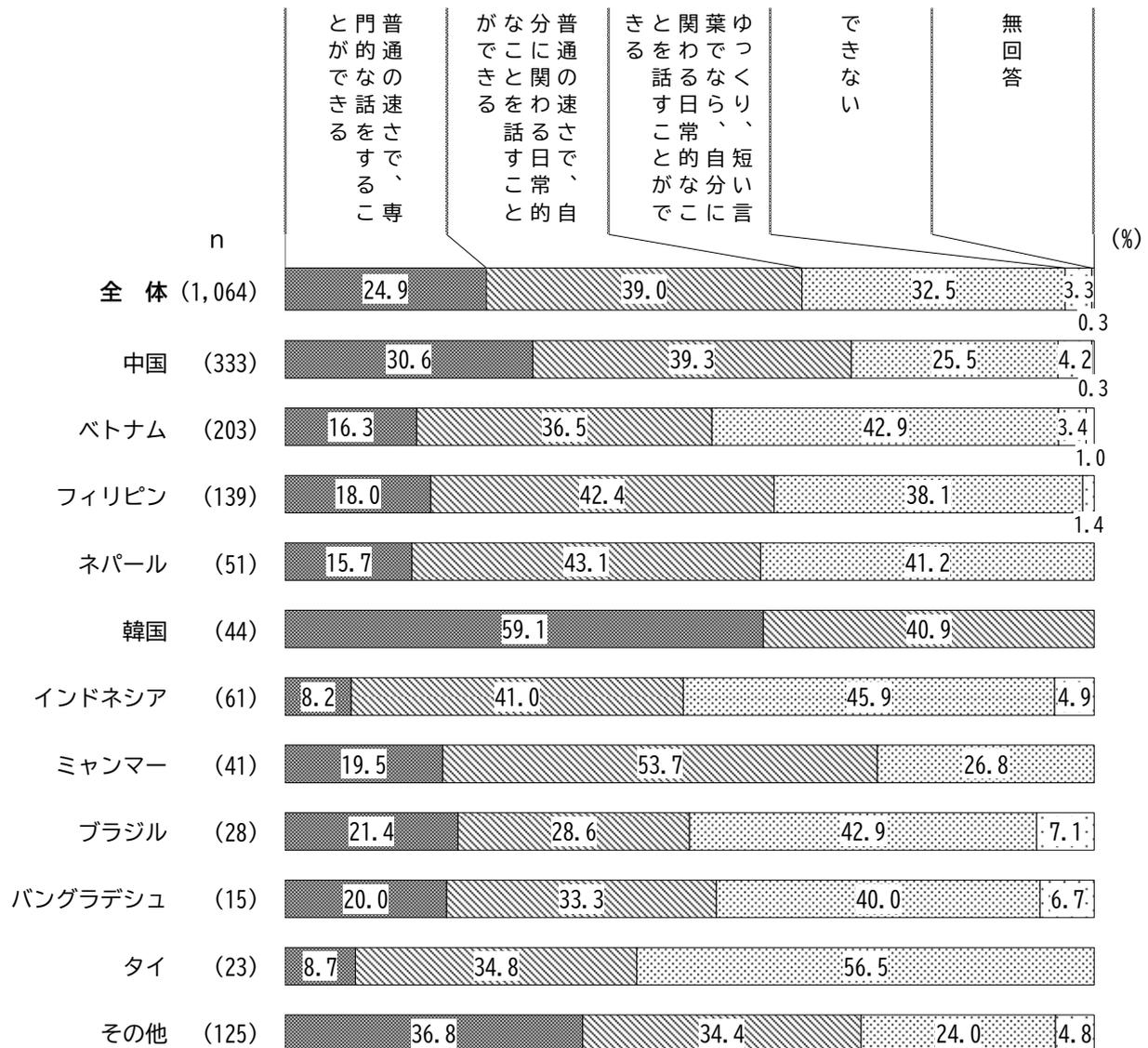
「普通の速さで、自分に関わる日常的なことを話すことができる」が39.0%で最も多く、次いで、「ゆっくり、短い言葉でなら、自分に関わる日常的なことを話すことができる」(32.5%)、「普通の速さで、専門的な話をするすることができる」(24.9%)となっている。日常的な内容であれば日本語での会話が可能な人が多い一方、普通の速さで専門的な内容を理解・会話できる人は限られている。いわゆる「やさしい日本語」を含め、分かりやすい言葉でコミュニケーションをとることの重要性がうかがえる。

図 I -18. 日本語能力 (会話)



国籍・地域別にみると、「韓国」では「普通の速さで、専門的な話をすることができる」、
 «ミャンマー»«ネパール»«フィリピン»では「普通の速さで、自分に関わる日常的なことを
 話すことができる」、«インドネシア»«ベトナム»では「ゆっくり、短い言葉でなら、自分に関
 わる日常的なことを話すことができる」が最も多くなっている。国籍・地域によって日本語能力
 には違いがみられる。

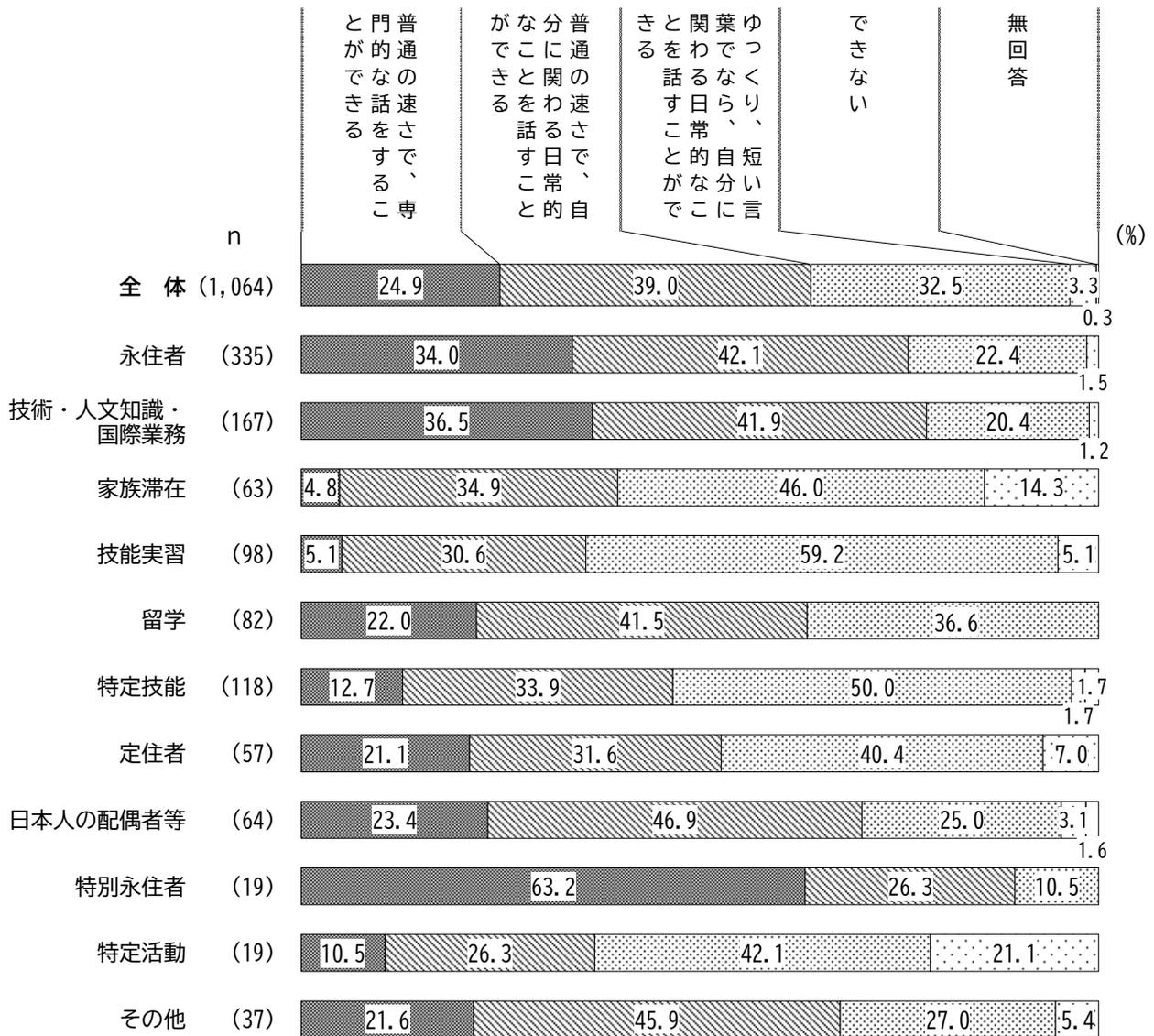
図 I -19. 日本語能力（会話）（国籍・地域別）



第2章 調査結果の詳細

在留資格別にみると、「日本人の配偶者等」「永住者」「技術・人文知識・国際業務」「留学」では「普通の速さで、自分に関わる日常的なことを話すことができる」、「技能実習」「特定技能」「家族滞在」「定住者」では「ゆっくり、短い言葉でなら、自分に関わる日常的なことを話すことができる」が最も多い。また、「家族滞在」では「できない」が14.3%と他の在留資格に比べて高くなっている。

図 I - 20. 日本語能力（会話）（在留資格別）

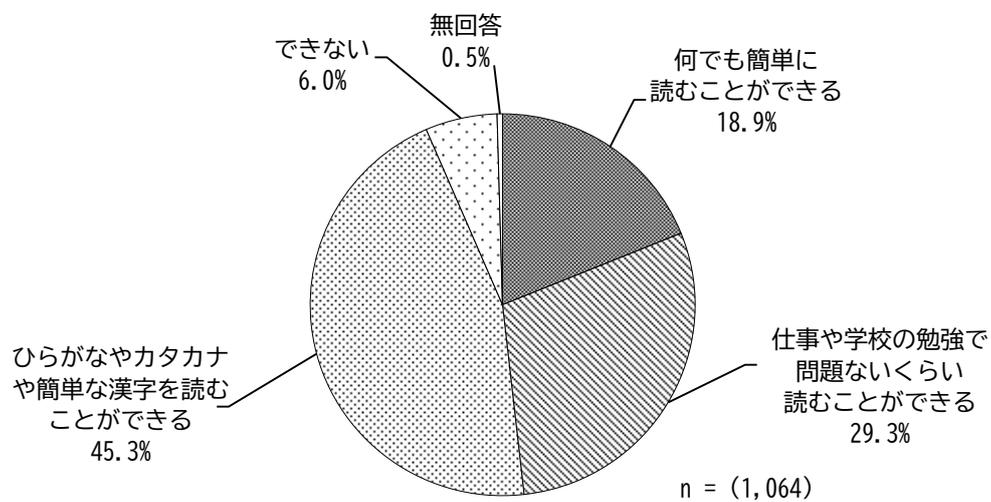


(9) 日本語能力（読む）

Q9. あなたは日本語でどの程度文章が読めますか（1つだけチェック）。

「ひらがなやカタカナや簡単な漢字を読むことができる」が45.3%で最も多く、次いで、「仕事や学校の勉強で問題ないくらい読むことができる」（29.3%）、「何でも簡単に読むことができる」（18.9%）となっている。簡単な表現や仕事や学校の勉強で問題ない程度であれば理解できる人が多い一方、何でも簡単に読むことができる人は2割弱にとどまっている。このことから、「やさしい日本語」を含めて分かりやすい表現を活用することの有用性がうかがえる。

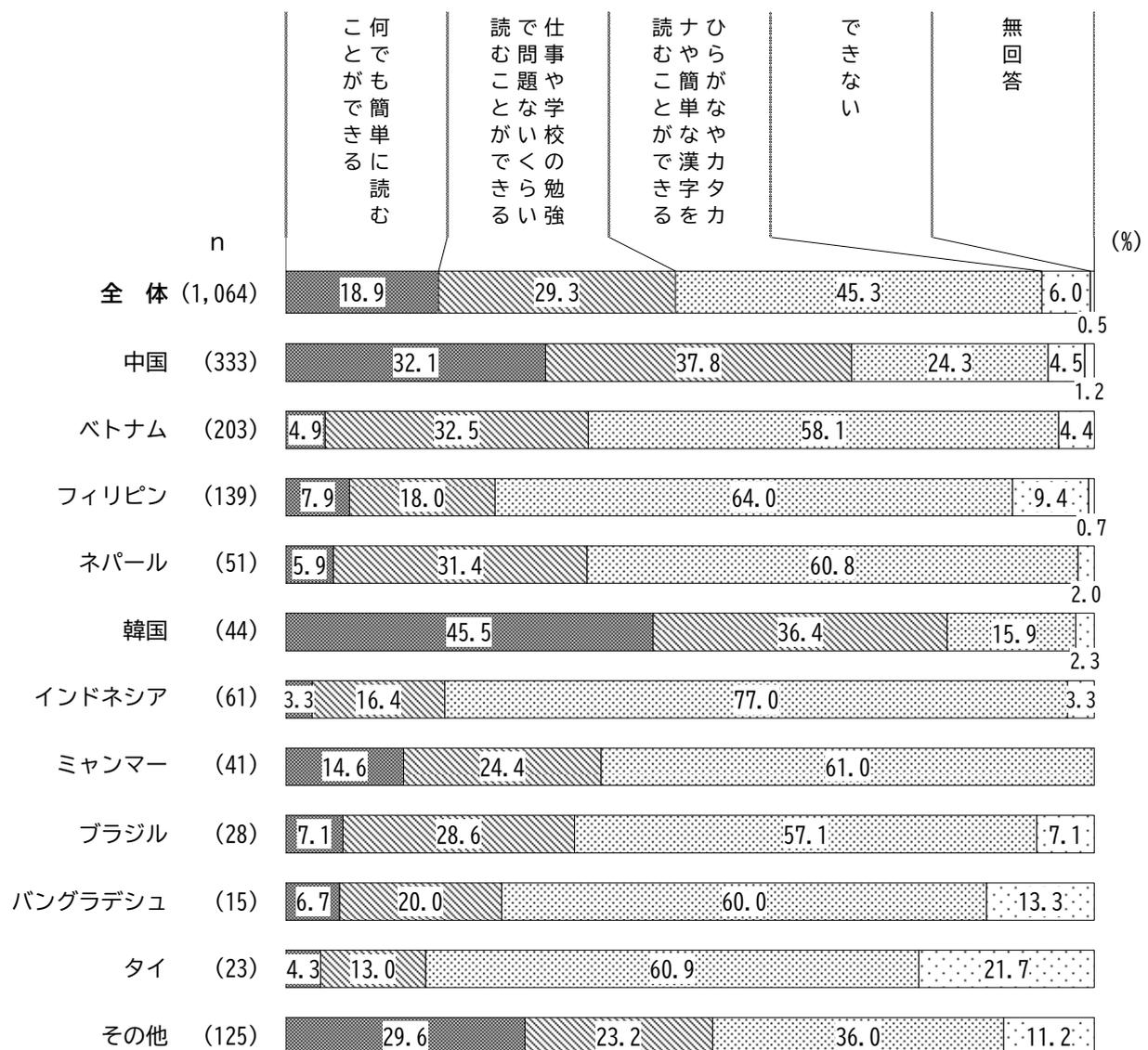
図 I - 21. 日本語能力（読む）



第2章 調査結果の詳細

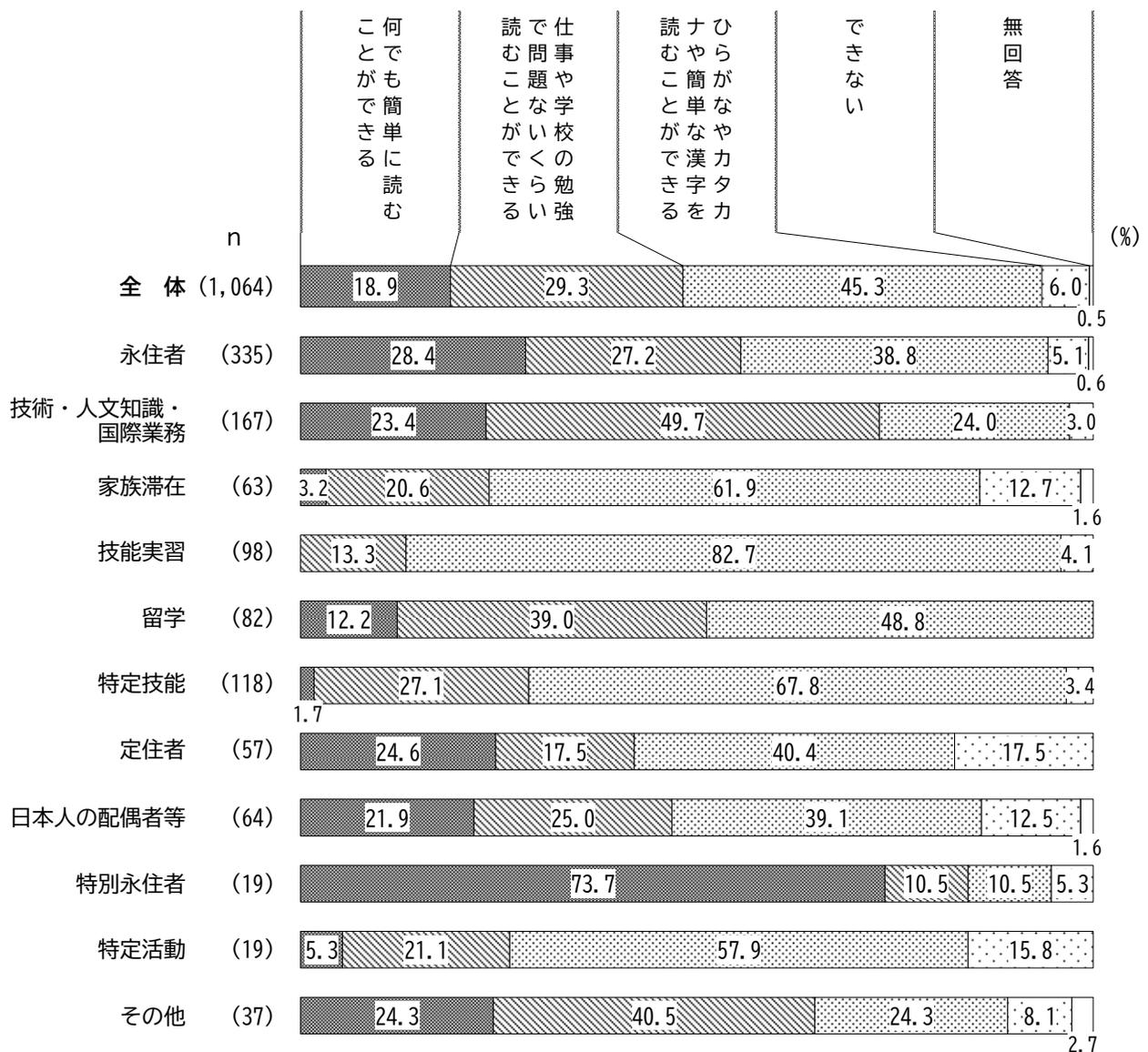
国籍・地域別にみると、「韓国」では「何でも簡単に読むことができる」、中国」では「仕事や学校の勉強で問題ないくらい読むことができる」、これら以外の国籍・地域では「ひらがなやカタカナや簡単な漢字を読むことができる」が最も多くなっている。「韓国」や「中国」は、他の国籍・地域よりも日本語を読む能力が高い人が多いことがわかる。

図 I - 22. 日本語能力（読む）（国籍・地域別）



在留資格別にみると、「技術・人文知識・国際業務」では「仕事や学校の勉強で問題ないくらい読むことができる」、これ以外では「ひらがなやカタカナや簡単な漢字を読むことができる」が最も多くなっている。また、「定住者」「家族滞在」「日本人の配偶者等」では「できない」が10%を超えており、他の在留資格に比べて高くなっている。

図 I - 23. 日本語能力（読む）（在留資格別）



II. 日常生活について

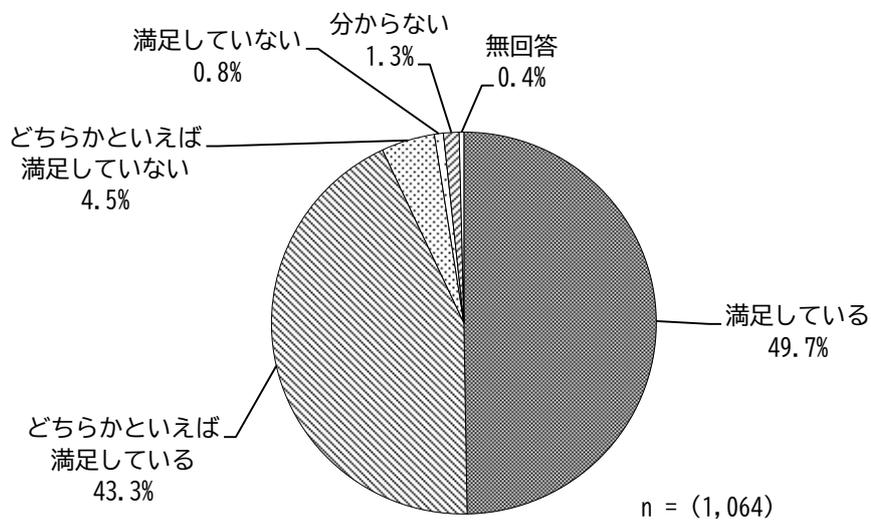
1. 満足度

(1) 埼玉県での生活の満足度

Q10. あなたは埼玉県での生活に満足していますか（1つだけチェック）。

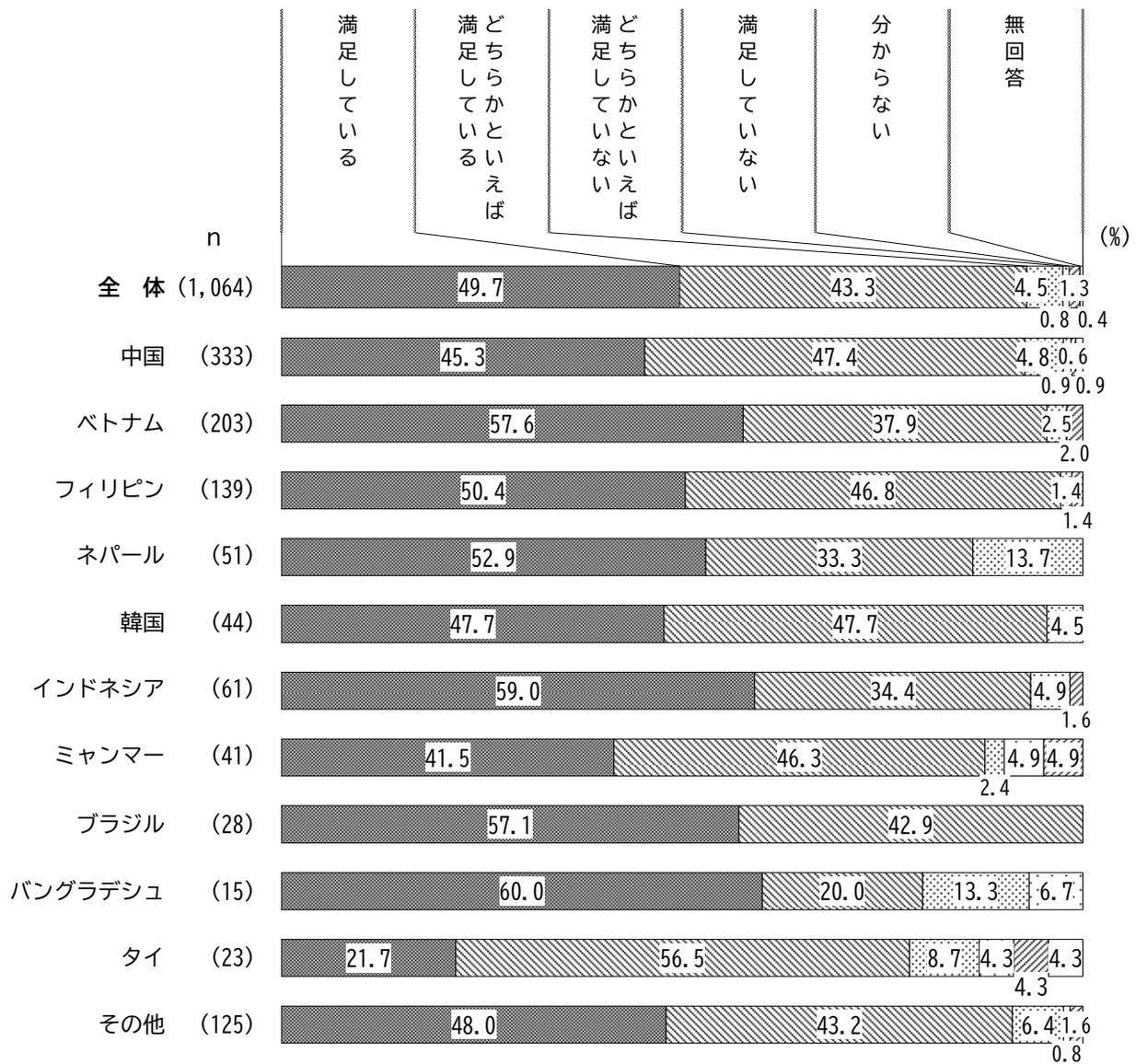
「満足している」が49.7%で最も多く、次いで、「どちらかといえば満足している」は43.3%となっている。一方、「どちらかといえば満足していない」は4.5%、「満足していない」は0.8%となっている。

図II-1. 埼玉県での生活の満足度



国籍・地域別にみると、「満足している」「どちらかといえば満足している」を合計した割合は「フィリピン」「ベトナム」「韓国」「インドネシア」「中国」で9割台、「ミャンマー」「ネパール」で8割台となっている。

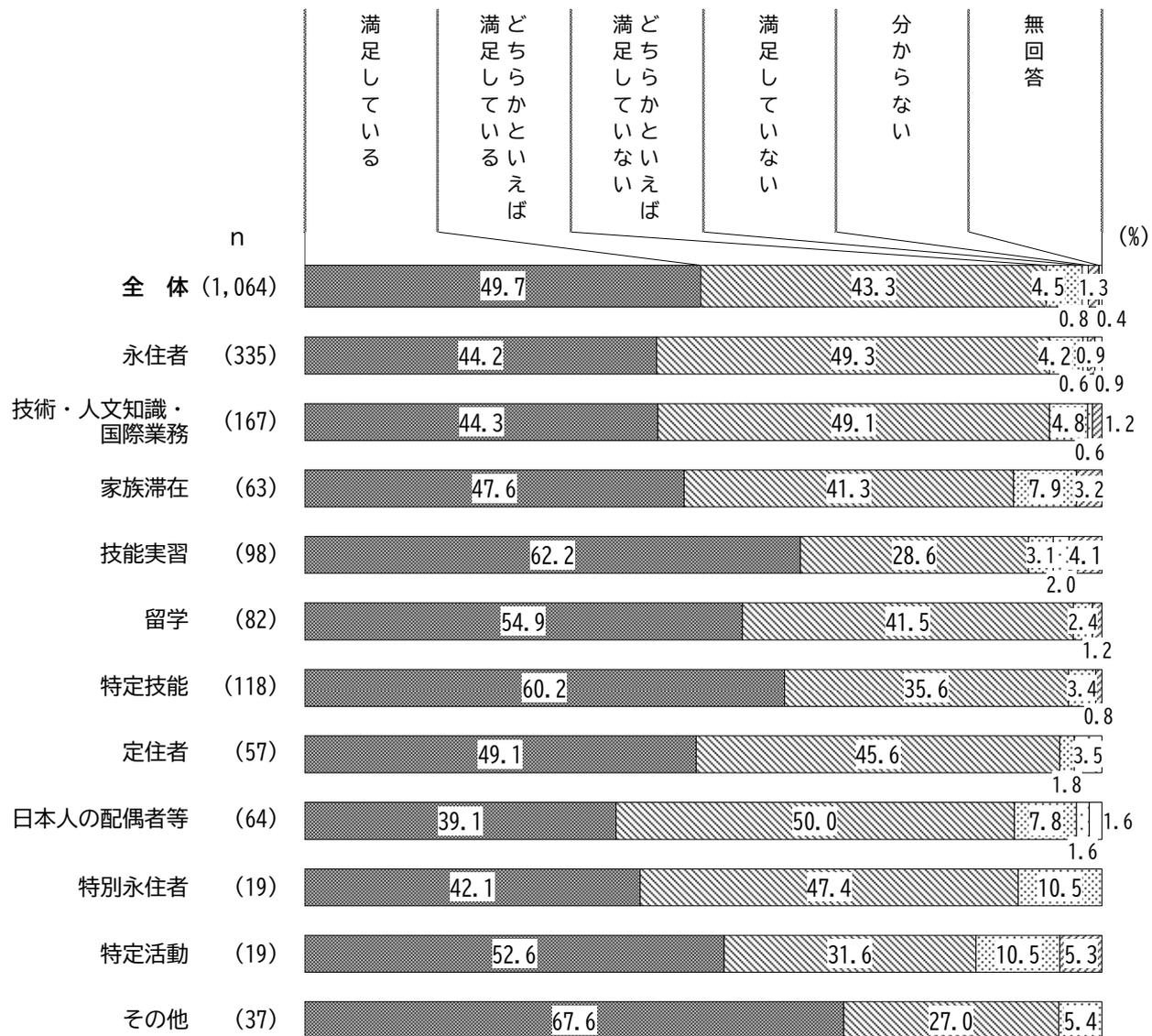
図Ⅱ-2. 埼玉県での生活の満足度（国籍・地域別）



第2章 調査結果の詳細

在留資格別にみると、「満足している」「どちらかといえば満足している」を合計した割合は「留学」「特定技能」「定住者」「永住者」「技術・人文知識・国際業務」「技能実習」で9割台、「日本人の配偶者等」「家族滞在」では8割台となっている。

図Ⅱ－3．埼玉県での生活の満足度（在留資格別）



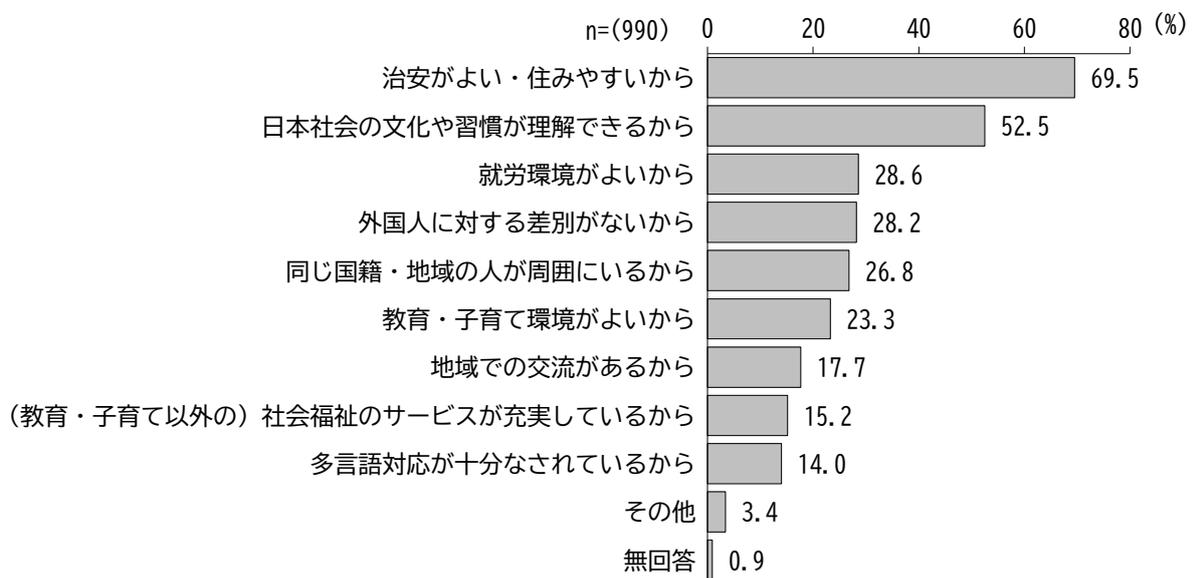
(2) 満足している理由

Q10-1. 【Q10で「満足している」「どちらかといえば満足している」と答えた方にお聞きします。】

そのように感じている理由を教えてください（当てはまるもの全てにチェック）。

「治安がよい・住みやすいから」が69.5%で最も多く、次いで、「日本社会の文化や習慣が理解できるから」（52.5%）、「就労環境がよいから」（28.6%）、「外国人に対する差別がないから」（28.2%）となっている。

図Ⅱ－4. 満足している理由



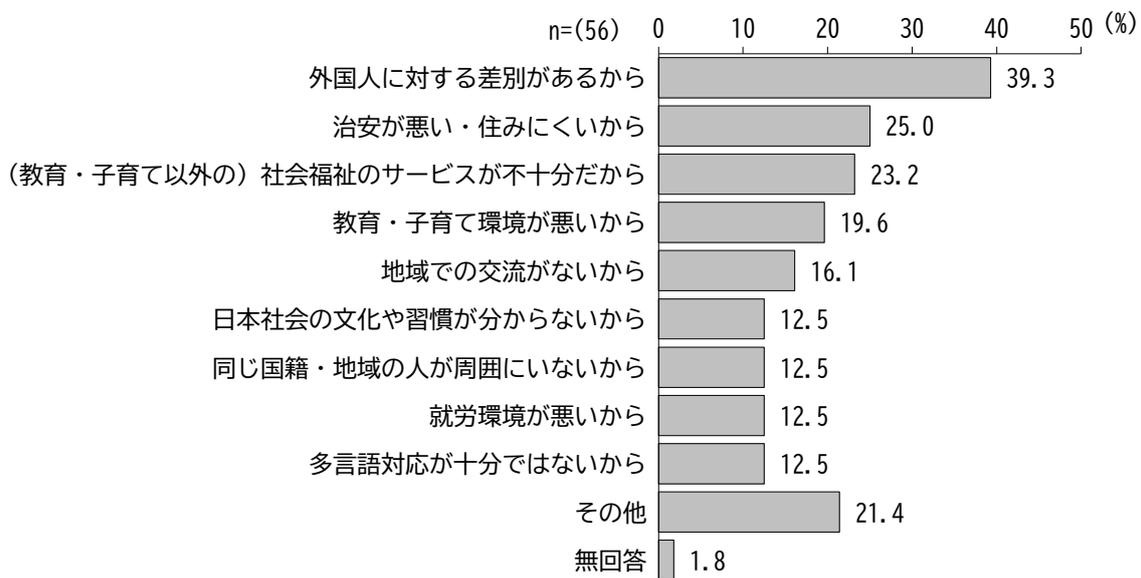
(3) 満足していない理由

Q10-2. 【Q10で「どちらかといえば満足していない」「満足していない」と答えた方にお聞きします。】

そのように感じている理由を教えてください（当てはまるもの全てにチェック）。

「外国人に対する差別があるから」が39.3%で最も多く、次いで、「治安が悪い・住みにくいから」(25.0%)、「(教育・子育て以外の)社会福祉のサービスが不十分だから」(23.2%)となっている。

図Ⅱ-5. 満足していない理由



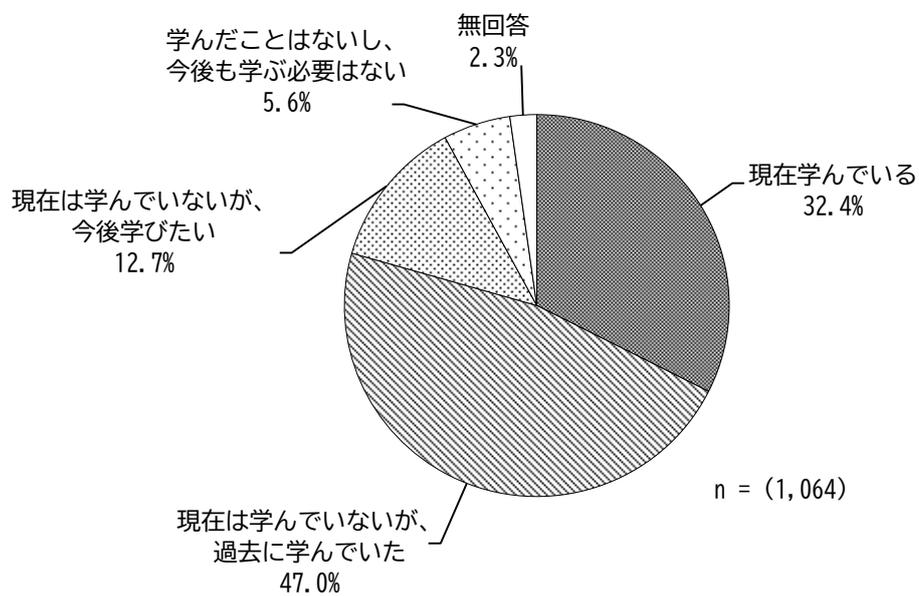
2. 日本語の学習

(1) 日本語学習歴

Q11. あなたは日本語を学んでいますか (いましたか) (1つだけチェック)。

「現在は学んでいないが、過去に学んでいた」が47.0%で最も多く、次いで、「現在学んでいる」(32.4%)、「現在は学んでいないが、今後学びたい」(12.7%)、「学んだことはないし、今後も学ぶ必要はない」(5.6%)となっている。

図Ⅱ－6. 日本語学習歴

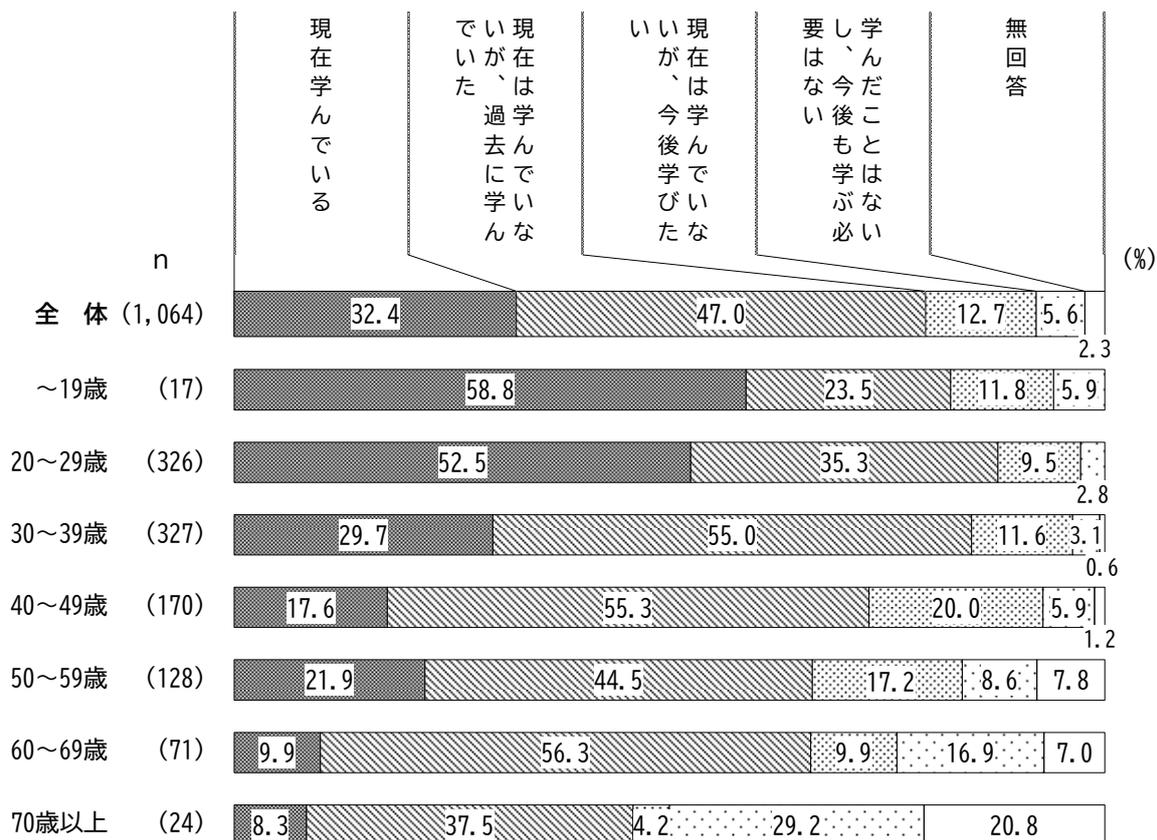


第2章 調査結果の詳細

年齢別にみると、「20～29歳」では「現在学んでいる」が52.5%で半数を超えて最も多くなっている。また、「30歳代以上」では「現在は学んでいないが、過去に学んでいた」が最も多く、次いで、「30～39歳」および「50～59歳」では「現在学んでいる」、「40～49歳」では「現在は学んでいないが、今後学びたい」となっている。

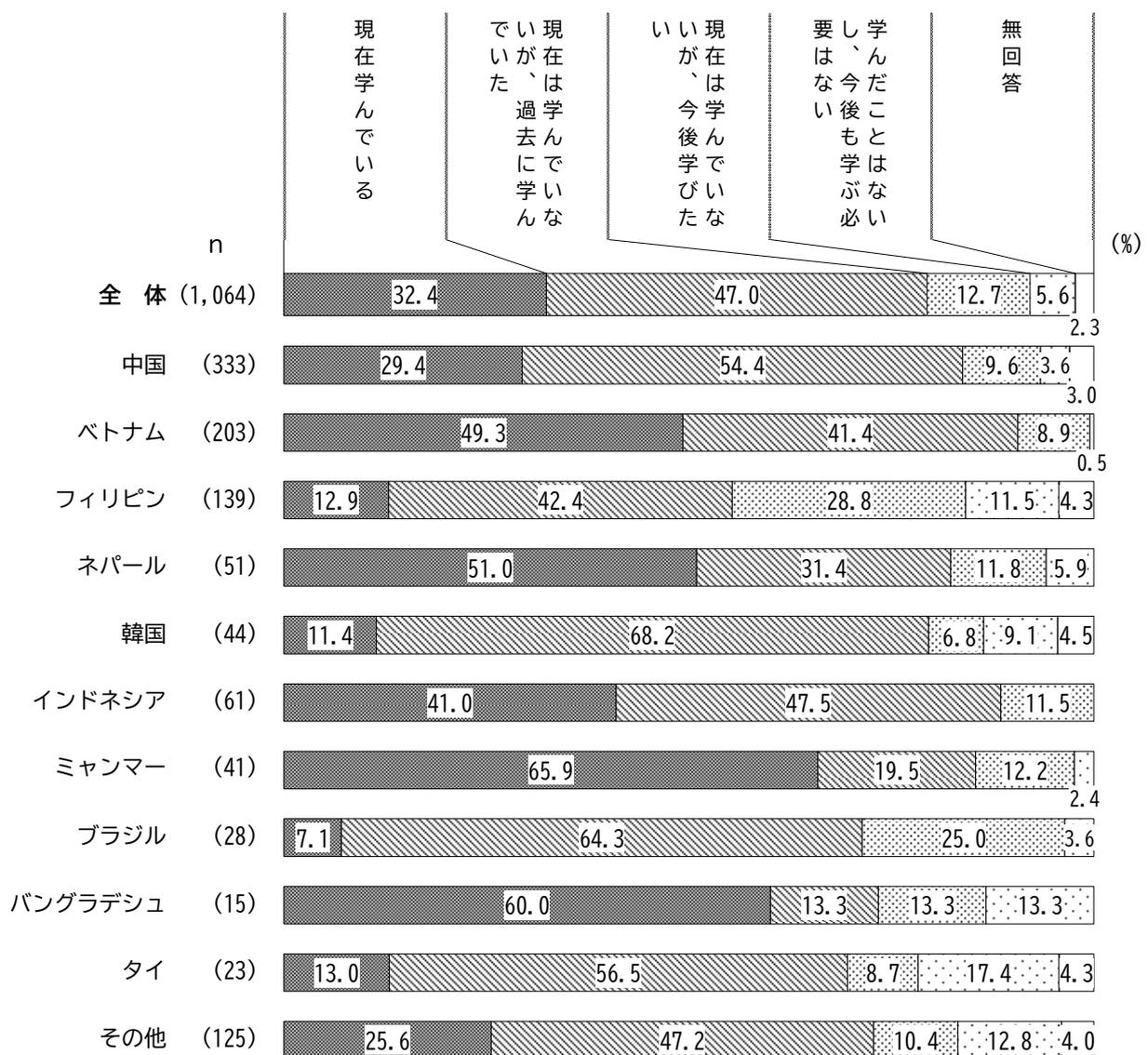
図Ⅱ－7. 日本語学習歴（年齢別）

s



国籍・地域別にみると、「ミャンマー」「ネパール」「ベトナム」では「現在学んでいる」、
 「韓国」「中国」「インドネシア」「フィリピン」では「現在は学んでいないが、過去に学んで
 いた」が最も多くなっている。また、「フィリピン」では「現在は学んでいないが、今後学びたい」
 が2番目に多くなっている。

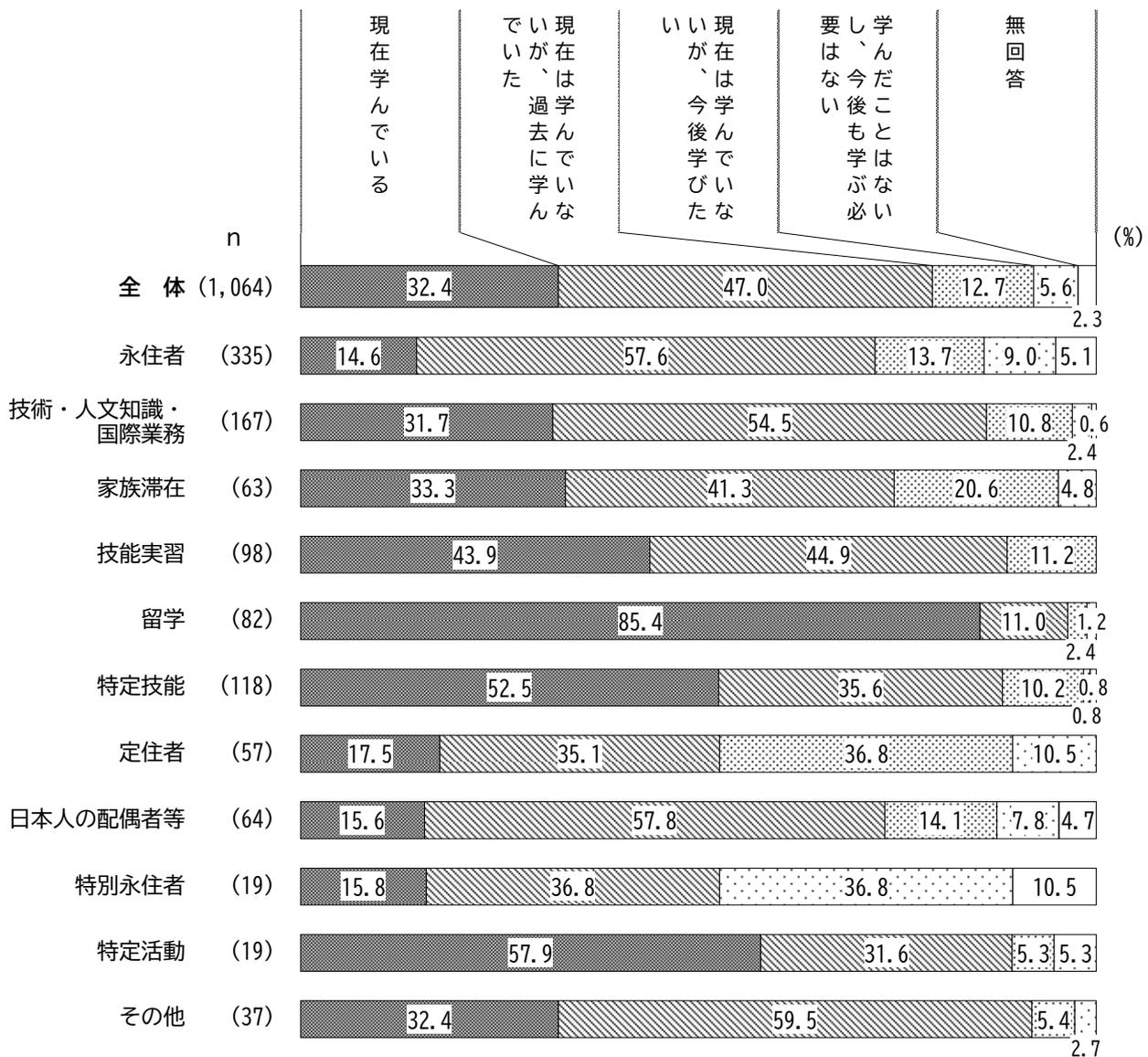
図Ⅱ－8. 日本語学習歴（国籍・地域別）



第2章 調査結果の詳細

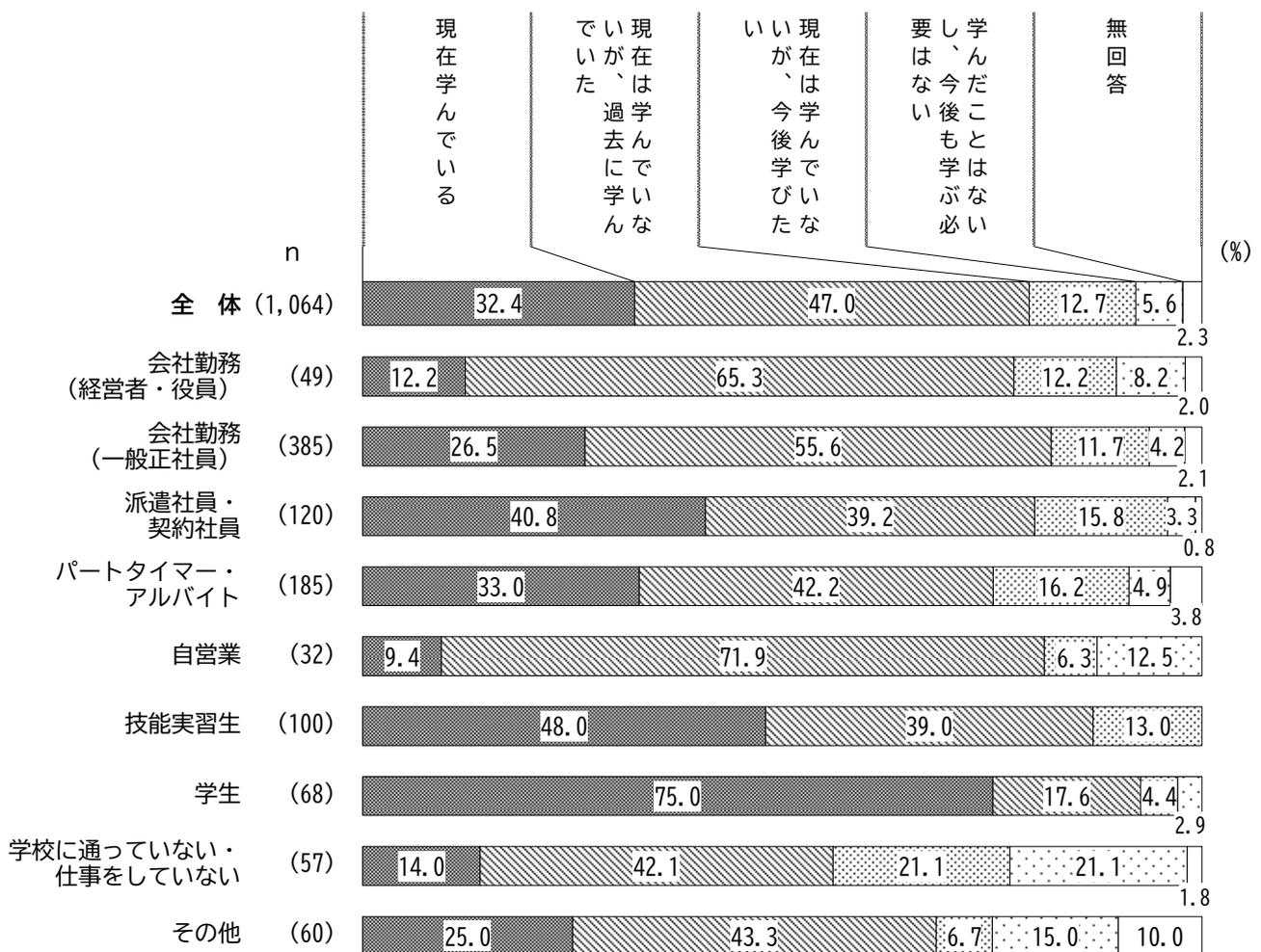
在留資格別にみると、「留学」・「特定技能」では「現在学んでいる」、日本人の配偶者等」「永住者」・「技術・人文知識・国際業務」・「技能実習」・「家族滞在」では「現在は学んでいないが、過去に学んでいた」、定住者」では「現在は学んでいないが、今後学びたい」が最も多くなっている。

図Ⅱ－9．日本語学習歴（在留資格別）



職業（仕事）別にみると、「学生」「技能実習生」「派遣社員・契約社員」では「現在学んでいる」、「自営業」「会社勤務（経営者・役員）」「会社勤務（一般正社員）」「パートタイマー・アルバイト」「学校に通っていない・仕事をしていない」では「現在は学んでいないが、過去に学んでいた」が最も多くなっている。

図II-10. 日本語学習歴（職業（仕事）別）



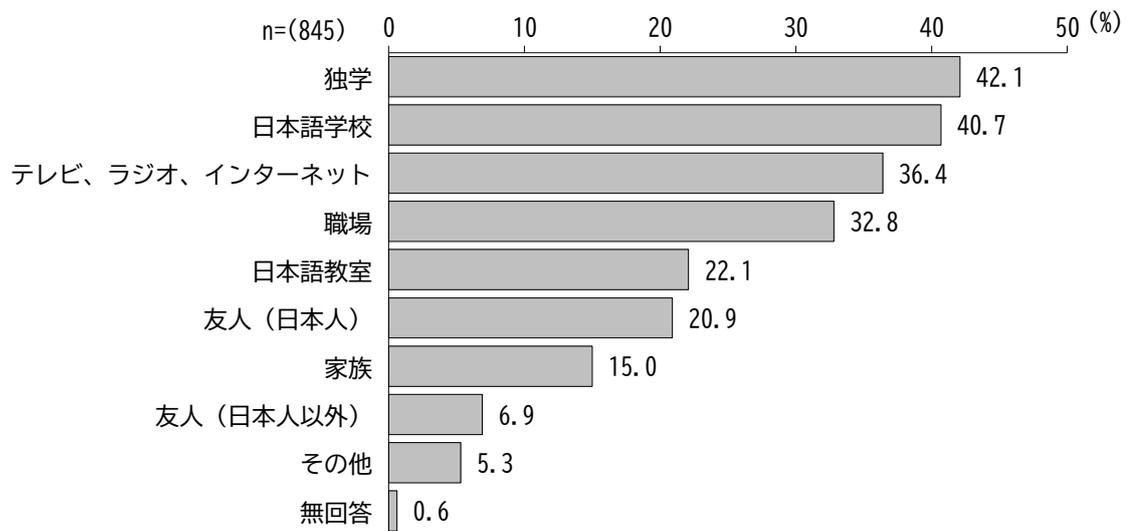
(2) 日本語学習方法

Q11-1. 【Q11で「現在学んでいる」「現在は学んでいないが、過去に学んでいた」と答えた方にお聞きします。】

日本語をどのように学んでいますか（いましたか）（当てはまるもの全てにチェック）。

「独学」が42.1%で最も多く、次いで、「日本語学校」(40.7%)、「テレビ、ラジオ、インターネット」(36.4%)、「職場」(32.8%)となっている。

図II-11. 日本語学習方法



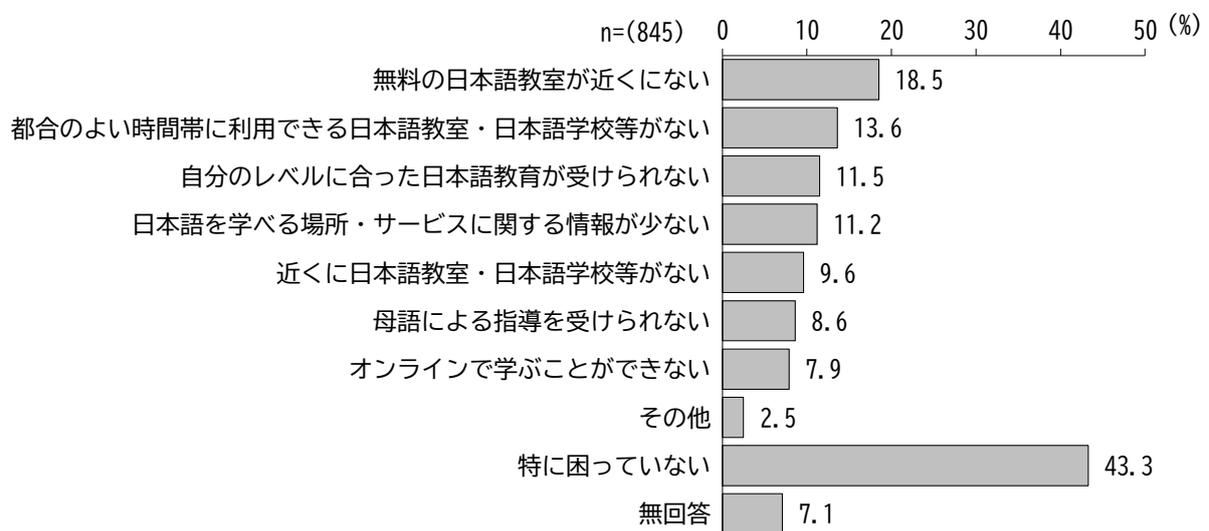
(3) 日本語学習における困りごと

Q11-2. 【Q11で「現在学んでいる」「現在は学んでいないが、過去に学んでいた」と答えた方にお聞きします。】

あなたが日本語を学ぶときに特に困っていること（いたこと）を教えてください（当てはまるもの全てにチェック）。

「特に困っていない」が43.3%を占めていた。一方、具体的な選択肢の中では、「無料の日本語教室が近くにない」（18.5%）が最も多く、次いで、「都合のよい時間帯に利用できる日本語教室・日本語学校等がない」（13.6%）、「自分のレベルに合った日本語教育が受けられない」（11.5%）、「日本語を学べる場所・サービスに関する情報が少ない」（11.2%）となっている。

図Ⅱ-12. 日本語学習における困りごと



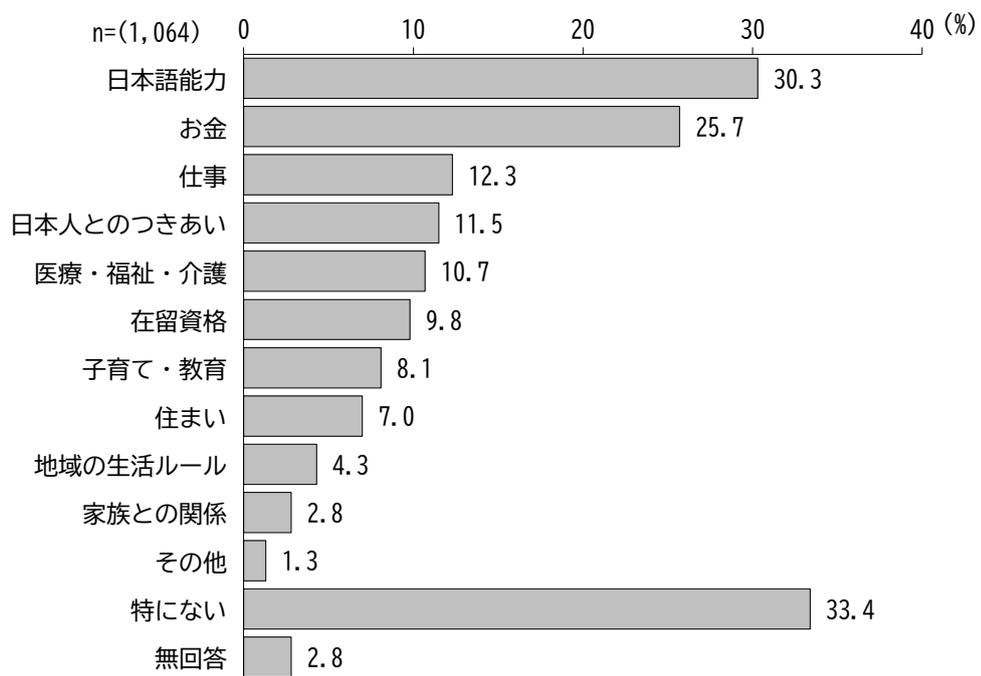
3. 情報の入手方法・行政サービス

(1) 生活での困りごと

Q12. 生活の中で特に困っていることは何ですか（当てはまるもの全てにチェック）。

「特にない」が33.4%を占めていた。一方、具体的な選択肢の中では、「日本語能力」（30.3%）が最も多く、次いで、「お金」（25.7%）、「仕事」（12.3%）、「日本人とのつきあい」（11.5%）となっている。

図Ⅱ-13. 生活での困りごと



国籍・地域別にみると、「ベトナム」「ネパール」「インドネシア」「フィリピン」では「日本語能力」、中国では「お金」が最も多くなっている。一方、「中国」「韓国」では「特にない」が4割台で最も多くなっているが、具体的な困りごとをみると「中国」では「日本語能力」、韓国では「お金」が多い。

表II-1. 生活での困りごと（国籍・地域別）

(上段：人、下段：%)

	調査数	日本語能力	お金	仕事	日本人とのつきあい	医療・福祉・介護	在留資格	子育て・教育
全体	1,064 100.0	322 30.3	273 25.7	131 12.3	122 11.5	114 10.7	104 9.8	86 8.1
中国	333 100.0	64 19.2	55 16.5	27 8.1	37 11.1	34 10.2	30 9.0	37 11.1
ベトナム	203 100.0	105 51.7	51 25.1	37 18.2	34 16.7	22 10.8	29 14.3	17 8.4
フィリピン	139 100.0	55 39.6	53 38.1	26 18.7	12 8.6	18 12.9	15 10.8	11 7.9
ネパール	51 100.0	23 45.1	22 43.1	8 15.7	4 7.8	4 7.8	6 11.8	5 9.8
韓国	44 100.0	1 2.3	13 29.5	2 4.5	2 4.5	3 6.8	4 9.1	3 6.8
インドネシア	61 100.0	25 41.0	15 24.6	8 13.1	9 14.8	8 13.1	4 6.6	2 3.3
ミャンマー	41 100.0	6 14.6	15 36.6	4 9.8	5 12.2	5 12.2	2 4.9	-
ブラジル	28 100.0	7 25.0	5 17.9	2 7.1	-	2 7.1	-	1 3.6
バングラデシュ	15 100.0	7 46.7	6 40.0	2 13.3	2 13.3	3 20.0	2 13.3	2 13.3
タイ	23 100.0	3 13.0	4 17.4	2 8.7	3 13.0	5 21.7	2 8.7	-
その他	125 100.0	26 20.8	33 26.4	12 9.6	14 11.2	10 8.0	10 8.0	7 5.6

(上段：人、下段：%)

	調査数	住まい	地域の生活ルール	家族との関係	その他	特にない	無回答
全体	1,064 100.0	74 7.0	46 4.3	30 2.8	14 1.3	355 33.4	30 2.8
中国	333 100.0	28 8.4	13 3.9	10 3.0	5 1.5	143 42.9	14 4.2
ベトナム	203 100.0	12 5.9	13 6.4	4 2.0	1 0.5	41 20.2	2 1.0
フィリピン	139 100.0	11 7.9	8 5.8	6 4.3	-	35 25.2	6 4.3
ネパール	51 100.0	4 7.8	-	-	-	8 15.7	-
韓国	44 100.0	4 9.1	-	-	3 6.8	18 40.9	2 4.5
インドネシア	61 100.0	5 8.2	5 8.2	2 3.3	-	14 23.0	-
ミャンマー	41 100.0	4 9.8	1 2.4	1 2.4	-	14 34.1	-
ブラジル	28 100.0	1 3.6	-	1 3.6	-	13 46.4	-
バングラデシュ	15 100.0	1 6.7	-	1 6.7	-	4 26.7	-
タイ	23 100.0	-	-	-	-	10 43.5	2 8.7
その他	125 100.0	4 3.2	6 4.8	5 4.0	5 4.0	55 44.0	4 3.2

：各国籍・地域で最も多い困りごと ：各国籍・地域で2番目に多い困りごと

第2章 調査結果の詳細

在留資格別にみると、「技能実習」「留学」「特定技能」「家族滞在」では「日本語能力」、《技術・人文知識・国際業務》では「お金」「特にない」が最も多くなっている。一方、《永住者》《定住者》《日本人の配偶者等》では「特にない」が最も多くなっている、具体的な困りごとをみると《定住者》《日本人の配偶者等》では「日本語能力」、《永住者》では「お金」が最も多い。

表Ⅱ－２．生活での困りごと（在留資格別）

(上段：人、下段：%)

	調査数	日本語能力	お金	仕事	日本人とのつきあい	医療・福祉・介護	在留資格	子育て・教育
全 体	1,064 100.0	322 30.3	273 25.7	131 12.3	122 11.5	114 10.7	104 9.8	86 8.1
永住者	335 100.0	55 16.4	77 23.0	34 10.1	28 8.4	33 9.9	6 1.8	29 8.7
技術・人文知識・国際業務	167 100.0	39 23.4	48 28.7	17 10.2	22 13.2	25 15.0	27 16.2	15 9.0
家族滞在	63 100.0	24 38.1	15 23.8	12 19.0	8 12.7	7 11.1	8 12.7	11 17.5
技能実習	98 100.0	57 58.2	22 22.4	9 9.2	15 15.3	8 8.2	12 12.2	1 1.0
留学	82 100.0	39 47.6	31 37.8	21 25.6	15 18.3	11 13.4	15 18.3	1 1.2
特定技能	118 100.0	51 43.2	32 27.1	15 12.7	15 12.7	14 11.9	16 13.6	3 2.5
定住者	57 100.0	19 33.3	15 26.3	9 15.8	4 7.0	6 10.5	6 10.5	6 10.5
日本人の配偶者等	64 100.0	18 28.1	16 25.0	5 7.8	7 10.9	6 9.4	5 7.8	10 15.6
特別永住者	19 100.0	2 10.5	3 15.8	2 10.5	1 5.3	1 5.3	-	2 10.5
特定活動	19 100.0	9 47.4	5 26.3	1 5.3	2 10.5	1 5.3	2 10.5	1 5.3
その他	37 100.0	8 21.6	9 24.3	6 16.2	5 13.5	2 5.4	7 18.9	7 18.9

(上段：人、下段：%)

	調査数	住まい	地域の生活ルール	家族との関係	その他	特にない	無回答
全 体	1,064 100.0	74 7.0	46 4.3	30 2.8	14 1.3	355 33.4	30 2.8
永住者	335 100.0	15 4.5	14 4.2	15 4.5	8 2.4	151 45.1	19 5.7
技術・人文知識・国際業務	167 100.0	20 12.0	8 4.8	3 1.8	3 1.8	48 28.7	4 2.4
家族滞在	63 100.0	6 9.5	1 1.6	1 1.6	-	13 20.6	-
技能実習	98 100.0	6 6.1	9 9.2	2 2.0	-	19 19.4	3 3.1
留学	82 100.0	9 11.0	5 6.1	3 3.7	-	17 20.7	-
特定技能	118 100.0	5 4.2	6 5.1	4 3.4	-	32 27.1	-
定住者	57 100.0	5 8.8	-	1 1.8	-	22 38.6	-
日本人の配偶者等	64 100.0	2 3.1	2 3.1	-	2 3.1	22 34.4	2 3.1
特別永住者	19 100.0	-	-	-	-	11 57.9	2 10.5
特定活動	19 100.0	1 5.3	-	-	-	4 21.1	-
その他	37 100.0	5 13.5	1 2.7	1 2.7	1 2.7	12 32.4	-

：各在留資格で最も多い困りごと

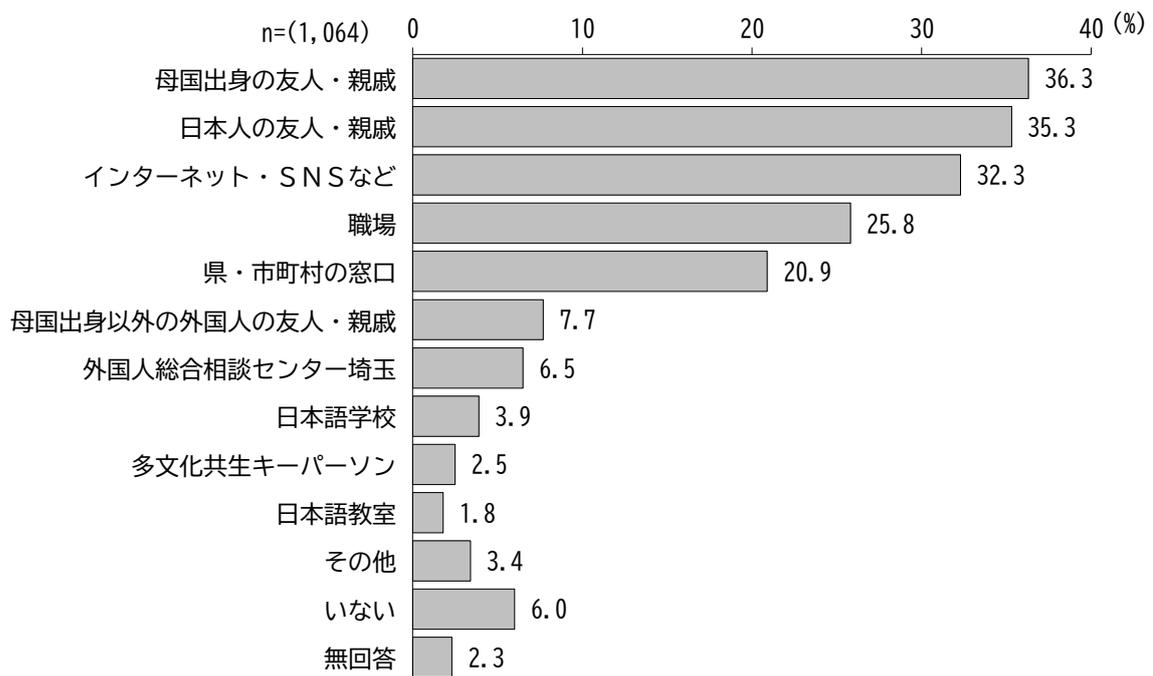
：各在留資格で2番目に多い困りごと

(2) 困った時の相談先

Q13. あなたが困ったときの相談先はどこですか（当てはまるもの全てにチェック）。

「母国出身の友人・親戚」が36.3%で最も多く、次いで、「日本人の友人・親戚」（35.3%）、「インターネット・SNSなど」（32.3%）、「職場」（25.8%）、「県・市町村の窓口」（20.9%）となっている。

図Ⅱ-14. 困った時の相談先



第2章 調査結果の詳細

国籍・地域別にみると、「ネパール」「ベトナム」「中国」では「母国出身の友人・親戚」、
 「韓国」「フィリピン」では「日本人の友人・親戚」、「ミャンマー」「インドネシア」では
 「母国出身の友人・親戚」および「インターネット・SNSなど」が最も多くなっている。

表Ⅱ-3. 困った時の相談先（国籍・地域別）

(上段：人、下段：%)

	調査数	母国出身の友人・親戚	日本人の友人・親戚	インターネット・SNSなど	職場	県・市町村の窓口	母国出身以外の外国人の友人・親戚	外国人総合相談センター埼玉
全体	1,064 100.0	386 36.3	376 35.3	344 32.3	274 25.8	222 20.9	82 7.7	69 6.5
中国	333 100.0	124 37.2	116 34.8	96 28.8	73 21.9	61 18.3	22 6.6	22 6.6
ベトナム	203 100.0	88 43.3	37 18.2	73 36.0	80 39.4	57 28.1	21 10.3	32 15.8
フィリピン	139 100.0	53 38.1	77 55.4	36 25.9	38 27.3	34 24.5	8 5.8	7 5.0
ネパール	51 100.0	23 45.1	9 17.6	19 37.3	7 13.7	12 23.5	2 3.9	2 3.9
韓国	44 100.0	7 15.9	26 59.1	16 36.4	9 20.5	4 9.1	5 11.4	-
インドネシア	61 100.0	21 34.4	14 23.0	21 34.4	18 29.5	5 8.2	3 4.9	3 4.9
ミャンマー	41 100.0	15 36.6	7 17.1	15 36.6	10 24.4	8 19.5	-	-
ブラジル	28 100.0	8 28.6	12 42.9	19 67.9	5 17.9	7 25.0	2 7.1	-
バングラデシュ	15 100.0	4 26.7	4 26.7	5 33.3	3 20.0	5 33.3	2 13.3	-
タイ	23 100.0	4 17.4	14 60.9	2 8.7	5 21.7	-	1 4.3	1 4.3
その他	125 100.0	38 30.4	60 48.0	42 33.6	26 20.8	29 23.2	15 12.0	2 1.6

(上段：人、下段：%)

	調査数	日本語学校	多文化共生キーパーソン	日本語教室	その他	いない	無回答
全体	1,064 100.0	41 3.9	27 2.5	19 1.8	36 3.4	64 6.0	25 2.3
中国	333 100.0	8 2.4	5 1.5	4 1.2	8 2.4	31 9.3	11 3.3
ベトナム	203 100.0	8 3.9	15 7.4	5 2.5	-	9 4.4	1 0.5
フィリピン	139 100.0	-	3 2.2	2 1.4	7 5.0	7 5.0	6 4.3
ネパール	51 100.0	14 27.5	1 2.0	1 2.0	2 3.9	1 2.0	-
韓国	44 100.0	-	-	-	2 4.5	1 2.3	-
インドネシア	61 100.0	2 3.3	1 1.6	2 3.3	5 8.2	4 6.6	-
ミャンマー	41 100.0	5 12.2	1 2.4	2 4.9	1 2.4	2 4.9	-
ブラジル	28 100.0	-	-	-	1 3.6	2 7.1	-
バングラデシュ	15 100.0	2 13.3	-	3 20.0	-	-	-
タイ	23 100.0	-	1 4.3	-	2 8.7	-	2 8.7
その他	125 100.0	2 1.6	-	-	8 6.4	7 5.6	5 4.0

：各国籍・地域で最も多い相談先

：各国籍・地域で2番目に多い相談先

在留資格別にみると、「家族滞在」では「母国出身の友人・親戚」、《日本人の配偶者等》《定住者》《永住者》では「日本人の友人・親戚」、《技術・人文知識・国際業務》では「母国出身の友人・親戚」および「インターネット・SNSなど」、《留学》では「インターネット・SNSなど」および「日本語学校」、《特定技能》《技能実習》では「職場」が最も多くなっている。

表Ⅱ－４．困った時の相談先（在留資格別）

	調査数	(上段：人、下段：%)						
		母国出身の友人・親戚	日本人の友人・親戚	インターネット・SNSなど	職場	県・市町村の窓口	母国出身以外の外国人の友人・親戚	外国人総合相談センター埼玉
全体	1,064 100.0	386 36.3	376 35.3	344 32.3	274 25.8	222 20.9	82 7.7	69 6.5
永住者	335 100.0	114 34.0	160 47.8	104 31.0	65 19.4	67 20.0	26 7.8	11 3.3
技術・人文知識・国際業務	167 100.0	69 41.3	53 31.7	69 41.3	56 33.5	41 24.6	16 9.6	14 8.4
家族滞在	63 100.0	34 54.0	15 23.8	24 38.1	9 14.3	12 19.0	5 7.9	3 4.8
技能実習	98 100.0	38 38.8	19 19.4	23 23.5	42 42.9	16 16.3	5 5.1	14 14.3
留学	82 100.0	25 30.5	9 11.0	33 40.2	9 11.0	25 30.5	9 11.0	2 2.4
特定技能	118 100.0	45 38.1	18 15.3	36 30.5	58 49.2	20 16.9	11 9.3	14 11.9
定住者	57 100.0	21 36.8	28 49.1	12 21.1	6 10.5	14 24.6	1 1.8	6 10.5
日本人の配偶者等	64 100.0	17 26.6	45 70.3	18 28.1	10 15.6	11 17.2	5 7.8	2 3.1
特別永住者	19 100.0	2 10.5	7 36.8	3 15.8	4 21.1	6 31.6	1 5.3	-
特定活動	19 100.0	5 26.3	4 21.1	3 15.8	5 26.3	2 10.5	-	-
その他	37 100.0	16 43.2	15 40.5	18 48.6	10 27.0	7 18.9	3 8.1	1 2.7

	調査数	(上段：人、下段：%)					
		日本語学校	多文化共生 キーパーソン	日本語教室	その他	いない	無回答
全体	1,064 100.0	41 3.9	27 2.5	19 1.8	36 3.4	64 6.0	25 2.3
永住者	335 100.0	1 0.3	2 0.6	4 1.2	12 3.6	19 5.7	17 5.1
技術・人文知識・国際業務	167 100.0	1 0.6	3 1.8	4 2.4	2 1.2	15 9.0	3 1.8
家族滞在	63 100.0	1 1.6	2 3.2	1 1.6	2 3.2	4 6.3	1 1.6
技能実習	98 100.0	4 4.1	9 9.2	4 4.1	6 6.1	2 2.0	-
留学	82 100.0	33 40.2	-	3 3.7	-	5 6.1	-
特定技能	118 100.0	1 0.8	9 7.6	2 1.7	6 5.1	7 5.9	-
定住者	57 100.0	-	1 1.8	-	-	6 10.5	1 1.8
日本人の配偶者等	64 100.0	-	-	-	3 4.7	1 1.6	1 1.6
特別永住者	19 100.0	-	-	-	2 10.5	1 5.3	2 10.5
特定活動	19 100.0	-	1 5.3	-	1 5.3	2 10.5	-
その他	37 100.0	-	-	-	2 5.4	2 5.4	-

：各在留資格で最も多い相談先

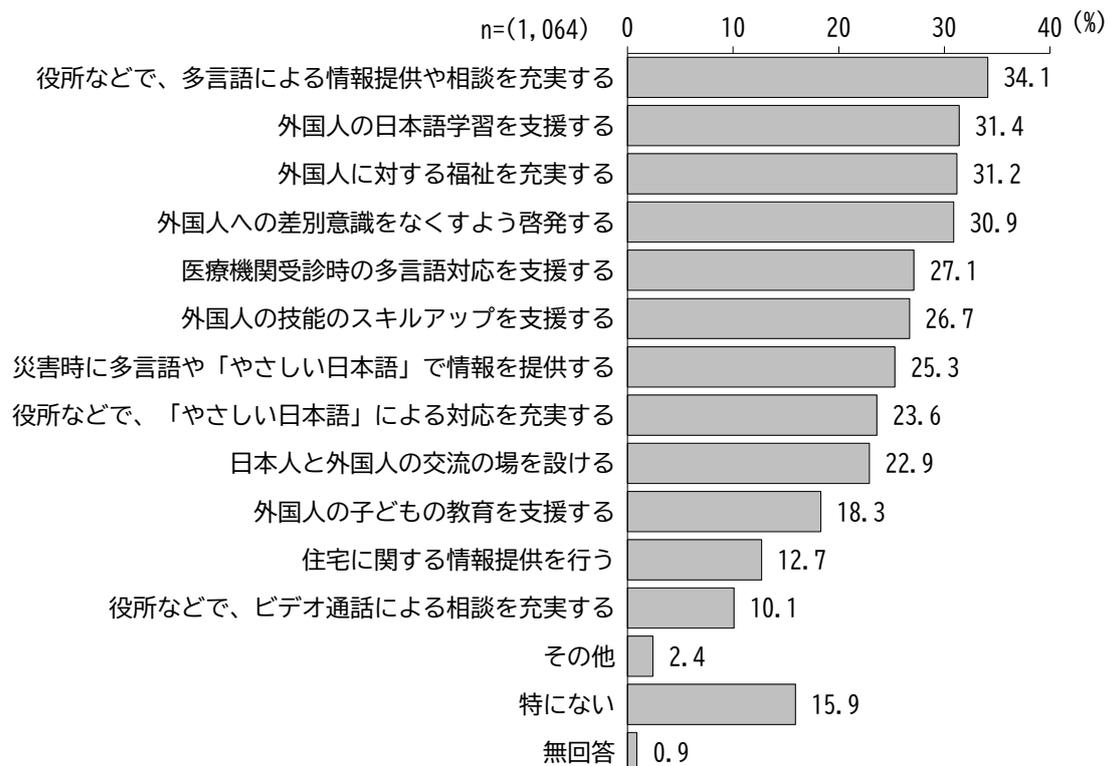
：各在留資格で2番目に多い相談先

(3) 埼玉県に望むサービス

Q14. あなたは、県に対してどのようなサービスを望みますか（当てはまるもの全てにチェック）。

「役所などで、多言語による情報提供や相談を充実する」が34.1%で最も多く、次いで、「外国人の日本語学習を支援する」（31.4%）、「外国人に対する福祉を充実する」（31.2%）、「外国人への差別意識をなくすよう啓発する」（30.9%）となっている。

図Ⅱ-15. 埼玉県に望むサービス



国籍・地域別にみると、「フィリピン」「ネパール」「インドネシア」「ミャンマー」では「役所などで、多言語による情報提供や相談を充実する」、「ベトナム」では「外国人の日本語学習を支援する」が最も多くなっている。また、「ミャンマー」では「外国人への差別意識をなくすよう啓発する」も同率で最も多くなっている。

表Ⅱ-5. 埼玉県に望むサービス（国籍・地域別）

(上段：人、下段：%)

	調査数	役所などで、多言語による情報提供や相談を充実する	外国人の日本語学習を支援する	外国人に対する福祉を充実する	外国人への差別意識をなくすよう啓発する	医療機関受診時の多言語対応を支援する	外国人の技能のスキルアップを支援する	災害時に多言語や「やさしい日本語」で情報を提供する	役所などで、「やさしい日本語」による対応を充実する
全体	1,064 100.0	363 34.1	334 31.4	332 31.2	329 30.9	288 27.1	284 26.7	269 25.3	251 23.6
中国	333 100.0	77 23.1	73 21.9	91 27.3	112 33.6	83 24.9	77 23.1	64 19.2	38 11.4
ベトナム	203 100.0	87 42.9	98 48.3	92 45.3	78 38.4	78 38.4	64 31.5	63 31.0	56 27.6
フィリピン	139 100.0	68 48.9	57 41.0	50 36.0	39 28.1	52 37.4	48 34.5	50 36.0	65 46.8
ネパール	51 100.0	24 47.1	18 35.3	11 21.6	17 33.3	8 15.7	19 37.3	13 25.5	16 31.4
韓国	44 100.0	5 11.4	5 11.4	17 38.6	11 25.0	4 9.1	8 18.2	7 15.9	3 6.8
インドネシア	61 100.0	24 39.3	22 36.1	22 36.1	10 16.4	14 23.0	18 29.5	18 29.5	19 31.1
ミャンマー	41 100.0	12 29.3	9 22.0	8 19.5	12 29.3	8 19.5	9 22.0	5 12.2	8 19.5
ブラジル	28 100.0	8 28.6	5 17.9	7 25.0	9 32.1	8 28.6	8 28.6	11 39.3	8 28.6
バングラデシュ	15 100.0	8 53.3	5 33.3	3 20.0	4 26.7	2 13.3	4 26.7	1 6.7	5 33.3
タイ	23 100.0	8 34.8	4 17.4	4 17.4	2 8.7	2 8.7	2 8.7	5 21.7	3 13.0
その他	125 100.0	41 32.8	37 29.6	26 20.8	34 27.2	28 22.4	26 20.8	32 25.6	30 24.0

(上段：人、下段：%)

	調査数	日本人と外国人の交流の場を設ける	外国人の子どもの教育を支援する	住宅に関する情報提供を行う	役所などで、ビデオ通話による相談を充実する	その他	特にない	無回答
全体	1,064 100.0	244 22.9	195 18.3	135 12.7	107 10.1	26 2.4	169 15.9	10 0.9
中国	333 100.0	60 18.0	61 18.3	32 9.6	21 6.3	6 1.8	70 21.0	3 0.9
ベトナム	203 100.0	70 34.5	48 23.6	36 17.7	28 13.8	-	14 6.9	-
フィリピン	139 100.0	26 18.7	24 17.3	32 23.0	22 15.8	3 2.2	20 14.4	4 2.9
ネパール	51 100.0	16 31.4	11 21.6	3 5.9	6 11.8	1 2.0	3 5.9	-
韓国	44 100.0	5 11.4	5 11.4	3 6.8	2 4.5	-	15 34.1	1 2.3
インドネシア	61 100.0	17 27.9	8 13.1	7 11.5	7 11.5	1 1.6	6 9.8	-
ミャンマー	41 100.0	11 26.8	3 7.3	5 12.2	3 7.3	1 2.4	10 24.4	-
ブラジル	28 100.0	5 17.9	5 17.9	2 7.1	3 10.7	1 3.6	4 14.3	-
バングラデシュ	15 100.0	5 33.3	3 20.0	3 20.0	2 13.3	-	2 13.3	-
タイ	23 100.0	2 8.7	2 8.7	-	1 4.3	-	5 21.7	-
その他	125 100.0	26 20.8	24 19.2	12 9.6	12 9.6	13 10.4	20 16.0	2 1.6

：各国籍・地域で最も望むサービス

：各国籍・地域で2番目に望むサービス

第2章 調査結果の詳細

在留資格別にみると、「留学」「技能実習」「定住者」では「役所などで、多言語による情報提供や相談を充実する」、「家族滞在」では「外国人の日本語学習を支援する」が最も多くなっている。また、「日本人の配偶者等」では前述の2項目が同率で最も多くなっている。

表Ⅱ－6. 埼玉県に望むサービス（在留資格別）

	調査数	(上段：人、下段：%)								
		役所などで、多言語による情報提供や相談を充実する	外国人の日本語学習を支援する	外国人に対する福祉を充実する	外国人への差別意識をなくすよう啓発する	医療機関受診時の多言語対応を支援する	外国人の技能のスキルアップを支援する	災害時に多言語や「やさしい日本語」で情報を提供する	役所などで、「やさしい日本語」による対応を充実する	
全体	1,064 100.0	363 34.1	334 31.4	332 31.2	329 30.9	288 27.1	284 26.7	269 25.3	251 23.6	
永住者	335 100.0	83 24.8	70 20.9	84 25.1	93 27.8	85 25.4	74 22.1	86 25.7	67 20.0	
技術・人文知識・国際業務	167 100.0	59 35.3	53 31.7	57 34.1	60 35.9	56 33.5	45 26.9	38 22.8	35 21.0	
家族滞在	63 100.0	26 41.3	33 52.4	24 38.1	25 39.7	20 31.7	20 31.7	14 22.2	14 22.2	
技能実習	98 100.0	43 43.9	39 39.8	41 41.8	30 30.6	29 29.6	30 30.6	29 29.6	28 28.6	
留学	82 100.0	44 53.7	33 40.2	23 28.0	25 30.5	17 20.7	28 34.1	25 30.5	25 30.5	
特定技能	118 100.0	48 40.7	48 40.7	50 42.4	37 31.4	41 34.7	45 38.1	27 22.9	41 34.7	
定住者	57 100.0	23 40.4	18 31.6	17 29.8	21 36.8	21 36.8	17 29.8	18 31.6	18 31.6	
日本人の配偶者等	64 100.0	19 29.7	19 29.7	17 26.6	14 21.9	9 14.1	11 17.2	15 23.4	12 18.8	
特別永住者	19 100.0	5 26.3	2 10.5	5 26.3	4 21.1	1 5.3	2 10.5	3 15.8	-	
特定活動	19 100.0	3 15.8	6 31.6	3 15.8	4 21.1	1 5.3	4 21.1	4 21.1	3 15.8	
その他	37 100.0	9 24.3	12 32.4	11 29.7	16 43.2	8 21.6	8 21.6	10 27.0	8 21.6	

	調査数	(上段：人、下段：%)						
		日本人と外国人の交流の場を設ける	外国人の子どもの教育を支援する	住宅に関する情報提供を行う	役所などで、ビデオ通話による相談を充実する	その他	特になし	無回答
全体	1,064 100.0	244 22.9	195 18.3	135 12.7	107 10.1	26 2.4	169 15.9	10 0.9
永住者	335 100.0	58 17.3	61 18.2	32 9.6	29 8.7	11 3.3	82 24.5	6 1.8
技術・人文知識・国際業務	167 100.0	46 27.5	41 24.6	29 17.4	19 11.4	1 0.6	20 12.0	-
家族滞在	63 100.0	13 20.6	15 23.8	10 15.9	8 12.7	1 1.6	3 4.8	1 1.6
技能実習	98 100.0	34 34.7	10 10.2	12 12.2	11 11.2	2 2.0	14 14.3	-
留学	82 100.0	31 37.8	8 9.8	11 13.4	9 11.0	1 1.2	6 7.3	-
特定技能	118 100.0	30 25.4	17 14.4	16 13.6	16 13.6	1 0.8	7 5.9	-
定住者	57 100.0	10 17.5	13 22.8	10 17.5	6 10.5	1 1.8	7 12.3	-
日本人の配偶者等	64 100.0	7 10.9	11 17.2	6 9.4	3 4.7	5 7.8	12 18.8	1 1.6
特別永住者	19 100.0	1 5.3	4 21.1	-	1 5.3	-	7 36.8	2 10.5
特定活動	19 100.0	3 15.8	1 5.3	3 15.8	-	1 5.3	3 15.8	-
その他	37 100.0	10 27.0	13 35.1	6 16.2	5 13.5	2 5.4	5 13.5	-

：各在留資格で最も望むサービス

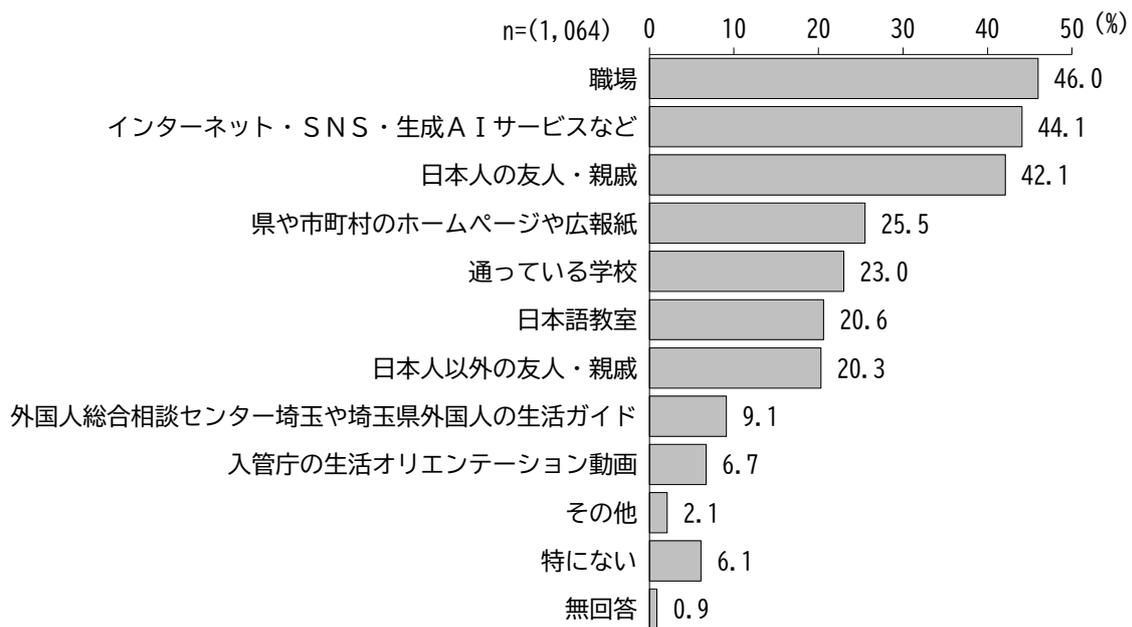
：各在留資格で2番目に望むサービス

(4) 生活ルール等の習得先

Q15. 日本の生活ルールや文化、習慣について、どこで学びますか（当てはまるもの全てにチェック）。（例：交通ルール、ゴミ出し、騒音）

「職場」が46.0%で最も多く、次いで、「インターネット・SNS・生成AIサービスなど」(44.1%)、「日本人の友人・親戚」(42.1%)となっている。

図Ⅱ-16. 生活ルール等の習得先



第2章 調査結果の詳細

国籍・地域別にみると、「ベトナム」「インドネシア」「ミャンマー」では「職場」、《中国》では「インターネット・SNS・生成AIサービスなど」、《フィリピン》《韓国》では「日本人の友人・親戚」、《ネパール》では「通っている学校」が最も多くなっている。

表Ⅱ-7. 生活ルール等の習得先（国籍・地域別）

(上段：人、下段：%)

	調査数	職場	インターネット・SNS・生成AIサービスなど	日本人の友人・親戚	県や市町村のホームページや広報紙	通っている学校	日本語教室
全 体	1,064 100.0	489 46.0	469 44.1	448 42.1	271 25.5	245 23.0	219 20.6
中国	333 100.0	125 37.5	149 44.7	128 38.4	105 31.5	99 29.7	38 11.4
ベトナム	203 100.0	124 61.1	104 51.2	67 33.0	66 32.5	32 15.8	90 44.3
フィリピン	139 100.0	75 54.0	54 38.8	88 63.3	30 21.6	14 10.1	29 20.9
ネパール	51 100.0	22 43.1	25 49.0	17 33.3	6 11.8	29 56.9	17 33.3
韓国	44 100.0	13 29.5	12 27.3	25 56.8	11 25.0	7 15.9	1 2.3
インドネシア	61 100.0	35 57.4	33 54.1	17 27.9	10 16.4	12 19.7	12 19.7
ミャンマー	41 100.0	15 36.6	14 34.1	7 17.1	6 14.6	10 24.4	12 29.3
ブラジル	28 100.0	14 50.0	16 57.1	13 46.4	6 21.4	3 10.7	-
バングラデシュ	15 100.0	9 60.0	5 33.3	7 46.7	2 13.3	7 46.7	5 33.3
タイ	23 100.0	7 30.4	3 13.0	12 52.2	2 8.7	3 13.0	2 8.7
その他	125 100.0	49 39.2	53 42.4	66 52.8	26 20.8	28 22.4	12 9.6

(上段：人、下段：%)

	調査数	日本人以外の友人・親戚	外国人総合相談センター埼玉や埼玉県外国人の生活ガイド	入管庁の生活オリエンテーション動画	その他	特にない	無回答
全 体	1,064 100.0	216 20.3	97 9.1	71 6.7	22 2.1	65 6.1	10 0.9
中国	333 100.0	68 20.4	24 7.2	12 3.6	9 2.7	25 7.5	3 0.9
ベトナム	203 100.0	48 23.6	29 14.3	35 17.2	-	9 4.4	-
フィリピン	139 100.0	37 26.6	16 11.5	9 6.5	2 1.4	8 5.8	4 2.9
ネパール	51 100.0	9 17.6	5 9.8	4 7.8	-	1 2.0	-
韓国	44 100.0	5 11.4	-	-	-	8 18.2	-
インドネシア	61 100.0	9 14.8	4 6.6	6 9.8	1 1.6	1 1.6	-
ミャンマー	41 100.0	3 7.3	4 9.8	1 2.4	-	4 9.8	-
ブラジル	28 100.0	11 39.3	2 7.1	-	-	-	-
バングラデシュ	15 100.0	4 26.7	2 13.3	2 13.3	-	-	-
タイ	23 100.0	1 4.3	5 21.7	1 4.3	1 4.3	-	1 4.3
その他	125 100.0	21 16.8	6 4.8	1 0.8	9 7.2	9 7.2	2 1.6

：各国籍・地域で最も多い習得先

：各国籍・地域で2番目に多い習得先

在留資格別にみると、「特定技能」「技能実習」では「職場」、「家族滞在」では「インターネット・SNS・生成AIサービスなど」、「技術・人文知識・国際業務」では「職場」および「インターネット・SNS・生成AIサービスなど」が最も多くなっている。

表Ⅱ-8. 生活ルール等の習得先（在留資格別）

(上段：人、下段：%)

	調査数	職場	インターネット・SNS・生成AIサービスなど	日本人の友人・親戚	県や市町村のホームページや広報紙	通っている学校	日本語教室
全体	1,064 100.0	489 46.0	469 44.1	448 42.1	271 25.5	245 23.0	219 20.6
永住者	335 100.0	143 42.7	130 38.8	183 54.6	91 27.2	47 14.0	32 9.6
技術・人文知識・国際業務	167 100.0	99 59.3	99 59.3	65 38.9	53 31.7	58 34.7	42 25.1
家族滞在	63 100.0	17 27.0	37 58.7	18 28.6	17 27.0	12 19.0	13 20.6
技能実習	98 100.0	61 62.2	36 36.7	20 20.4	16 16.3	16 16.3	36 36.7
留学	82 100.0	22 26.8	37 45.1	23 28.0	22 26.8	58 70.7	29 35.4
特定技能	118 100.0	74 62.7	53 44.9	36 30.5	26 22.0	15 12.7	40 33.9
定住者	57 100.0	21 36.8	19 33.3	28 49.1	14 24.6	11 19.3	3 5.3
日本人の配偶者等	64 100.0	19 29.7	24 37.5	41 64.1	7 10.9	11 17.2	7 10.9
特別永住者	19 100.0	4 21.1	3 15.8	6 31.6	6 31.6	2 10.5	1 5.3
特定活動	19 100.0	8 42.1	10 52.6	5 26.3	4 21.1	1 5.3	4 21.1
その他	37 100.0	19 51.4	20 54.1	19 51.4	14 37.8	13 35.1	11 29.7

(上段：人、下段：%)

	調査数	日本人以外の友人・親戚	外国人総合相談センター埼玉や埼玉県外国人の生活ガイド	入管庁の生活オリエンテーション動画	その他	特にない	無回答
全体	1,064 100.0	216 20.3	97 9.1	71 6.7	22 2.1	65 6.1	10 0.9
永住者	335 100.0	67 20.0	19 5.7	1 0.3	8 2.4	25 7.5	6 1.8
技術・人文知識・国際業務	167 100.0	25 15.0	24 14.4	16 9.6	2 1.2	6 3.6	-
家族滞在	63 100.0	22 34.9	5 7.9	5 7.9	1 1.6	4 6.3	1 1.6
技能実習	98 100.0	18 18.4	11 11.2	16 16.3	2 2.0	4 4.1	-
留学	82 100.0	16 19.5	8 9.8	7 8.5	1 1.2	6 7.3	-
特定技能	118 100.0	22 18.6	14 11.9	19 16.1	1 0.8	4 3.4	-
定住者	57 100.0	21 36.8	6 10.5	2 3.5	-	6 10.5	1 1.8
日本人の配偶者等	64 100.0	9 14.1	2 3.1	-	5 7.8	4 6.3	-
特別永住者	19 100.0	3 15.8	-	-	1 5.3	4 21.1	2 10.5
特定活動	19 100.0	2 10.5	3 15.8	2 10.5	-	-	-
その他	37 100.0	10 27.0	3 8.1	2 5.4	1 2.7	2 5.4	-

：各在留資格で最も多い習得先

：各在留資格で2番目に多い習得先

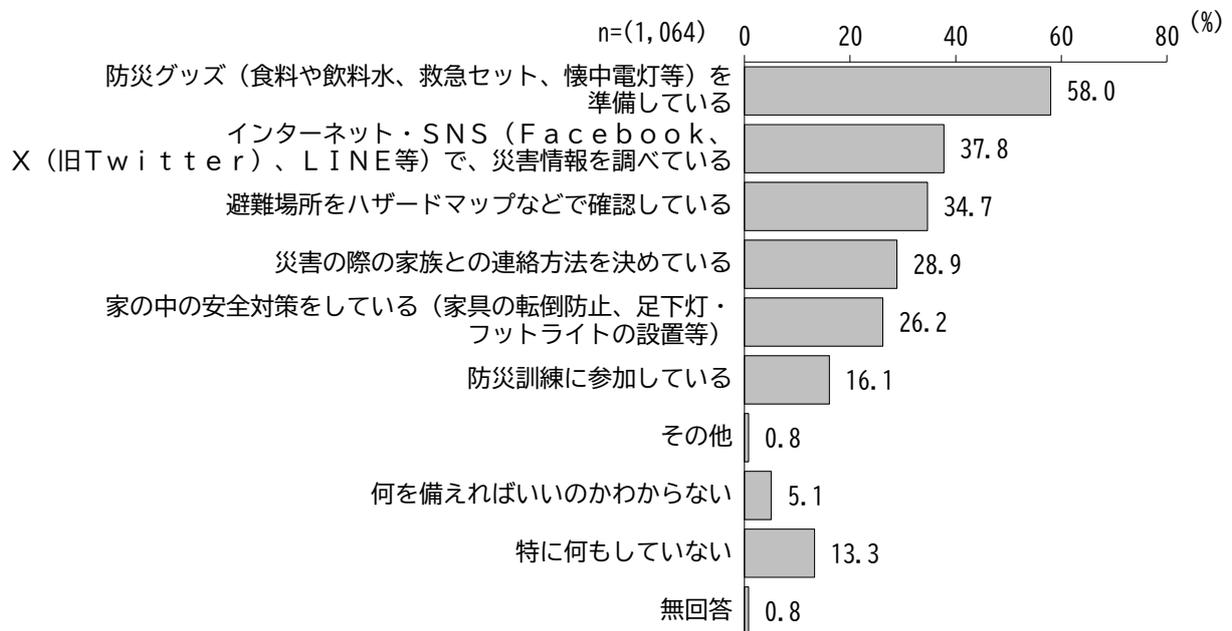
4. 防災・災害

(1) 災害に備えて、どのような準備をしているか

Q16. 日本は、地震や台風などの災害が多い国です。あなたは、日頃から、災害に備えて、どのような準備をしていますか（当てはまるもの全てにチェック）。

「防災グッズ（食料や飲料水、救急セット、懐中電灯等）を準備している」が58.0%で最も多く、次いで、「インターネット・SNS（Facebook、X（旧Twitter）、LINE等）で、災害情報を調べている」（37.8%）、「避難場所をハザードマップなどで確認している」（34.7%）となっている。

図Ⅱ-17. 災害に備えて、どのような準備をしているか



国籍・地域別にみると、「ベトナム」「フィリピン」「ネパール」「ミャンマー」「中国」では「防災グッズ（食料や飲料水、救急セット、懐中電灯等）を準備している」が最も多くなっている。一方、「韓国」では「特に何もしていない」が最も多くなっている。

表II-9. 災害に備えて、どのような準備をしているか（国籍・地域別）

(上段：人、下段：%)

	調査数	防災グッズ（食料や飲料水、救急セット、懐中電灯等）を準備している	インターネット・SNS（Facebook、X（旧Twitter）、LINE等）で、災害情報を調べている	避難場所をハザードマップなどで確認している	災害の際の家族との連絡方法を決めている	家の中の安全対策をしている（家具の転倒防止、足下灯・フットライトの設置等）
全体	1,064 100.0	617 58.0	402 37.8	369 34.7	307 28.9	279 26.2
中国	333 100.0	182 54.7	103 30.9	129 38.7	90 27.0	91 27.3
ベトナム	203 100.0	145 71.4	110 54.2	68 33.5	51 25.1	72 35.5
フィリピン	139 100.0	95 68.3	57 41.0	54 38.8	65 46.8	46 33.1
ネパール	51 100.0	30 58.8	19 37.3	10 19.6	12 23.5	12 23.5
韓国	44 100.0	12 27.3	10 22.7	10 22.7	11 25.0	10 22.7
インドネシア	61 100.0	31 50.8	32 52.5	19 31.1	11 18.0	7 11.5
ミャンマー	41 100.0	24 58.5	15 36.6	11 26.8	4 9.8	4 9.8
ブラジル	28 100.0	10 35.7	9 32.1	13 46.4	13 46.4	4 14.3
バングラデシュ	15 100.0	7 46.7	3 20.0	4 26.7	1 6.7	2 13.3
タイ	23 100.0	10 43.5	3 13.0	3 13.0	5 21.7	3 13.0
その他	125 100.0	70 56.0	40 32.0	47 37.6	44 35.2	28 22.4

(上段：人、下段：%)

	調査数	防災訓練に参加している	その他	何を備えればいいのかわからない	特に何もしていない	無回答
全体	1,064 100.0	171 16.1	8 0.8	54 5.1	142 13.3	8 0.8
中国	333 100.0	45 13.5	1 0.3	20 6.0	55 16.5	1 0.3
ベトナム	203 100.0	49 24.1	2 1.0	9 4.4	10 4.9	-
フィリピン	139 100.0	29 20.9	-	8 5.8	10 7.2	5 3.6
ネパール	51 100.0	8 15.7	-	-	3 5.9	-
韓国	44 100.0	3 6.8	2 4.5	1 2.3	16 36.4	-
インドネシア	61 100.0	11 18.0	-	5 8.2	5 8.2	-
ミャンマー	41 100.0	2 4.9	-	2 4.9	6 14.6	-
ブラジル	28 100.0	7 25.0	1 3.6	1 3.6	7 25.0	-
バングラデシュ	15 100.0	-	-	1 6.7	5 33.3	-
タイ	23 100.0	1 4.3	1 4.3	-	6 26.1	1 4.3
その他	125 100.0	16 12.8	1 0.8	7 5.6	19 15.2	1 0.8

：各国籍・地域で最も準備していること

：各国籍・地域で2番目に準備していること

第2章 調査結果の詳細

在留資格別にみると、すべての在留資格で「防災グッズ（食料や飲料水、救急セット、懐中電灯等）を準備している」が最も多くなっている。

表Ⅱ-10. 災害に備えて、どのような準備をしているか（在留資格別）

	調査数	(上段：人、下段：%)				
		防災グッズ（食料や飲料水、救急セット、懐中電灯等）を準備している	インターネット・SNS（Facebook、X（旧Twitter）、LINE等）で、災害情報を調べている	避難場所をハザードマップなどで確認している	災害の際の家族との連絡方法を決めている	家の中の安全対策をしている（家具の転倒防止、足下灯・フットライトの設置等）
全体	1,064 100.0	617 58.0	402 37.8	369 34.7	307 28.9	279 26.2
永住者	335 100.0	196 58.5	110 32.8	118 35.2	118 35.2	91 27.2
技術・人文知識・国際業務	167 100.0	94 56.3	75 44.9	63 37.7	36 21.6	43 25.7
家族滞在	63 100.0	35 55.6	24 38.1	17 27.0	18 28.6	17 27.0
技能実習	98 100.0	66 67.3	44 44.9	36 36.7	24 24.5	28 28.6
留学	82 100.0	52 63.4	29 35.4	24 29.3	19 23.2	17 20.7
特定技能	118 100.0	69 58.5	55 46.6	36 30.5	23 19.5	28 23.7
定住者	57 100.0	33 57.9	16 28.1	25 43.9	20 35.1	13 22.8
日本人の配偶者等	64 100.0	27 42.2	15 23.4	16 25.0	21 32.8	17 26.6
特別永住者	19 100.0	9 47.4	2 10.5	7 36.8	9 47.4	5 26.3
特定活動	19 100.0	11 57.9	7 36.8	6 31.6	4 21.1	4 21.1
その他	37 100.0	22 59.5	24 64.9	20 54.1	13 35.1	13 35.1

	調査数	(上段：人、下段：%)				
		防災訓練に参加している	その他	何を備えればいいのかわからない	特に何もしていない	無回答
全体	1,064 100.0	171 16.1	8 0.8	54 5.1	142 13.3	8 0.8
永住者	335 100.0	51 15.2	4 1.2	11 3.3	52 15.5	5 1.5
技術・人文知識・国際業務	167 100.0	29 17.4	-	15 9.0	19 11.4	-
家族滞在	63 100.0	7 11.1	1 1.6	4 6.3	10 15.9	1 1.6
技能実習	98 100.0	21 21.4	-	5 5.1	11 11.2	-
留学	82 100.0	18 22.0	-	6 7.3	9 11.0	-
特定技能	118 100.0	22 18.6	1 0.8	4 3.4	8 6.8	-
定住者	57 100.0	9 15.8	1 1.8	3 5.3	5 8.8	1 1.8
日本人の配偶者等	64 100.0	1 1.6	-	4 6.3	17 26.6	-
特別永住者	19 100.0	1 5.3	-	-	5 26.3	1 5.3
特定活動	19 100.0	2 10.5	1 5.3	-	-	-
その他	37 100.0	10 27.0	-	2 5.4	6 16.2	-

：各在留資格でも準備していること

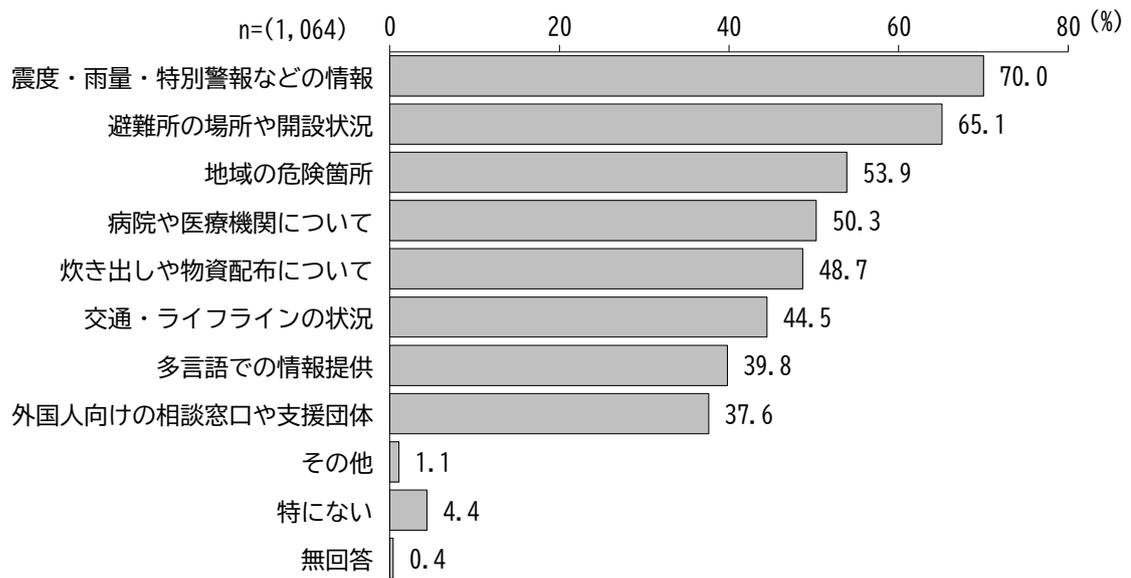
：各在留資格で2番目に準備していること

(2) 災害時に必要な情報

Q17. あなたは、自然災害が起こった時に、どのような情報が欲しいですか（当てはまるもの全てにチェック）。

「震度・雨量・特別警報などの情報」が70.0%で最も多く、次いで、「避難所の場所や開設状況」(65.1%)、「地域の危険箇所」(53.9%)、「病院や医療機関について」(50.3%)となっている。

図Ⅱ-18. 災害時に必要な情報



第2章 調査結果の詳細

国籍・地域別にみると、「中国」「ベトナム」「ネパール」では「震度・雨量・特別警報などの情報」、「フィリピン」「韓国」「ミャンマー」「インドネシア」では「避難所の場所や開設状況」が最も多くなっている。

表Ⅱ-11. 災害時に必要な情報（国籍・地域別）

(上段：人、下段：%)

	調査数	震度・雨量・特別警報などの情報	避難所の場所や開設状況	地域の危険箇所	病院や医療機関について	炊き出しや物資配布について	交通・ライフラインの状況
全体	1,064 100.0	745 70.0	693 65.1	573 53.9	535 50.3	518 48.7	474 44.5
中国	333 100.0	246 73.9	210 63.1	148 44.4	159 47.7	164 49.2	150 45.0
ベトナム	203 100.0	150 73.9	144 70.9	141 69.5	119 58.6	106 52.2	85 41.9
フィリピン	139 100.0	103 74.1	105 75.5	90 64.7	87 62.6	87 62.6	76 54.7
ネパール	51 100.0	37 72.5	26 51.0	27 52.9	24 47.1	19 37.3	18 35.3
韓国	44 100.0	29 65.9	30 68.2	23 52.3	23 52.3	20 45.5	24 54.5
インドネシア	61 100.0	34 55.7	37 60.7	31 50.8	26 42.6	20 32.8	18 29.5
ミャンマー	41 100.0	24 58.5	26 63.4	19 46.3	8 19.5	11 26.8	14 34.1
ブラジル	28 100.0	19 67.9	19 67.9	16 57.1	16 57.1	16 57.1	15 53.6
バングラデシュ	15 100.0	10 66.7	7 46.7	7 46.7	6 40.0	6 40.0	5 33.3
タイ	23 100.0	11 47.8	10 43.5	7 30.4	5 21.7	7 30.4	4 17.4
その他	125 100.0	81 64.8	78 62.4	63 50.4	61 48.8	61 48.8	64 51.2

(上段：人、下段：%)

	調査数	多言語での情報提供	外国人向けの相談窓口や支援団体	その他	特にない	無回答
全体	1,064 100.0	424 39.8	400 37.6	12 1.1	47 4.4	4 0.4
中国	333 100.0	97 29.1	116 34.8	5 1.5	15 4.5	-
ベトナム	203 100.0	119 58.6	102 50.2	-	8 3.9	-
フィリピン	139 100.0	75 54.0	70 50.4	-	2 1.4	3 2.2
ネパール	51 100.0	20 39.2	15 29.4	-	-	-
韓国	44 100.0	8 18.2	9 20.5	-	2 4.5	-
インドネシア	61 100.0	23 37.7	21 34.4	1 1.6	2 3.3	-
ミャンマー	41 100.0	16 39.0	12 29.3	-	3 7.3	-
ブラジル	28 100.0	12 42.9	11 39.3	-	3 10.7	-
バングラデシュ	15 100.0	5 33.3	5 33.3	2 13.3	2 13.3	-
タイ	23 100.0	8 34.8	5 21.7	1 4.3	1 4.3	-
その他	125 100.0	41 32.8	34 27.2	3 2.4	9 7.2	1 0.8

：各国籍・地域で最も必要な情報

：各国籍・地域で2番目に必要な情報

在留資格別にみると、「技術・人文知識・国際業務」「留学」「永住者」「技能実習」「家族滞在」「日本人の配偶者等」では「震度・雨量・特別警報などの情報」、
 「定住者」「特定技能」では「避難所の場所や開設状況」が最も多くなっている。

表Ⅱ-12. 災害時に必要な情報（在留資格別）

(上段：人、下段：%)

	調査数	震度・雨量・特別警報などの情報	避難所の場所や開設状況	地域の危険箇所	病院や医療機関について	炊き出しや物資配布について	交通・ライフラインの状況
全体	1,064 100.0	745 70.0	693 65.1	573 53.9	535 50.3	518 48.7	474 44.5
永住者	335 100.0	249 74.3	224 66.9	178 53.1	174 51.9	179 53.4	166 49.6
技術・人文知識・国際業務	167 100.0	128 76.6	114 68.3	92 55.1	98 58.7	90 53.9	85 50.9
家族滞在	63 100.0	41 65.1	36 57.1	29 46.0	29 46.0	28 44.4	24 38.1
技能実習	98 100.0	68 69.4	62 63.3	55 56.1	49 50.0	42 42.9	32 32.7
留学	82 100.0	62 75.6	51 62.2	50 61.0	42 51.2	40 48.8	37 45.1
特定技能	118 100.0	64 54.2	77 65.3	63 53.4	44 37.3	46 39.0	36 30.5
定住者	57 100.0	43 75.4	44 77.2	34 59.6	31 54.4	30 52.6	27 47.4
日本人の配偶者等	64 100.0	39 60.9	38 59.4	33 51.6	34 53.1	32 50.0	28 43.8
特別永住者	19 100.0	11 57.9	9 47.4	8 42.1	8 42.1	6 31.6	10 52.6
特定活動	19 100.0	12 63.2	9 47.4	9 47.4	6 31.6	8 42.1	7 36.8
その他	37 100.0	26 70.3	28 75.7	21 56.8	20 54.1	16 43.2	21 56.8

(上段：人、下段：%)

	調査数	多言語での情報提供	外国人向けの相談窓口や支援団体	その他	特にない	無回答
全体	1,064 100.0	424 39.8	400 37.6	12 1.1	47 4.4	4 0.4
永住者	335 100.0	104 31.0	97 29.0	6 1.8	13 3.9	3 0.9
技術・人文知識・国際業務	167 100.0	77 46.1	74 44.3	1 0.6	7 4.2	-
家族滞在	63 100.0	27 42.9	28 44.4	1 1.6	3 4.8	-
技能実習	98 100.0	48 49.0	40 40.8	2 2.0	5 5.1	-
留学	82 100.0	42 51.2	32 39.0	1 1.2	6 7.3	-
特定技能	118 100.0	56 47.5	58 49.2	-	5 4.2	-
定住者	57 100.0	25 43.9	20 35.1	-	3 5.3	-
日本人の配偶者等	64 100.0	19 29.7	19 29.7	-	2 3.1	-
特別永住者	19 100.0	1 5.3	2 10.5	-	2 10.5	1 5.3
特定活動	19 100.0	10 52.6	8 42.1	-	-	-
その他	37 100.0	14 37.8	20 54.1	-	1 2.7	-

：各在留資格で最も必要な情報

：各在留資格で2番目に必要な情報

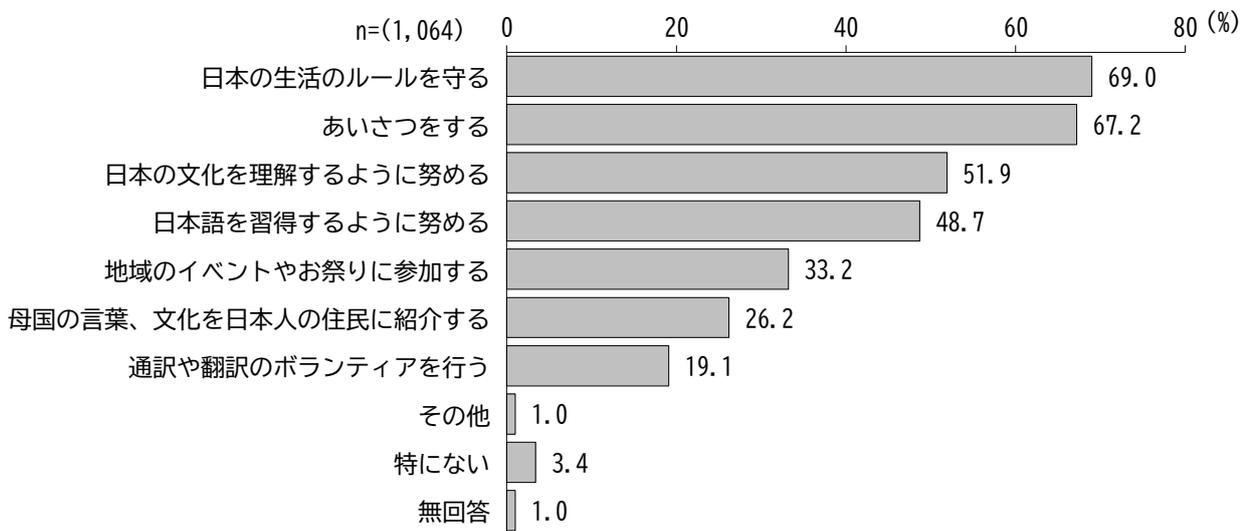
5. 相互理解

(1) 外国人住民と日本人住民との相互理解を深めるためにしたいこと

Q18. 外国人住民と日本人住民との相互理解を深めるため、あなたが積極的に行いたいことは何ですか（当てはまるもの全てにチェック）。

「日本の生活のルールを守る」が69.0%で最も多く、次いで、「あいさつをする」(67.2%)、「日本の文化を理解するように努める」(51.9%)、「日本語を習得するように努める」(48.7%)となっている。

図Ⅱ-19. 外国人住民と日本人住民との相互理解を深めるためにしたいこと



年齢別にみると、「20～29歳」「30～39歳」では「日本の生活のルールを守る」、「40歳代以上」では「あいさつをする」が最も多くなっている。

表Ⅱ-13. 外国人住民と日本人住民との相互理解を深めるためにしたいこと（年齢別）

	調査数	(上段：人、下段：%)									
		日本の生活のルールを守る	あいさつをする	日本の文化を理解するように努める	日本語を習得するように努める	地域のイベントやお祭りに参加する	母国の言葉、文化を日本人の住民に紹介する	通訳や翻訳のボランティアを行う	その他	特にない	無回答
全体	1,064	734	715	552	518	353	279	203	11	36	11
	100.0	69.0	67.2	51.9	48.7	33.2	26.2	19.1	1.0	3.4	1.0
～19歳	17	11	12	7	4	6	5	5	-	2	-
	100.0	64.7	70.6	41.2	23.5	35.3	29.4	29.4	-	11.8	-
20～29歳	326	203	196	160	191	106	109	73	3	9	1
	100.0	62.3	60.1	49.1	58.6	32.5	33.4	22.4	0.9	2.8	0.3
30～39歳	327	244	219	191	166	122	85	73	6	9	1
	100.0	74.6	67.0	58.4	50.8	37.3	26.0	22.3	1.8	2.8	0.3
40～49歳	170	121	124	88	71	60	41	24	-	6	1
	100.0	71.2	72.9	51.8	41.8	35.3	24.1	14.1	-	3.5	0.6
50～59歳	128	91	95	68	57	33	30	19	2	6	2
	100.0	71.1	74.2	53.1	44.5	25.8	23.4	14.8	1.6	4.7	1.6
60～69歳	71	48	50	29	23	18	4	6	-	2	5
	100.0	67.6	70.4	40.8	32.4	25.4	5.6	8.5	-	2.8	7.0
70歳以上	24	15	18	8	5	7	4	2	-	2	1
	100.0	62.5	75.0	33.3	20.8	29.2	16.7	8.3	-	8.3	4.2

■：各年齢で最もしたいこと

■：各年齢で2番目にしたいこと

国籍・地域別にみると、「中国」「インドネシア」では「日本の生活のルールを守る」、
「フィリピン」「ベトナム」「ネパール」「ミャンマー」では「あいさつをする」、
「韓国」では「日本の生活のルールを守る」および「あいさつをする」が最も多くなっている。

表Ⅱ-14. 外国人住民と日本人住民との相互理解を深めるためにしたいこと（国籍・地域別）

(上段：人、下段：%)

	調査数	日本の生活のルールを守る	あいさつをする	日本の文化を理解するように努める	日本語を習得するように努める	地域のイベントやお祭りに参加する	母国の言葉、文化を日本人の住民に紹介する	通訳や翻訳のボランティアを行う	その他	特になし	無回答
全 体	1,064 100.0	734 69.0	715 67.2	552 51.9	518 48.7	353 33.2	279 26.2	203 19.1	11 1.0	36 3.4	11 1.0
中国	333 100.0	252 75.7	222 66.7	186 55.9	139 41.7	105 31.5	58 17.4	42 12.6	2 0.6	14 4.2	1 0.3
ベトナム	203 100.0	137 67.5	147 72.4	113 55.7	139 68.5	87 42.9	83 40.9	61 30.0	2 1.0	5 2.5	-
フィリピン	139 100.0	101 72.7	103 74.1	78 56.1	70 50.4	46 33.1	37 26.6	29 20.9	1 0.7	3 2.2	5 3.6
ネパール	51 100.0	31 60.8	33 64.7	24 47.1	28 54.9	14 27.5	24 47.1	15 29.4	-	-	-
韓国	44 100.0	28 63.6	28 63.6	15 34.1	6 13.6	7 15.9	4 9.1	4 9.1	1 2.3	3 6.8	1 2.3
インドネシア	61 100.0	37 60.7	33 54.1	33 54.1	32 52.5	25 41.0	17 27.9	11 18.0	-	1 1.6	-
ミャンマー	41 100.0	21 51.2	24 58.5	12 29.3	20 48.8	8 19.5	12 29.3	6 14.6	-	1 2.4	1 2.4
ブラジル	28 100.0	20 71.4	20 71.4	11 39.3	10 35.7	8 28.6	6 21.4	4 14.3	-	2 7.1	-
バングラデシュ	15 100.0	11 73.3	10 66.7	8 53.3	11 73.3	8 53.3	7 46.7	7 46.7	2 13.3	-	-
タイ	23 100.0	12 52.2	15 65.2	7 30.4	12 52.2	3 13.0	1 4.3	1 4.3	-	1 4.3	1 4.3
その他	125 100.0	83 66.4	79 63.2	64 51.2	50 40.0	42 33.6	30 24.0	23 18.4	3 2.4	6 4.8	2 1.6

：各国籍・地域で最もしたいこと

：各国籍・地域で2番目にしたいこと

第2章 調査結果の詳細

在留資格別にみると、「家族滞在」「定住者」「技術・人文知識・国際業務」では「日本の生活のルールを守る」、日本人の配偶者等」「永住者」「技能実習」「特定技能」では「あいさつをする」、留学」では「日本の生活のルールを守る」および「日本語を習得するように努める」が最も多くなっている。

表Ⅱ-15. 外国人住民と日本人住民との相互理解を深めるためにしたいこと（在留資格別）

(上段：人、下段：%)

	調査数	日本の生活のルールを守る	あいさつをする	日本の文化を理解するように努める	日本語を習得するように努める	地域のイベントやお祭りに参加する	母国の言葉、文化を日本人の住民に紹介する	通訳や翻訳のボランティアを行う	その他	特になし	無回答
全体	1,064 100.0	734 69.0	715 67.2	552 51.9	518 48.7	353 33.2	279 26.2	203 19.1	11 1.0	36 3.4	11 1.0
永住者	335 100.0	235 70.1	243 72.5	170 50.7	117 34.9	90 26.9	58 17.3	44 13.1	3 0.9	15 4.5	8 2.4
技術・人文知識・国際業務	167 100.0	121 72.5	104 62.3	99 59.3	88 52.7	69 41.3	53 31.7	45 26.9	3 1.8	9 5.4	-
家族滞在	63 100.0	48 76.2	36 57.1	32 50.8	37 58.7	26 41.3	24 38.1	20 31.7	2 3.2	-	-
技能実習	98 100.0	57 58.2	70 71.4	49 50.0	61 62.2	32 32.7	34 34.7	19 19.4	-	3 3.1	1 1.0
留学	82 100.0	57 69.5	51 62.2	45 54.9	57 69.5	33 40.2	37 45.1	24 29.3	2 2.4	1 1.2	-
特定技能	118 100.0	70 59.3	72 61.0	55 46.6	70 59.3	44 37.3	31 26.3	20 16.9	-	2 1.7	-
定住者	57 100.0	43 75.4	39 68.4	27 47.4	22 38.6	17 29.8	13 22.8	12 21.1	-	3 5.3	1 1.8
日本人の配偶者等	64 100.0	45 70.3	49 76.6	28 43.8	25 39.1	16 25.0	9 14.1	10 15.6	1 1.6	3 4.7	-
特別永住者	19 100.0	10 52.6	13 68.4	7 36.8	3 15.8	6 31.6	3 15.8	1 5.3	-	-	5.3
特定活動	19 100.0	12 63.2	9 47.4	9 47.4	12 63.2	5 26.3	7 36.8	2 10.5	-	-	-
その他	37 100.0	32 86.5	25 67.6	29 78.4	23 62.2	15 40.5	10 27.0	6 16.2	-	-	-

：各在留資格で最もしたいこと

：各在留資格で2番目にしたいこと

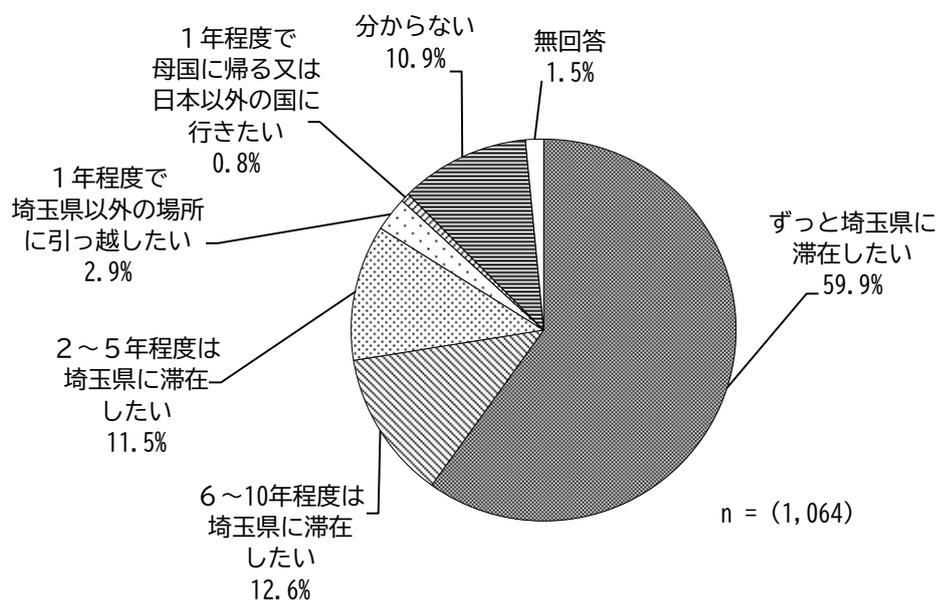
III. 今後について

(1) 今後の埼玉県での滞在希望

Q19. あなたは今後も埼玉県に滞在したいですか（1つだけチェック）。

「ずっと埼玉県に滞在したい」が59.9%で最も多く、次いで、「6～10年程度は埼玉県に滞在したい」（12.6%）、「2～5年程度は埼玉県に滞在したい」（11.5%）、「1年程度で埼玉県以外の場所に引っ越したい」（2.9%）となっている。

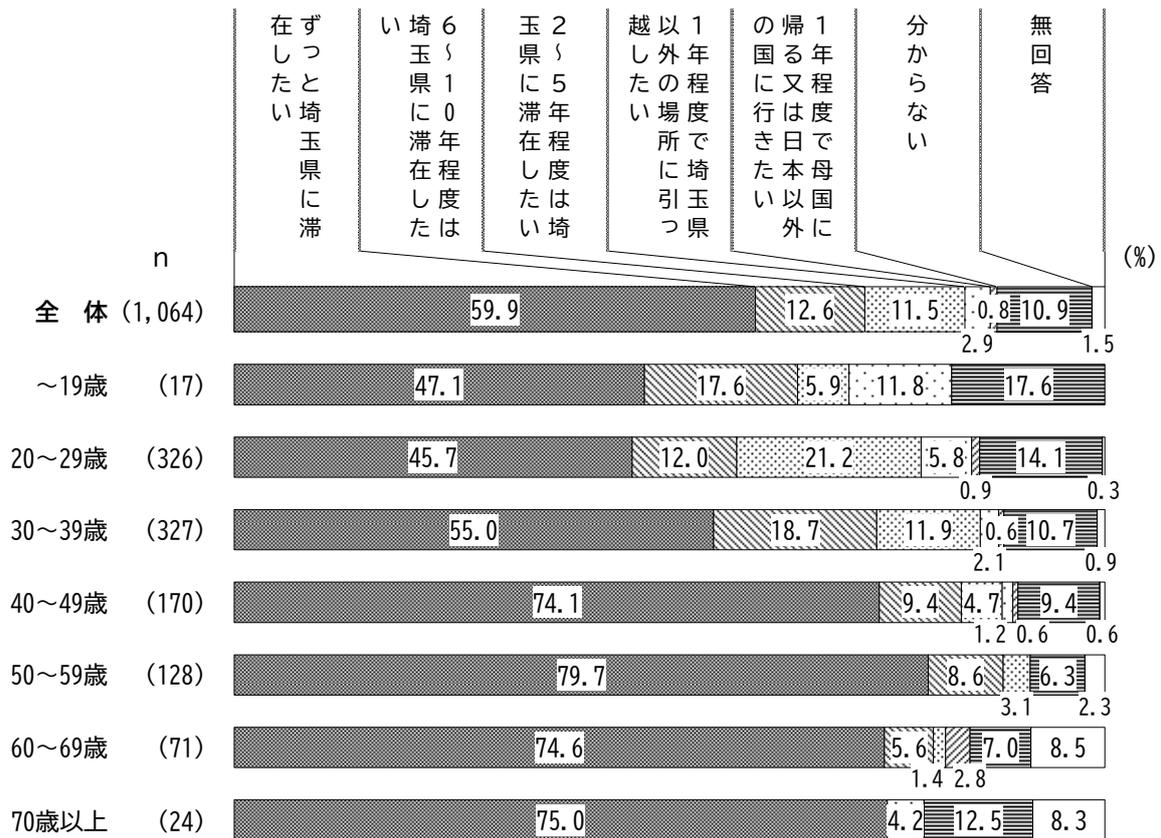
図III-1. 今後の埼玉県での滞在希望



第2章 調査結果の詳細

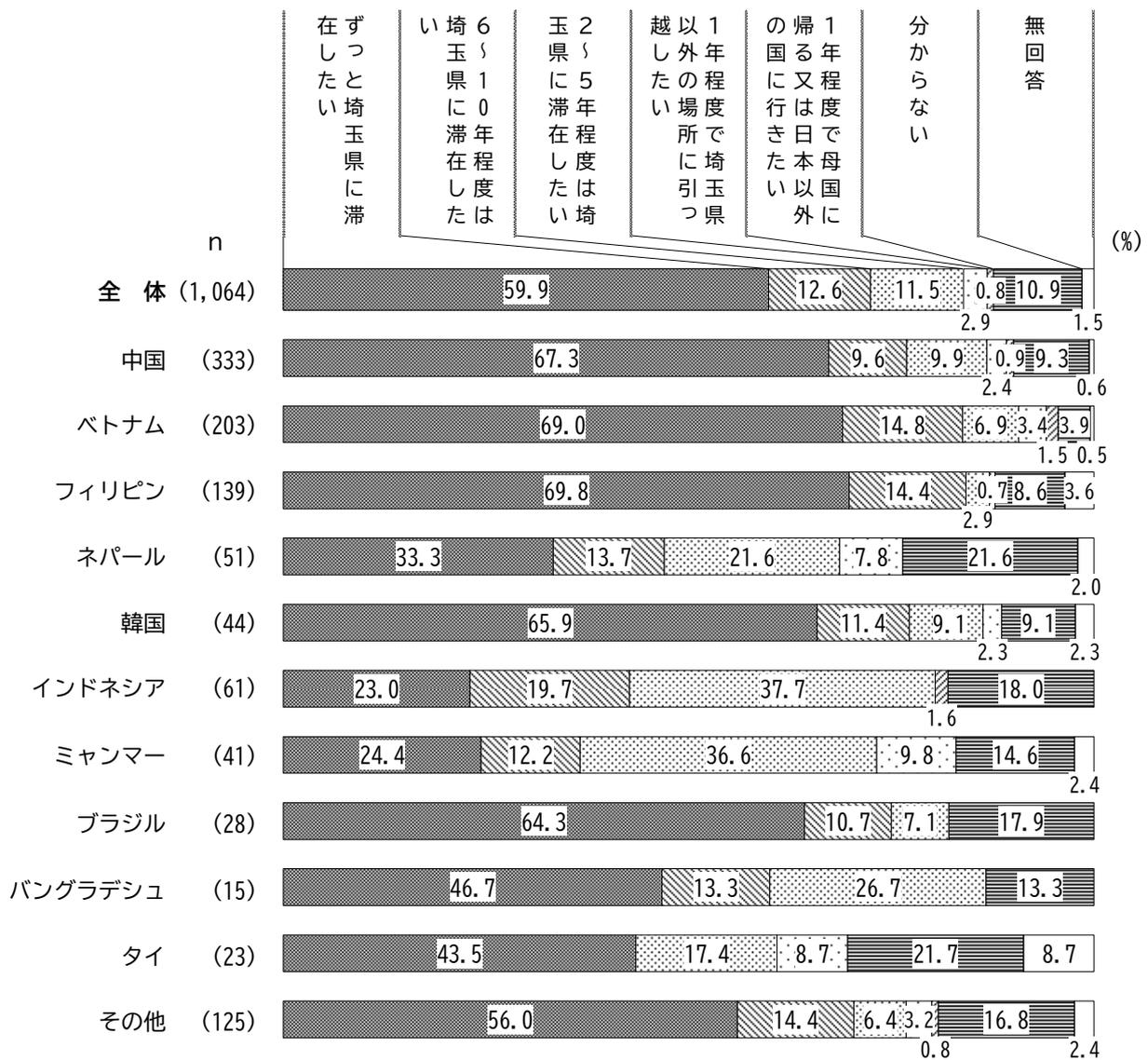
年齢別にみると、すべての年齢で「ずっと埼玉県に滞在したい」が最も多くなっている。特に「40歳代以上」では40歳未満の年齢層に比べてその割合が高く、いずれの年代も「ずっと埼玉県に滞在したい」が70%を超えている。また、「40～49歳」では「6～10年程度は埼玉県に滞在したい」と「分からない」がいずれも9.4%で同率となっている。

図Ⅲ－２．今後の埼玉県での滞在希望（年齢別）



国籍・地域別にみると、「フィリピン」「ベトナム」「中国」「韓国」では「ずっと埼玉県に滞在したい」、「インドネシア」「ミャンマー」では「2～5年程度は埼玉県に滞在したい」が最も多くなっている。なお、「ネパール」では「ずっと埼玉県に滞在したい」が最多ではあるものの、他の選択肢との差は比較的小さくなっている。

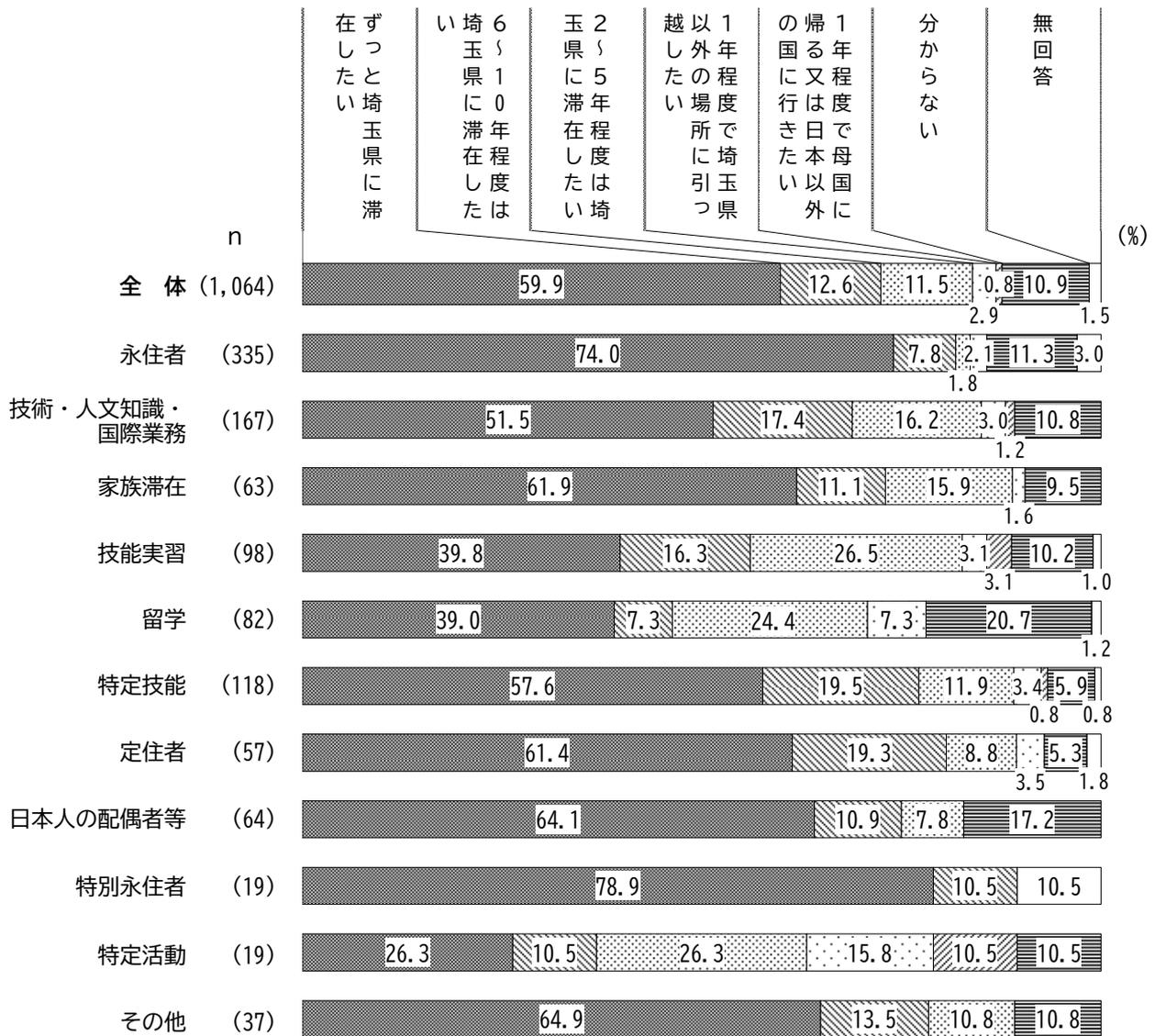
図III-3. 今後の埼玉県での滞在希望（国籍・地域別）



第2章 調査結果の詳細

在留資格別にみると、すべての在留資格で「ずっと埼玉県に滞在したい」が最も多くなっている。次に多い項目は在留資格によって異なり、「特定技能」「定住者」「技術・人文知識・国際業務」では「6～10年程度は埼玉県に滞在したい」、「技能実習」「留学」「家族滞在」では「2～5年程度は埼玉県に滞在したい」、「日本人の配偶者等」「永住者」では「分からない」が多くなっている。

図Ⅲ－4. 今後の埼玉県での滞在希望（在留資格別）



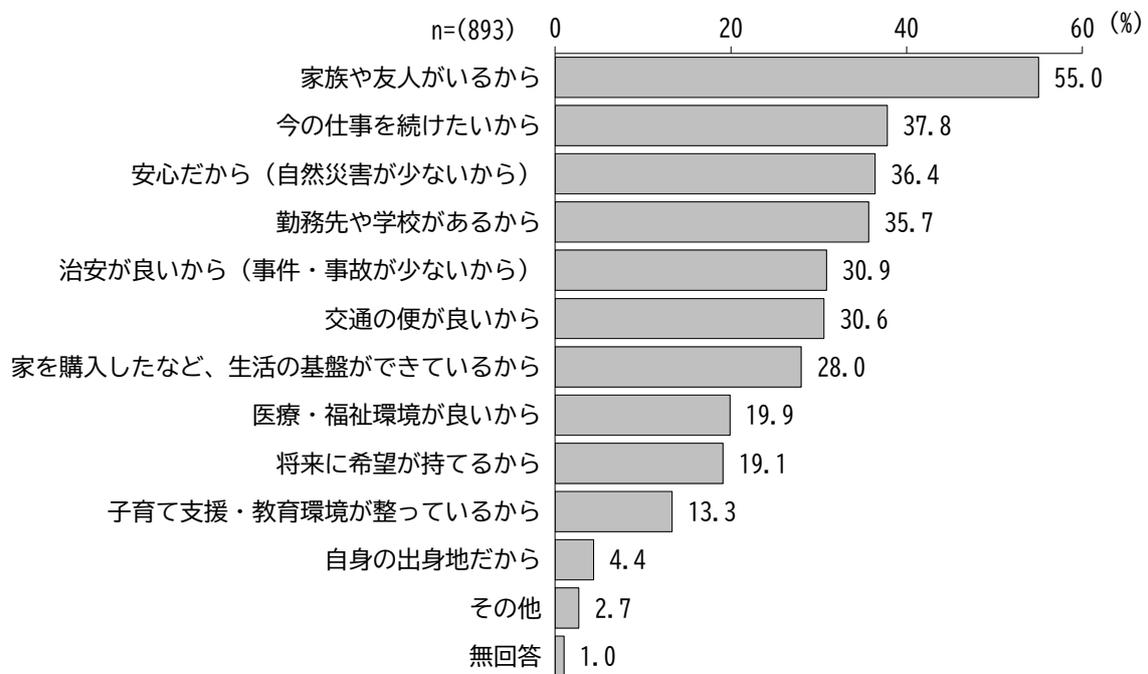
(2) 埼玉県での滞在継続を希望する理由

Q19-1. 【Q19で「ずっと埼玉県に滞在したい」「6～10年程度は埼玉県に滞在したい」「2～5年程度は埼玉県に滞在したい」と答えた方にお聞きします。】

あなたが今後も埼玉県に滞在したいと思う理由は次のうちどれですか（当てはまるもの全てにチェック）。

「家族や友人がいるから」が55.0%で最も多く、次いで、「今の仕事を続けたいから」（37.8%）、「安心だから（自然災害が少ないから）」（36.4%）、「勤務先や学校があるから」（35.7%）、「治安が良いから（事件・事故が少ないから）」（30.9%）、「交通の便が良いから」（30.6%）となっている。

図Ⅲ－5. 埼玉県での滞在継続を希望する理由



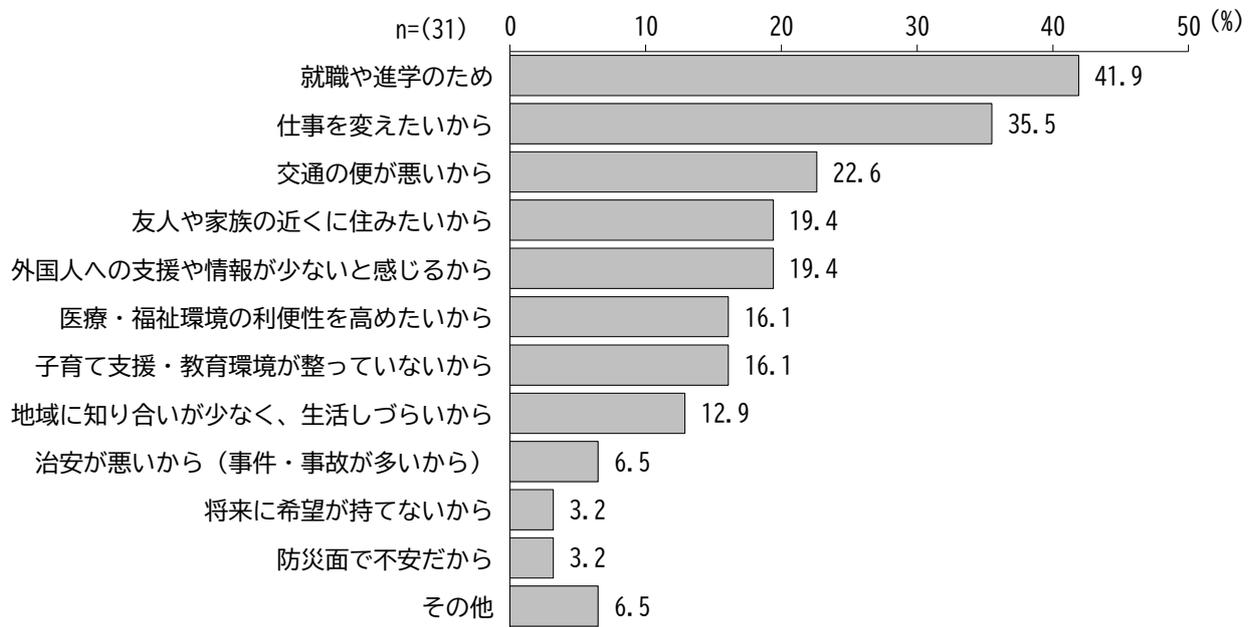
(3) 埼玉県での滞在継続を希望しない理由

Q19-2. 【Q19で「1年程度で埼玉県以外の場所に引っ越したい」と答えた方にお聞きします。】

あなたが今後、埼玉県に滞在したいと思わない理由は次のうちどれですか（当てはまるもの全てにチェック）。

「就職や進学のため」が41.9%で最も多く、次いで、「仕事を変えたいから」（35.5%）、「交通の便が悪いから」（22.6%）、「友人や家族の近くに住みたいから」、「外国人への支援や情報が少ないと感じるから」（ともに19.4%）となっている。

図Ⅲ－6. 埼玉県での滞在継続を希望しない理由



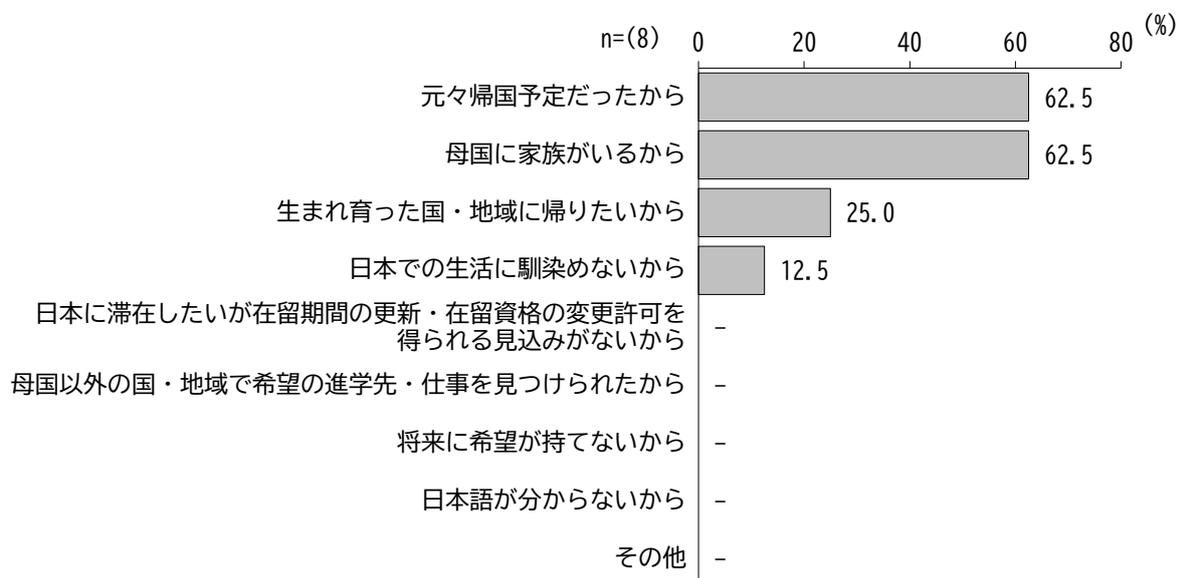
(4) 日本での滞在継続を希望しない理由

Q19-3. 【Q19で「1年程度で母国に帰る又は日本以外の国に行きたい」と答えた方にお聞きします。】

あなたが今後、日本以外の国・地域に行きたいと思う理由は次のうちどれですか（当てはまるもの全てにチェック）。

回答者数が少ないため、参考程度にとどめるが、「元々帰国予定だったから」および「母国に家族がいるから」が最も多くなっている。

図Ⅲ－7. 日本での滞在継続を希望しない理由



IV. その他

(1) 県の取組に対して期待することや意見・要望

Q20. 今後の県の取組に対して期待することやご意見、ご要望などがありましたら、自由にお書きください。

主な内容を把握できるよう代表的な意見を抜粋して掲載しています。母国語で記載された意見は翻訳を行っており、趣旨を損なわない範囲で表現を一部整理していますが、基本的には記載された意見をそのまま掲載しています。

【まちづくりについて】

- ・路線バスを増やしてほしいです。直線距離では近いけど、電車でかなり時間がかかる場合が多いです。買い物や出かけるには不便だと思います。よろしくお願いします。(中国)
- ・最近、道路上での事故が多いので心配です。チェックをお願いします。(タイ)
- ・若者が気軽に集まって遊べる場所をもっと増やしてほしいです(広い公園など…)。また、夜道が暗い場所が多いので、街灯も増やしていただくと安心して歩けると思います。(ミャンマー)
- ・東京に行きやすく、時間短縮できるように電車の路線を増やすことをご検討いただけると助かります。(中国)
- ・休日に子供を連れて行けるところ、ショッピングセンターや公園などの施設を増やしてほしい。(中国)

【行政サービスについて】

- ・家族が病気、または死亡した時の対応や当面のやること等がわからないので相談・支援、またはアドバイスが欲しい。日本のルールを詳しく知ることは大変。(インドネシア)
- ・外国人の多くの人たちは、あまり日本の文化やルールなどについて知らないと思います。日本のルールやマナーをしっかり守りたいと思っている人もたくさんいると思います。守りたくないという人もいますが、それをやさしい日本語で教えてほしいです。日本のルールやマナーについて教えるプログラムやイベントなどを行ってほしいです。そうすれば日本のルールなどを守る人が増えるのではないかなと思います。(ネパール)
- ・税金や日本語学校に関する情報がもっと提供されるといいなと思います。外国人として、職場の同僚以外にも日本人の友達がほしいですし、もしかしたら日本人のパートナーと出会えるかもしれません。それから、お米、鶏肉、肉類、その他のハラール食品など、安い生活必需品がもっと手に入るようになるのが嬉しいです。(インドネシア)

【物価・経済的援助について】

- ・埼玉県だけではなく、今は日本国内で物価が高いため、私たちみたいな留学生は大変なことになっています。それに対して何か支援ができればやってください。(ネパール)
- ・私は今まで9年くらい日本で住んでいて、埼玉県に引っ越してから7年が経ちます。家族3

人で住んでいます。今はだいぶ日本の生活に慣れてきています。一番大変なことは物価がだんだん高くなるものの、その物価が上がる分に合わせるように給料が上がらないことです。日本に来た時の時給（2016年）と今の時給はあまり変わっていないと思いますが、物価は2～3倍ぐらいになっています。（その他）

- ・非課税世帯の括りで支援するのをやめて欲しい。支援が必要のない非課税世帯もあるので、曖昧な括りでやるなら子育て世帯も支援して欲しい。（中国）
- ・他の市のように家庭への経済的支援があると嬉しいです。（ミャンマー）
- ・日本の物価は上昇し、月の支払額が増えているので、経済的支援が受けられたらと思う。（フィリピン）

【交流について】

- ・日本の方と話ができる場があるといいな。特に、自由に意見・思想を話せる交流の場があると嬉しいです。（中国）
- ・外国人と日本人が会える場を作って欲しいです。なぜかと言うと、私は1年間日本に住んでいます。今まで日本人の友達がいません。（ネパール）
- ・外国人が日本の文化を学んだり体験したり出来る施設を増やしてください。（フィリピン）
- ・言語や文化の面でみんなが交流できるように、日本人と外国からの訪問者を対象とした、文化交流活動やレクリエーションイベントを企画してほしい。（ベトナム）

【多言語対応について】

- ・外国人や日本語を学んでいる人にも、もっとわかりやすい案内表示やサポートが増えると嬉しいです。安心して、生活できる環境づくりを期待しています。（ネパール）
- ・最近カンボジアからの技能実習生が増えていると思います。市役所が配布していた書類はカンボジア語がなかったですが、欲しかったです。翻訳できるカンボジア人を見つけられなかったら私が翻訳してもいいです。埼玉県のために自分の能力をできる限り、できることまで、全力でやりたいと思います。宜しくお願い致します。（その他）
- ・病院や動物病院に通訳を配置してほしいです。また、外国人が自分の母語で運転免許を取得しやすくなるようにしてほしいです。（ブラジル）
- ・市役所で多言語の翻訳者が必要です。（ネパール）

【労働について】

- ・外国人にも働きやすい場所が欲しいです。（中国）
- ・埼玉の学生としては、アルバイトを見つけることがきつすぎます。（ネパール）
- ・日本語をあまり話せない外国人留学生のために、仕事を紹介したり相談にのったり、日本についていろいろ話し合うことができる場があると良いと思います。（ミャンマー）
- ・外国人のアルバイトに対する支援がさらに充実することを期待する。（ベトナム）

【治安・安全について】

- ・なんでもかんでも外国人を受け入れると、犯罪が増えたり治安が悪くなったりするので、ちゃんと入国する人を審査して入れた方がいいと思います。(中国)
- ・私の住んでいる周辺で、クマやイノシシが現れ始めました。とても怖いです。住民の安全を確保するため、何らかの対策を講じていただきますようお願い申し上げます。(ベトナム)
- ・ニュースを見て最近、埼玉県の治安が悪くなっているように感じるので防犯を高めてほしい。(ブラジル)

【子育て支援・教育について】

- ・子供への福祉手当の増額。子育てにはお金がたくさんかかります。特に私塾が一番お金がかかります。(中国)
- ・子供が保育園に入れなくて困っています。3回申し込んでもダメでした。簡単に入れるようにしてほしい。少しでも働く事が出来たら生活が変わるのかなと思っています。(ネパール)
- ・グローバル化を実施できるため、外国語教育にもっと力を入れて頂けると幸いです。よろしく願いいたします。(その他)

【差別・偏見について】

- ・外国人を差別しない、共生できる環境をつくっていただければ幸いです。日本のルールを守って平和な生活をしていきたいと思います。(中国)
- ・学校で外国人の子どもに差別しないようにしてほしい。(ベトナム)
- ・全ての外国人は悪いとか、マナーが欠けているとかを広めないでください。知識と認識が足りない人がいるかもしれませんので、取組が必要ではないかと思います。(フィリピン)
- ・30年以上日本で働いて家を買って、税金もきちんと払っている。税金を払っていないビザの無い外国人と同様な差別をしないで欲しい。ビザの無い治安を乱す外国人は退去して欲しい。(その他)

【日常生活・ルールについて】

- ・外国人にも困ったとき助けてほしいです。日本人と同じにしてほしいです。(ネパール)
- ・日本は美しく安全な国です。日本人も外国人も法律を守るべきだと思います。外国人が日本の生活に溶け込むには日本の文化、生活、社会についてもっと知る必要があります。(ベトナム)
- ・埼玉県にすでにあるすべてのルール(規則)を維持してください。(インドネシア)

【日本語学習について】

- ・日本語をもっと勉強したい。特に漢字を勉強したい。一人で勉強するのは難しい。(インドネシア)
- ・日本語を更に勉強したい人のための無料の日本語教室を提供して下さい。(フィリピン)
- ・外国の人々に対して、日本語学習プラットフォームを提供するなどの支援を行うこと。(インドネシア)

- ・夜9時頃に無料のオンライン日本語教室があればいいと思う。昼間は仕事や子供の面倒で忙しく、夜にしか勉強する時間がないお母さんに最適だから。(ベトナム)

【福祉について】

- ・外国人に寄り添うことは大切ですが、税金を納めていない人に埼玉県社会福祉を提供するのはおかしいと思う。しっかり線引きして対応いただきたい。ここは日本/埼玉県なので、日本のルールに則って生活をするべき。不法移民の対処に急いで取り組んで欲しい。(フィリピン)
- ・住民の福祉を向上させて欲しい。(中国)

【税金等について】

- ・税金を少し減らしてほしいです。給料から税金を引かれると、手取りがあまり残らないので。(ミャンマー)
- ・税金が高すぎて、毎年税金を払うことに悩んでいます。そんなにお金もなく、医療費も高くても病院にも行けません。家賃も高く、何もかも高いです。(中国)

【在留資格・ビザについて】

- ・外国人が日本で、より簡単にビザの申請をできるようにしてほしい。(ベトナム)

【住宅について】

- ・外国人が賃貸住宅を探すことは大変。定着できるようにハードルを下げて欲しい。(韓国)
- ・アパートの家賃はとて高いので引き下げていただきたいです。(フィリピン)

【健康・医療について】

- ・家の近くにある病院がよくわかりません。教えていただけたら嬉しいです。(中国)

【その他】

- ・このようなアンケートを送ってくださってありがとうございました。(ネパール)

第3章 調査票

れいわ ねん ど がいこくじんじゅうみん いしきちょうさ
令和7(2025)年度 外国人住民意識調査

ちょうさ きょうりょく ねが
～調査への ご協力の お願い～

この調査は、みなさんの暮らしや 県に 対する 意見を 知って、暮らしやすい 環境をつくるために 行います。

埼玉県に 住んでいる 18歳以上の 外国人の 中から 4,000 人を 無作為で 選びました。これは、各市町村に 協力を 依頼し、情報提供を 受けて 行いました。

答えた人が 誰なのか、また、何を 答えたのかを 他の人に 知られることは ありません。みなさんの 生活を 良くするために 役立てます。御協力を お願いします。

【アンケートを書く時に注意すること】

- ◆ チェックの数は、質問によって 違うので、よく読んでください。
- ◆ 書き終わったら、一緒に入っていた 封筒に 入れて 2025年12月3日(水曜日)までに 郵送してください(お金は かかりません)。

◎ スマートフォン・パソコンなどから インターネットで 答えることができます。

※ インターネットで 答えた場合は、この調査票(紙)を 送り返す 必要は ありません。

URL : <https://en.surece.co.jp/2025saitamapref/>

ID :

パスワード :

二次元コード



- 回答用紙は、日本語だけ ですが、インターネットでは、日本語・英語・中国語・ベトナム語・タイ語でも 回答できます。
- 上記の URL に アクセス または 二次元コードを 読み取ると 言語選択画面が 表示されます。回答したい 言語を クリックすると アンケートの ログイン画面に 移ります。
- IDと パスワードを 入力し、「次へ」ボタンを クリックしてください。
- それぞれの 質問を 読んで、当てはまる答えを クリックしてください。
- 次の質問に 進むときは、「次へ」ボタンを クリックしてください。また、「戻る」ボタンを クリックすると 前の質問に 戻って もう一度 答えなおす ことができます。

分からないことが あれば、連絡してください。

【連絡先】

埼玉県 県民生活部 国際課 多文化共生担当

電話 048-830-2717 FAX 048-830-4748

I. あなたの おし ことを おし 教えてください。

Q1. あなたの せいべつ 性別は つぎ 次のどれですか (1つだけ ちえっく チェック☑)。

<input type="checkbox"/> 1. 男 <small>おとこ</small>	<input type="checkbox"/> 2. 女 <small>おんな</small>	<input type="checkbox"/> 3. その他 <small>ほか</small>
--	--	---

Q2. あなたの ねんれい 年齢は つぎ 次のどれですか (1つだけ ちえっく チェック☑)。

<input type="checkbox"/> 1. ~19歳 <small>さい</small>	<input type="checkbox"/> 2. 20~24歳 <small>さい</small>	<input type="checkbox"/> 3. 25~29歳 <small>さい</small>	<input type="checkbox"/> 4. 30~34歳 <small>さい</small>
<input type="checkbox"/> 5. 35~39歳 <small>さい</small>	<input type="checkbox"/> 6. 40~44歳 <small>さい</small>	<input type="checkbox"/> 7. 45~49歳 <small>さい</small>	<input type="checkbox"/> 8. 50~54歳 <small>さい</small>
<input type="checkbox"/> 9. 55~59歳 <small>さい</small>	<input type="checkbox"/> 10. 60~64歳 <small>さい</small>	<input type="checkbox"/> 11. 65~69歳 <small>さい</small>	<input type="checkbox"/> 12. 70歳~ <small>さい</small>

Q3. あなたが う 生まれた国は くに 次のどれですか (1つだけ ちえっく チェック☑)。

<input type="checkbox"/> 1. 中国 <small>ちゆうごく</small>	<input type="checkbox"/> 2. ベトナム <small>ベトナム</small>	<input type="checkbox"/> 3. フィリピン <small>ふいりびん</small>	<input type="checkbox"/> 4. ネパール <small>ねばーる</small>
<input type="checkbox"/> 5. 韓国 <small>かんごく</small>	<input type="checkbox"/> 6. インドネシア <small>いんどねしあ</small>	<input type="checkbox"/> 7. ミャンマー <small>みゃんまー</small>	<input type="checkbox"/> 8. ブラジル <small>ぶらじる</small>
<input type="checkbox"/> 9. バングラデシュ <small>ばんぐらでしゅ</small>	<input type="checkbox"/> 10. タイ <small>たい</small>	<input type="checkbox"/> 11. その他 <small>ほか</small>)

Q4. あなたの ざいりゆうしかく 在留資格<ビザ>は つぎ 次のどれですか (1つだけ ちえっく チェック☑)。

<input type="checkbox"/> 1. 永住者 <small>えいじゆうしゃ</small>	<input type="checkbox"/> 2. 技術・人文知識・国際業務 <small>ぎじゆつ じんぶん ちしき こくさいぎやうむ</small>	<input type="checkbox"/> 3. 家族滞在 <small>かぞくだいざい</small>
<input type="checkbox"/> 4. 技能実習 <small>ぎのうじっしゆう</small>	<input type="checkbox"/> 5. 留学 <small>りゆうがく</small>	<input type="checkbox"/> 6. 特定技能 <small>とくていぎのう</small>
<input type="checkbox"/> 7. 定住者 <small>ていじゆうしゃ</small>	<input type="checkbox"/> 8. 日本人の配偶者等 <small>にほんじん はいぐうしゃとう</small>	<input type="checkbox"/> 9. 特別永住者 <small>とくべつえいじゆうしゃ</small>
<input type="checkbox"/> 10. 特定活動 <small>とくていかつどう</small>	<input type="checkbox"/> 11. その他 <small>ほか</small>)

Q5. あなたの しごと 仕事は、おお 大きく分けると つぎ 次のどれですか (1つだけ ちえっく チェック☑)。

<input type="checkbox"/> 1. 会社勤務 (経営者・役員) <社長など 特別な立場で 働く人> <small>かいしゃきんむ けいえいしや やくいん しゃちやう とくべつ たちほ はたら ひと</small>
<input type="checkbox"/> 2. 会社勤務 (一般正社員) <会社で 普通に 働く人> <small>かいしゃきんむ いっぱんせいしやいん かいしや ぶつう はたら ひと</small>
<input type="checkbox"/> 3. 派遣社員<会社と 契約して 別の会社で 働く人>・ 契約社員<いつまで 働くか 決まっている人> <small>はけんしやいん かいしや けいやく べつ かいしや はたら ひと けいやくしやいん はたら き ひと</small>
<input type="checkbox"/> 4. パートタイマー・アルバイト <small>ぱーとたいまー あるばいと</small>
<input type="checkbox"/> 5. 自営業 <自分で 物を作ったり サービスをして お金をもらう人> <small>じえいぎやう じぶん もの つく さーびす かね もらう ひと</small>
<input type="checkbox"/> 6. 技能実習生 <日本で 知識や技術 を 勉強 するために 仕事をしている人> <small>ぎのうじっしゆうせい にほん ちしき ぎじゆつ べんきやう しごと ひと</small>
<input type="checkbox"/> 7. 学生 <small>がくせい</small>
<input type="checkbox"/> 8. 学校に通っていない・仕事をしていない <small>がっこう かよ しごと</small>
<input type="checkbox"/> 9. その他 <small>ほか</small>

Q6. あなたは す どこに し 住んでいますか。市・町・村の なまえ 名前を か 書いてください。

Q7. あなたは どのくらい 日本で 生活していますか (1つだけ チェック☑)。

1. 1年未満 2. 1年以上 3年未満 3. 3年以上 10年未満
 4. 10年以上 20年未満 5. 20年以上

Q8. あなたは 日本語を どのくらい 話せますか。(1つだけ チェック☑)。

1. 普通の速さで、専門的な話<特別な話>をすることができる
 2. 普通の速さで、日常生活<毎日の生活>のことを話することができる
 3. ゆっくり、短い言葉を使ったら、日常生活<毎日の生活>のことを話することができる
 4. できない

Q9. あなたは 日本語を どのくらい 読めますか (1つだけ チェック☑)。

1. 何でも簡単に読める
 2. 仕事や学校で 困らないくらい読める
 3. ひらがなや カタカナや 簡単な漢字が読める
 4. できない

II. 生活のこと<毎日のこと>を教えてください。

(1) 満足度

Q10. あなたは 埼玉県での 生活に 満足していますか (1つだけ チェック☑)。

1. 満足している 2. だいたい満足している
 3. あんまり満足していない 4. 満足していない -----> Q10-2 へ
 5. 分からない -----> Q11 へ

-----> (Q10で、「1. 満足している」、「2. だいたい満足している」と答えた方にお聞きします。)

Q10-1. それは、なぜですか (チェック☑をたくさんしてもいいです)。

1. 日本の文化や生活ルールが分かるから
 2. 治安がいい<安全>、住みやすいから
 3. 地域での交流があるから
 (例えば、近くに住んでいる人と話しやすい、コミュニティイベントがある)
 4. 同じ国籍<あなたの国>・地域の人々が近くに居るから
 5. 教育や子育てをしやすいから
 6. (教育や子育て以外の) 社会福祉のサービスがたくさんあるから
 7. 仕事の環境がいいから
 8. いろいろな国の言語で情報がもらえるから
 9. 外国人への差別がないから
 10. その他()

(Q10で、「3. かなり満足していない」、「4. 満足していない」と答えた方にお聞きします。)

Q10-2. それは、なぜですか(チェック☑をたくさんしてもいいです)。

<input type="checkbox"/>	1. 日本の文化や生活ルールが分からないから
<input type="checkbox"/>	2. 治安が悪い<安全ではない>、住みにくいから
<input type="checkbox"/>	3. 地域での交流がないから (例えば、近くに住んでいる人と話にくい、コミュニティイベントが少ない)
<input type="checkbox"/>	4. 同じ国籍<あなたの国>・地域の人がないから
<input type="checkbox"/>	5. 教育や子育てのことで困っているから
<input type="checkbox"/>	6. (教育や子育て以外の)社会福祉のサービスが少ないから
<input type="checkbox"/>	7. 仕事の環境が悪いから
<input type="checkbox"/>	8. いろいろな国の言語で情報がもらえないから
<input type="checkbox"/>	9. 外国人への差別があるから
<input type="checkbox"/>	10. その他()

(2) 日本語の勉強

Q11. あなたは日本語を勉強していますか。または勉強していましたか(1つだけチェック☑)。

<input type="checkbox"/>	1. 今勉強している
<input type="checkbox"/>	2. 今は勉強していないが、前は勉強していた
<input type="checkbox"/>	3. 今は勉強していないが、これから勉強したい
<input type="checkbox"/>	4. 勉強していないし、これからも勉強しない

-----> Q12 へ

-----> (Q11で、「1. 今勉強している」、「2. 今は勉強していないが、前は勉強していた」と答えた方にお聞きします。)

Q11-1. あなたは、どうやって日本語を勉強していますか。または勉強していましたか(チェック☑をたくさんしてもいいです)。

<input type="checkbox"/>	1. 日本語教室<無料で勉強できることが多い>
<input type="checkbox"/>	2. 日本語学校<専門学校などの語学学校。お金がかかる。>
<input type="checkbox"/>	3. 職場<あなたが仕事をする所>
<input type="checkbox"/>	4. 日本人の友達から勉強している
<input type="checkbox"/>	5. 日本人ではない友達から勉強している
<input type="checkbox"/>	6. 家族から勉強している
<input type="checkbox"/>	7. 自分<一人>で勉強している
<input type="checkbox"/>	8. テレビ、ラジオ、インターネットを使って勉強している
<input type="checkbox"/>	9. その他()

Q11-2. あなたは、日本語を勉強するときに困ることはありますか。または困ったことがありましたか(チェック☑をたくさんしてもいいです)。

- 1. 自分のレベルの日本語が勉強できない
- 2. 母語<あなたの言語>で勉強できない
- 3. 近くに日本語教室や日本語学校などが ない
- 4. 日本語教室や日本語学校などの時間に行けない
- 5. 日本語を勉強する所やサービスの情報が少ない
- 6. 無料の日本語教室が近くにない
- 7. オンラインで勉強できない
- 8. その他()
- 9. 特に困っていない

(3) 情報をもらう方法・相談する方法・サービス

Q12. 生活で特に困っていることは何ですか(チェック☑をたくさんしてもいいです)。

- 1. 日本語を使うことが難しい
- 2. 仕事
- 3. 医療・介護<健康>・福祉
- 4. 子育て・教育
- 5. お金
- 6. 住まい<家>
- 7. 在留資格<ビザ>
- 8. 家族との関係
- 9. 地域の生活ルール
- 10. 日本人との関係
- 11. その他()
- 12. 特にない

Q13. 毎日の生活で困る時や分からないことがある時、誰に相談しますか(チェック☑をたくさんしてもいいです)。

- 1. 県や市・町・村の窓口
- 2. 外国人総合相談センター埼玉
- 3. 多文化共生キーパーソン
- 4. 日本語教室<無料で勉強できることが多い>
- 5. 日本語学校<専門学校などの語学学校。お金がかかる。>
- 6. 職場<あなたが仕事をする所>
- 7. 母国<あなたの国>出身の友達・家族・親戚
- 8. 母国<あなたの国>出身ではない外国人の友達・家族・親戚
- 9. 日本人の友達・家族・親戚
- 10. インターネット・SNS など
- 11. その他()
- 12. いない

Q14. 埼玉県に してほしいことは 何ですか (チェック☑を たくさん してもいいです)。

- 1. 市役所などで、母語<あなたの言語>で 情報をもらったり 相談ができたりする
- 2. 市役所などで、ビデオ電話を使って 相談できる
- 3. 市役所などで、「やさしい日本語」を使って 相談できる
- 4. 災害が 起きた時に、母語<あなたの言語>や「やさしい日本語」で 情報を もらえる
- 5. 外国人への 差別をしないように 呼びかける
- 6. 外国人の 子どもの 教育を 支援する<助ける>
- 7. 日本人と 外国人が 交流する 所を作る
(例えば、近くに住んでいる人と 話す、コミュニティイベントに 参加する)
- 8. 医療機関<病院や 薬局など>で 母語<あなたの言語>で 情報をもらえる
- 9. 外国人への 福祉サービスを 多くする
- 10. 家に 関係する 情報を もらえる
- 11. 外国人の 知識や技術の スキルアップを 助ける
- 12. 日本語の勉強を 支援する<助ける>
- 13. その他()
- 14. 特にない

Q15. 日本の 生活ルールや 文化などを どうやって 知りますか (チェック☑を たくさん してもいいです)。(例：交通ルール、ゴミの 出し方、大きい音を 出さない)

- 1. 日本語 教室<無料で 勉強できることが 多い>
- 2. 学校 (日本語学校を 含む)
- 3. 職場<あなたが 仕事をする 所 >
- 4. 県や 市・町・村が 作った ホームページや 情報がある紙
- 5. 外国人総合相談センター埼玉 や 埼玉県外国人の生活ガイド
- 6. 日本人の 友達・家族・親戚
- 7. 日本人以外の 友達・家族・親戚
- 8. 入管庁の 生活オリエンテーション動画
- 9. インターネット・SNS・AIチャットサービスなど
- 10. その他()
- 11. 特にない

(4) 災害

Q16. 日本は、自然災害（地震、台風、強い雨など）が多いです。あなたは、今どのような準備をしていますか（チェック☑をたくさんしてもいいです）。

- 1. 防災グッズ（食べ物や水、薬、ライトなど）を用意している
- 2. 避難場所<みんなが逃げる所>をハザードマップ<危険な所や逃げる所が書いてあるマップ>などで確認している
- 3. 家族と連絡する方法を決めている
- 4. 防災訓練<災害が起きた時の練習>に参加している
- 5. インターネットやSNSで、災害の情報を調べている
- 6. 家の中の安全対策をしている（家具が倒れないようにする、フットライトを付けるなど）
- 7. その他()
- 8. 何を準備すればいいのかわからない
- 9. 特に何もしていない

Q17. 自然災害が起きた時に、あなたはどのような情報をもらいたいですか（チェック☑をたくさんしてもいいです）。

- 1. 地震の大きさ、雨の量、特別警報<大雨や台風など危険な災害を知らせる>などの情報
- 2. 地域の危険な場所
- 3. 避難場所<みんなが逃げる所>などの情報
- 4. 病院や医療機関について
- 5. 炊き出し<料理などを無料で配る活動>や物資配布<生活に必要なものを配る活動>について
- 6. 交通やライフライン<電気、ガス、水道など>について
- 7. 母語<あなたの言語>で情報をもらいたい
- 8. 外国人向けの相談窓口や支援団体の情報
- 9. その他()
- 10. 特にない

(5) 意識・理解

Q18. 外国人住民と日本人住民がお互いによく理解し合うために、あなたは何をしましたか(チェック☑をたくさんしてもいいです)。

1. あいさつをする

2. 母国<あなたの国>の言語や文化を日本人住民に紹介する

3. 通訳や翻訳のボランティアをする

4. 日本語を使えるように勉強する

5. 地域のコミュニティイベントやお祭りに参加する

6. 日本の生活ルールを守る

7. 日本の文化を理解するために勉強する

8. その他()

9. 特にない

III. これからのことを教えてください。

Q19. あなたはこれからも埼玉県に住みたいですか(1つだけチェック☑)。

1. ずっと埼玉県に住みたい

2. 6~10年くらい埼玉県に住みたい

3. 2~5年くらい埼玉県に住みたい

4. 1年くらいで日本の埼玉県じゃない所に行きたい -----> Q19-2 へ

5. 1年くらいで母国<あなたの国>に帰るまたは日本じゃない国に行きたい

6. 分からない -----> Q20 へ

-----> (Q19で、「1. ずっと埼玉県に住みたい」、「2. 6~10年くらい埼玉県に住みたい」、「3. 2~5年くらい埼玉県に住みたい」と答えた方にお聞きします。)

Q19-1. それは、なぜですか(チェック☑をたくさんしてもいいです)。

<input type="checkbox"/> 1. 家族や友達がいるから	<input type="checkbox"/> 2. 仕事や学校があるから
<input type="checkbox"/> 3. 医療や福祉のサービスがいいから	<input type="checkbox"/> 4. 子育てや教育のサービスがいいから
<input type="checkbox"/> 5. 事件や事故が少なく、治安がいいから	<input type="checkbox"/> 6. 今の仕事を続けたいから
<input type="checkbox"/> 7. 家を買うなど、生活の基礎ができているから	<input type="checkbox"/> 8. 未来に希望が持てるから
<input type="checkbox"/> 9. 交通が便利だから	<input type="checkbox"/> 10. 自然災害が少なく安心だから
<input type="checkbox"/> 11. 自分が生まれたところだから	<input type="checkbox"/> 12. その他()

(Q19で、「4. 1年くらいで日本の埼玉県じゃない所に行きたい」と答えた方にお聞きします。)

Q19-2. それは、なぜですか(チェック☑をたくさんしてもいいです)。

- 1. 友達や家族の近くに住みたいから
- 2. 仕事や学校があるから
- 3. 医療や福祉のサービスがたくさんある所がいいから
- 4. 子育てや教育の環境が良くないから
- 5. 事件や事故が多くて、治安が悪いから
- 6. 仕事を变えたいから
- 7. 未来に希望が持てないから
- 8. 交通が便利じゃないから
- 9. 防災に不安があるから
- 10. 近所に知り合いが少なく、生活しづらいから
- 11. 外国人への支援や情報が少ないから
- 12. その他()

(Q19で、「5. 1年くらいで母国<あなたの国>に帰るまたは日本じゃない国に行きたい」と答えた方にお聞きします。)

Q19-3. それは、なぜですか(チェック☑をたくさんしてもいいです)。

- 1. 日本に住みたいけど、在留期間や在留資格<ビザ>を变えることができないと思うから
- 2. もともと帰国する予定だったから
- 3. 母国<あなたの国>に家族がいるから
- 4. 母国<あなたの国>ではない国・地域で仕事や学校を見つけたから
- 5. 日本での生活に慣れないから
- 6. 母国<あなたの国>に帰りたいから
- 7. 未来に希望が持てないから
- 8. 日本語が分からないから
- 9. その他()

IV. ^{いけん}意見・^{きぼう}希望など

Q20. ^{さいたまけん}埼玉県に ^{いけん}してほしいことや ^{いけん}意見などが ^{じゆう}あれば ^か自由に書いてください。

これで アンケートは ^お終わりです。ご ^{きょうりょく}協力 ありがとうございます。

令和7年度

埼玉県外国人住民意識調査報告書

(調査実施期間：令和7年11月12日(水)～12月3日(水))

令和8年3月発行

埼玉県県民生活部国際課
多文化共生担当

〒330-9301

埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1

a2705-11@pref.saitama.lg.jp



埼玉県マスコット「さいたまっち&コバトン」